

青森市埋蔵文化財調査報告書 第74集

市内遺跡

発掘調査報告書12

平成15年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第74集

市内遺跡

発掘調査報告書 12

平成 15 年度

青森市教育委員会

序

昨今の厳しい経済状況にもかかわらず、青森市内では私たちが営む様々な経済活動に伴って開発行為が行われております。

そのような開発行為に対し、祖先からの貴重な財産である埋蔵文化財が破壊や消滅の危機にさらされることもしばしば見受けられます。

市内遺跡発掘調査事業は、このように破壊や消滅の危機にさらされている周知の埋蔵文化財包蔵地や未発見の埋蔵文化財包蔵地の調査を目的として、当委員会において平成4年度から実施しております。

本年度の調査については、6遺跡に対する試掘・確認調査並びに1遺跡に対する本発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護と開発行為との調整に役立つことができました。

最後に、調査の実施にあたりご協力をいただきました文化庁、県文化財保護課をはじめ関係者の方々に対し深く感謝の意を表します。

平成16年3月

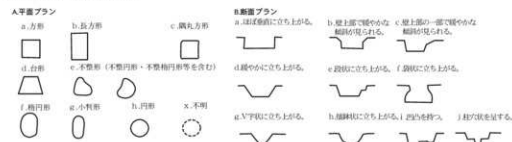
青森市教育委員会

教育長 角田 詮二郎

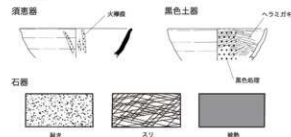
例 言

1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて、平成15年度に実施した青森市内遺跡発掘調査事業の調査報告書であり、分布調査ならびに試掘・確認調査および本調査の調査成果を収録してある。
2. 本書の執筆・編集は青森市教育委員会が行い、木村淳一、児玉大成、設楽政健、松橋智佳子（青森市埋蔵文化財調査員）、内田祐子（青森市埋蔵文化財調査補助員）が担当した。
執筆・作成分担について第Ⅱ章は児玉が担当し、第Ⅲ章については児玉・木村・設楽が担当し文責を末尾に記した。また第Ⅳ章については木村・松橋・内田が担当し、文責を末尾に記した。それ以外の部分ならびに編集は木村が担当した。
3. 挿図の縮尺は、位置図のみ「青森市遺跡地図（数値地図）」の2万5千分の1の地図を等倍で利用し、真北を上辺に統一した。それ以外の図についてはスケールによって示し、方位は磁北で示した。また、掲載遺物についての縮尺は1/3を基本に一部の図版で異なる縮尺で取扱っており、スケールで表現した。なお、写真図版の縮尺は統一を図っていない。
4. 土色の注記については、「新版標準土色帖」（小山正忠・竹原秀雄 1993）に準拠した。
5. 図版・写真図版及び表番号は、章毎に種別毎の通し番号とした。図版は第〇図、写真図版は写真〇、表は第〇表と記した。
6. 出土遺物及び記録図面・写真関係資料は、現在、青森市教育委員会にて保管している。
7. 第Ⅳ章宮田館遺跡遺構観察表中で使用した平面形・断面形の類型および遺物図版中で使用した表現方法は以下のとおりである。また、下記の表現と異なる表現方法等が用いられる場合、図中に別途凡例を設けている。

遺構平面形・断面形凡例



遺物凡例



8. 本書で報告した宮田館遺跡の発掘調査では、次の諸機関・諸氏よりご協力・ご助言をいただいた。（五十音順・敬称略）

青森県埋蔵文化財調査センター、小笠原雅行、木村高、茅野嘉雄

目 次

序	
例言	
目次	

第Ⅰ章 事業実施の概要	
第1節 調査目的	1
第2節 調査要項	1
第3節 事業照会の概要	2
第Ⅱ章 新規登録・範囲変更遺跡	
第1節 新規登録遺跡	
三内丸山（8）遺跡	15
第2節 範囲変更遺跡	
岡町（9）遺跡	15
第Ⅲ章 試掘・確認調査	
第1節 江渡遺跡	16
第2節 野木和（11）遺跡	17
第3節 三内丸山地区	24
第4節 岡町地区	25
第5節 赤坂遺跡	26
第6節 三内丸山（8）遺跡	28
第Ⅳ章 発掘調査	
宮田館遺跡（青市教委第2次調査）	30
まとめ	98
報告書抄録	99
既刊埋蔵文化財報告書一覧	

第1章 事業実施の概要

第1節 調査目的

近年、市内の各所において、道路網の整備事業や大規模施設の建設などの大規模開発事業が増加しており、併せて宅地開発や下水道整備事業等市民の身近な生活のなかで必要とされる各種開発行為が継続しており、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡も増加している。貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るためには、周知の遺跡の現況・範囲・数の把握や今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録などにより、市内に所在する遺跡に関する詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、市内に所在する周知の遺跡について現況調査ならびに今後開発が予想される地域の分布調査、開発行為に先立つ確認調査、さらには個人敷地造成予定地の本発掘調査を実施するものである。

よって、この事業を標記の事業名で国と県の補助金の交付を受け、実施するものである。

第2節 調査要項

1. 対象地域

①分布調査

対象：市内全域

今年度は市内において、各種開発事業が予定されている地域を重点地域とし、遺跡の分布状況を確認する。

②試掘・確認調査

対象：石江地区（江渡遺跡）、安田地区（三内丸山（6）遺跡隣接地）、野木和地区（野木和（11）遺跡、岡町地区（岡町（5）遺跡隣接地）、三内地区（三内丸山（3）・（5）遺跡隣接地）等事業照会等による周知の遺跡の範囲内容確認及び遺跡未発見地域における有無確認調査。

③発掘調査

対象：宮田館遺跡

個人敷地造成に係る本発掘調査。

2. 事業実施期間

平成15年4月1日～平成16年3月31日

3. 調査担当機関

青森市教育委員会事務局文化財課

4. 調査体制

調査事務局

青森市教育委員会

教育長 角田 詮二郎

教育部長 大柴 正文

教育次長 竹内 徹

事務局参事

文化財課長事務取扱 遠藤 正夫

文化財課長補佐 多田 弘仁

主 査 木浪 貴子

文化財主事 木村 淳一（調査担当）

児玉 大成（ 〃 ）

設楽 政健（ 〃 ）

主 事 足澤 愛子（庶務担当）

5. 調査指導機関 文化庁記念物課

青森県教育庁文化財保護課

6. 調査方法

①分布調査

市内全域を対象とし、特に開発が予想される地域を重点的に踏査することによって、周知の遺跡の現況・範囲・数などの把握、開発によって消滅・破壊の危機に瀕している周知の遺跡のリストアップ、新発見の遺跡の登録などを行い、市内に所在する遺跡に関する基礎資料を整備する。また、開発申請のあった地区の現地立ち会いや周辺の踏査、一般市民からの情報提供をもとに分布調査を行う。踏査の結果、新たに発見された遺跡は青森市遺跡台帳ならびに青森県遺跡台帳に登録する。また、現況・範囲などに変更があった遺跡は、その都度、台帳を訂正する。

②試掘・確認調査

事業照会があった開発予定地内に埋蔵文化財包蔵地が所在もしくは所在するおそれのある場合、試掘調査を実施し、遺跡の範囲・性格・密

度等の内容を調査する。未発見遺跡の場合新たに台帳登録を行い、周知の遺跡についても範囲に変更があった場合には台帳を訂正する。

③発掘調査

当委員会と協議のあった個人敷地造成予定地について掘削される範囲を対象に記録保存のための発掘調査を実施する。

第3節 事業照会の概要

青森市教育委員会文化財課では、公共事業に関する土木工事等の開発行為や民間の各種開発行為に対して事前の遺跡地図による確認を実施し、必要に応じて分布調査を実施しており、平成12年度から本格的に試掘・確認調査を実施するようになった。

遺跡の確認は基本的に当課に直接来課し、開発予定地に遺跡が所在するか確認するケースと、都市計画法第32条関連の協議・青森県景観条例・農振除外申請に基づく関係課からの照会のケースがほとんどで、昨年度報告（青森市埋蔵文化財調査報告書第69集）以降の平成14年度の後半は12月～3月末日までで69件（来課59件・関係課4件・庁内関係開発6件）、平成15年度の4月～11月末日までで231件（来課146件・関係課26件・庁内関係開発59件）の照会があった。

昨年度から実施している庁内開発の照会作業によって周知の遺跡もしくは遺跡所在の可能性を有する地点での公共事業の計画の事前把握について増加傾向にあり、未発見の遺跡の新たな確認がなされるケースが増加している傾向にある。

また、来課による照会については昨年度同期に比べ140%増の増加傾向にある。これは平成15年1月から施行された不動産鑑定法の法改正による埋蔵文化財文化財の有無の事前確認についての件数が大幅に増加したことによるもので、具体的な開発計画の伴わない照会が相次いでいる。

その一方、民間開発等も含めた関係課経由の遺跡照会件数については昨年度の同期に比べ70%の3割減で景気の影響によるものなのか落ち込んでいる状況にある。

平成15年度前期来課各種開発事業照会 (H15.4～H15.12)

回答 A:周辺の道跡内, B:隣接地, C:該当なし

番号	月日	対象地	面積(㎡)	開発行為	回答	備考
1	H15.4.2	岩渡熊沢 156-17 他 8 筆	119,874	砂利採取	C	岩石採取・砂利採取。
2	H15.4.8	浜田玉川 240-25		不動産調査	C	
3	H15.4.10	浜田玉川 243-14	約 200	不動産取引	C	
4	H15.4.10	戸山赤坂 78-331 小柳 5-13-22、13-24		敷地調査	C	
5	H15.4.11	浅虫地区		工作物の新築 (携帯電話用無線基地局)	C	トンネル山手を工事。
6	H15.4.11	三内稲元 42-14		不動産取引	C	
7	H15.4.11	桜川 9-11-7 浦町奥野 83-14		不動産取引	C	
8	H15.4.14	羽白沢田 537-1		物件調査	C	
9	H15.4.15	富田 3-17 内		物件調査	C	
10	H15.4.16	油川岡田 174	227	不動産鑑定	C	
11	H15.4.16	合子沢松森 356-123、 356-124、356-102、 356-103、356-82		不動産鑑定	A	野木(1) 道跡に該当。
12	H15.4.22	戸山蛭沢 40-5	約 500	建築物の新築	C	
13	H15.4.22	三内沢部 204-2	約 400	建築物の新築	C	
14	H15.4.24	栄町 1-4-1		不動産鑑定	C	
15	H15.4.24	浜館 1-5-40		共同住宅新築	C	
16	H15.4.25	北金沢 1-181-7		物件調査	C	
17	H15.4.25	里見 1-12-70		物件調査	C	
18	H15.4.28	平新田森越 15-19		物件調査	C	
19	H15.5.2	三内沢部	4,500	不動産調査	B	三内沢部(2) 道跡隣接地。
20	H15.5.2	造道 1-237-41		物件調査	C	
21	H15.5.2	新城山田 235-296		物件調査	B	新城山田(3) 道跡隣接地。
22	H15.5.12	新城平岡 160-239		不動産鑑定	B	新城平岡(3) 道跡隣接地。
23	H15.5.12	浅虫地区		不動産鑑定	C	
24	H15.5.13	石江高間 133-19		不動産鑑定	A	高間(6) 道跡に該当、 石江土地区画整理事業地内。
25	H15.5.15	妙見 3-2-27	4,313	不動産取引	C	
26	H15.5.15	石江江渡 106-33	1,698.9	宅地分譲	C	
27	H15.5.30	浜田玉川 57-1 他		建物建築計画	C	
28	H15.6.3	大野鳴滝 89-3 他 10 箇所		不動産鑑定	C	
29	H15.6.3	三内地区		不動産取引	B	三内丸山(5)・(6) 道跡隣接地、 H15 試掘調査実施。
30	H15.6.5	神館 5-3-1、5-6-3 他		宅地分譲	C	
31	H15.6.6	小柳 6-6-10		物件調査	B	小柳道跡隣接地。
32	H15.6.9	北金沢 2-112-33 原別上海原		物件調査	C	
33	H15.6.10	富田 4-193-37、 石江江渡 105-423、 奥内川合 33-1		不動産鑑定	C	
34	H15.6.10	間屋町 1 丁目 338		集合住宅新築	C	
35	H15.6.11	六枚橋地内		踏査	A	後潟(3) 道跡に該当、計画中止。
36	H15.6.16	油川大浜 228-1		敷地調査	C	
37	H15.6.19	新城平岡 875		物件調査	C	
38	H15.6.20	虹ヶ丘 1-3-3		物件調査	C	
39	H15.6.23	金沢 5-14-15		不動産鑑定	C	
40	H15.6.23	八重田露草 39-4	1,601	宅地分譲	C	都市計画法第 32 条における事前協議。

番号	月日	対象地	面積 (㎡)	開発行為	回答	備考
41	H15.6.24	平新田森越 12-47、23-1、23-2、12-47の先、23-2の先		宅地分譲	C	都市計画法第32条における事前協議。
42	H15.6.24	油川地区、新田3丁目		物件調査	C	
43	H15.6.25	新城山田 他		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	A	新城山田(3)遺跡に該当。
44	H15.6.25	戸山赤坂地内		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
45	H15.6.26	戸山赤坂地内		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
46	H15.6.26	戸山赤坂地内		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	B	戸山遺跡隣接地。
47	H15.6.26	後潟地区		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
48	H15.6.27	浜田玉川		建築物の新築	C	
49	H15.7.3	野内鈴森		菜園分譲	A	鈴森(2)遺跡に該当。
50	H15.7.4	石江岡部 157-23		不動産鑑定	A	岡部遺跡に該当。
51	H15.7.9	合浦 1-10-9	178.1	物件調査	C	
52	H15.7.9	本町 5-3-9		物件調査	C	
53	H15.7.9	羽白沢田		不動産鑑定	C	
54	H15.7.9	松原3丁目、沖館4丁目、花園1丁目、浪打2丁目 他		物件調査	C	
55	H15.7.14	新城山田 222-166		敷地調査	C	
56	H15.7.14	岡造道 2丁目 22		物件調査	B	小柳遺跡隣接地。61とH14年度27と同じ。
57	H15.7.14	本町 2-6-18		敷地調査	C	
58	H15.7.16	造道 3-11-17、3-11-31		不動産鑑定	C	
59	H15.7.16	原別神崎 1-18		物件調査	C	
60	H15.7.17	大野山下	300	建物建築計画 (携帯電話用無線基地局)	C	
61	H15.7.18	岡造道 2丁目 22		物件調査	B	小柳遺跡隣接地。56とH14年度27と同じ。
62	H15.7.22	第二間屋町地区		不動産鑑定	C	
63	H15.7.22	上野山辺 55-6		物件調査	C	
64	H15.7.23	細越栄山 770-1		不動産鑑定	A	栄山(4)遺跡に該当。
65	H15.7.23	細越栄山 1020-34		不動産鑑定	B	栄山(4)遺跡に該当。
66	H15.7.23	三内丸山 381-291、381-15		不動産鑑定	A	三内丸山(5)・(6)遺跡に該当。
67	H15.7.24	駒込蛭沢 12-9		不動産鑑定	C	
68	H15.7.24	長島 2-2-17		不動産鑑定	C	
69	H15.7.28	新町 1-12-2		不動産鑑定	C	
70	H15.7.28	野尻野田		不動産鑑定	B	野尻野田遺跡隣接地。
71	H15.7.29	安田近野		不動産鑑定	A	近野遺跡と三内丸山遺跡に該当。
72	H15.8.1	油川千刈 60-1	5,169	不動産鑑定	C	
73	H15.8.4	浜田土地区画整理事業地内	229	建築物の新築	C	
74	H15.8.5	石江三好 177-4		物件調査	C	
75	H15.8.5	桑原稲葉 20-1		物件調査	C	
76	H15.8.5	三内丸山 150-4		物件調査	B	浪館(1)遺跡隣接地。
77	H15.8.7	古川 2-20-6		物件調査	C	

番号	月日	対象地	面積(m ²)	開発行為	回答	備考
78	H15.8.8	戸門山部 122 他 7 筆、 新城山田	35,094	岩石採取・砂利採取	C	
79	H15.8.11	古川 1-9-4		不動産取引	C	
80	H15.8.11	新城福田		宅地分譲	C	
81	H15.8.12	大矢沢里見 198-33		物件調査	C	
82	H15.8.20	駒込深沢 287-6		物件調査	A	深沢(2) 遺跡に該当。
83	H15.8.27	筒井八ツ橋 49-15		不動産鑑定	C	
84	H15.9.1	桂木 2-1-13		不動産鑑定	C	
85	H15.9.3	合子沢松森		物件調査	B	新町野遺跡隣接地、新幹線関連。
86	H15.9.3	橋本 2-13-6		物件調査	C	92 と同じ。
87	H15.9.8	三内丸山		不動産鑑定	A	三内丸山(6) 遺跡に該当。
88	H15.9.8	羽白沢田 33-2 他	2,800	宅地分譲	C	
89	H15.9.16	前田中野 7-4-9		敷地調査	C	
90	H15.9.17	新城山田 300-130 他		建築物の新築	C	
91	H15.9.17	神館 3-249-2 他 3 筆、油川大浜 180-98、小橋田川 82-8 他 1 筆		物件調査	C	
92	H15.9.17	橋本 2-13-6		物件調査	C	86 と同じ。
93	H15.9.18	大野笹崎 1-1 付近	約 1,000	物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
94	H15.9.19	三内丸山 381-3、 安田近野 151-2		物件調査	B	三内丸山(6) 遺跡隣接地。
95	H15.9.23	神館 3-2-56		物件調査	C	
96	H15.9.25	富田 2-194-1 他	2,700	宅地分譲	C	
97	H15.9.25	八重田 3-43-1 他	7,000	宅地分譲	C	
98	H15.9.25	油川大浜 180-98		物件調査	C	
99	H15.9.25	小橋田川 45-2		物件調査	C	
100	H15.9.25	野内地区		不動産鑑定	A	鈴森(1)・(2) 遺跡に隣接・ 一部該当、市用地課関連。
101	H15.9.26	岡造道 1 丁目、2 丁 目、3 丁目		物件調査	A 他	一部小柳遺跡に該当、 その他は隣接地。
102	H15.9.26	古川 1 丁目、 本町 2 丁目、5 丁目、 橋本 2 丁目、安方 1 丁目		物件調査	C	
103	H15.9.26	久須志 2-2-16		不動産取引	C	
104	H15.9.26	石江江渡 13-3、9-11		物件調査	C	
105	H15.9.29	里見 1-13-26、27	2,291.09	不動産鑑定	C	
106	H15.9.30	新田 2 丁目 17		物件調査	C	
107	H15.10.1	野木野尻、新町野菅谷		不動産鑑定	A	新町野遺跡に該当、 新幹線関連。
108	H15.10.1	原別 7 丁目 7 ～ 1		物件調査	C	
109	H15.10.1	大野鳴滝 10 他		不動産鑑定	C	
110	H15.10.8	新城平岡 109-350		物件調査	B	新城跡隣接地。
111	H15.10.14	三内沢部		宅地分譲	A	三内沢部(3) 遺跡に該当、 要試掘、計画中断中。
112	H15.10.15	石江江渡 97-1	約 5,000	宅地分譲	C	
113	H15.10.17	野木山口 82-1 他		不動産鑑定	A	野木山口遺跡に一部該当。
114	H15.10.20	堤町 2-7-13		不動産取引	C	

番号	月日	対象地	面積 (㎡)	開発行為	回答	備考
115	H15.10.21	駒込深沢 287-2		物件調査	A	深沢(2)遺跡に該当。
116	H15.10.22	駒込深沢		敷地調査	A	深沢(1)遺跡に該当。
117	H15.10.22	小橋地区	6,600	宅地分譲、温泉掘削	A	小橋(6)遺跡隣接地、温泉法。
118	H15.10.24	戸門地区		物件調査	C	
119	H15.10.24	大野片岡 11-39		物件調査	C	
120	H15.10.24	西滝 3-72-10 他		物件調査	C	
121	H15.10.24	三内丸山		不動産鑑定	B	三内丸山遺跡隣接地。
122	H15.10.27	戸山赤坂	2,500	集合住宅新築	A	赤坂遺跡に該当、 H15 試掘調査実施。
123	H15.10.29	浪打 2-3-3、 橋本 1 丁目		物件調査	C	浪打 2-3-3 H14 年度 6 と同じ。
124	H15.10.30	桜川 7-412-3		物件調査	C	
125	H15.10.31	羽白富田 44-34		不動産鑑定	C	
126	H15.10.31	駒込蛭沢 59-68		不動産鑑定	C	
127	H15.10.31	新城平岡 151-416		不動産鑑定	C	
128	H15.10.31	高田、細越、岩渡、 鶴ヶ坂、福内地区		工作物の新築 (電気供給鉄塔)	A	朝日山(1)・(3)遺跡、二股(1) 遺跡に該当。朝日山(2)・(4) 遺跡、二股(2)遺跡隣接地。送 電線新設計画の事前協議。
129	H15.11.4	三内丸山 381-220、 浜原近野 41、 浜原新田 1-70-12		敷地調査	A 他	三内丸山 381-220 が三内丸山 (6)遺跡に該当。
130	H15.11.5	安田近野		宅地分譲	B	安田近野(2)遺跡隣接地。
131	H15.11.5	三内丸山	6,600	物件調査	A	三内丸山(5)遺跡に該当。
132	H15.11.7	本町 2-6-5		不動産鑑定	C	
133	H15.11.7	新城山田		不動産鑑定	C	
134	H15.11.10	駒込月見野		物件調査	A	月見野(5)遺跡に該当、要試掘。
135	H15.11.10	新城平岡 677-676		物件調査	C	
136	H15.11.10	沖館 5 丁目、 筒井桜川 他		工作物の新築 (アンテナ工事)	C	
137	H15.11.12	羽白沢田 418、419	1,582	宅地分譲	C	
138	H15.11.21	駒込深沢		物件調査	A	深沢(2)遺跡に該当。
139	H15.11.21	奥野 3 丁目		物件調査	C	
140	H15.11.21	三内丸山 27	約 6,000	宅地分譲	A	三内丸山(3)遺跡に該当、計 画中止。
141	H15.11.25	中央 1-25-9		不動産鑑定	C	
142	H15.11.25	三内沢部 349-14～16		建築物の新築	C	
143	H15.11.26	古川 2-3-2、2-3-23		物件調査	C	
144	H15.11.27	浅虫地区		不動産鑑定	C	
145	H15.11.28	安田近野 39-21、 39-23、47、54-6		不動産鑑定	A	安田近野(1)遺跡に該当。
146	H15.12.1	矢田下野尻 52-2、53、 64-1、野木山口 181-1 他		物件調査	B	上野尻遺跡、野木山口遺跡隣 接地。

平成 15 年度前期庁内関係開発事業照会 (H15.7～H15.11)

意見 A：周知の遺跡内、B：隣接地、C：該当なし

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H15.7.7	新城山田地区内 (平和台団地)		配水管理設〔上下水道工事〕	C	水道部工務課
2	H15.7.7	三内丸山	三内遺跡	配水管理設〔上下水道工事〕	B	水道部工務課 慎重工事

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
3	H15.7.8	四戸橋磯部地内		四戸橋1号線道路改良事業 〔道路建設〕	C	道路建設課
4	H15.7.8	油川柳川・新城福田地内		油川新橋道路整備事業 〔道路建設〕	C	道路建設課 要立会工事
5	H15.7.8	桑原稲葉・小柳朽葉・ 戸山宮崎地内		桑原29号線道路整備 事業〔道路建設〕	C	道路建設課
6	H15.7.8	高田朝日山・野沢沢地内		高田野沢線道路整備事業 〔道路建設〕	C	道路建設課
7	H15.7.8	大別内葛野地内	葛野(1)～(3) 遺跡	金沢小畑沢線道路改良 整備事業〔道路建設〕	A他	道路建設課 要試掘調査
8	H15.7.8	合子沢松森地内	新町野遺跡	新町野野木線道路整備事 業〔道路建設〕	A	道路建設課 要試掘調査
9	H15.7.8	牛館地内	新町野遺跡	牛館川橋本基盤河川改修事業 〔河川改修〕	B	港湾河川課 慎重工事
10	H15.7.14	大矢沢里見 86-1、 86-2、87-1、87-2	大矢沢野田 (1)遺跡	大矢沢墓地造成工事 〔墓地の収容移転〕	A	用地課 要試掘調査
11	H15.7.17	大別内地内		県営大別内地区用排水 路施設整備事業 〔河川改修〕	C	農地林務課
12	H15.7.17	駒込桐ノ沢地内	駒込館遺跡	県営駒込地区用排水路 施設整備事業 〔河川改修〕	A	農地林務課 立会工事
13	H15.7	久栗坂地区	久栗坂浜田 (1)遺跡	青森市公共下水道事業	A	下水道部 管理課
		野内地区	野内遺跡			
		富田地区	玉水(1)・(3)・(4) 遺跡			
		造道地区	沢田遺跡			
		八重田地区	露草遺跡			
		三内地区	三内丸山(6)遺跡、 葛野(1)遺跡、三 内内野(2)・(3)遺 跡、三内宮遺跡			
		浪館地区	浪館(2)遺跡			
		安田地区	近野遺跡、 安田近野(2) 遺跡			
		石江地区	石江遺跡、江渡 遺跡、高岡(1)・ (6)遺跡、岡部 遺跡			
		新城地区	西高沢遺跡、新城 平岡(4)遺跡			
大矢沢地区	大矢沢野田(1) 遺跡					
野尻地区	野尻野田遺跡、 野尻館遺跡					
横内地区	横内(3)遺跡、 横内城跡					

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
14	H15.8	清水幾多 101、 瀬戸子神田 243-1		奥内地区地下水源調査 (テストボーリング) 業務(水源調査)	B 他	水道部工務課 慎重工事
15	H15.11.17	三内丸山 41～124.3、 三内丸山 117.1～122.2	三内丸山 (3) 遺跡	浪館污水管第 17 工区 工事〔上下水道工事〕	B	下水道推進課
16	H15.11.17	三内丸山 148.30～152.30 程度	浪館(1) 遺跡	浪館污水管第 19 工区 工事〔上下水道工事〕	A	下水道推進課
17	H15.11.17	三内丸山 152.22～180.2、 安田近野 269.10～263.8	浪館(1) 遺跡、 近野遺跡	浪館污水管第 21 工区 工事〔上下水道工事〕	A	下水道推進課

平成 15 年度前期関係課事業照会 (H15.4～H15.11)

意見 A: 周知の遺跡内、B: 隣接地、C: 該当なし

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H15.4.11	岩渡熊沢 22-8		土地取引	C	
2	H15.4.28	久栗坂 665 他	大浦遺跡	岩石採取・砂利採取	A	
3	H15.4.28	諏訪沢丸山 66-1、 66-2		建築物の増築	C	地域総合整備資金貸付事業
4	H15.5.20	諏訪沢岩田 54-1		資材置場	C	農業振興地域整備計画変更
5	H15.5.20	諏訪沢桜川 137-2、 137-3、137-4、156		住宅建築	C	農業振興地域整備計画変更
6	H15.5.20	駒込猿沢 81-2、82		資材置場	C	農業振興地域整備計画変更
7	H15.5.20	合子沢山崎 17-1		資材置場及び重機保管所	C	農業振興地域整備計画変更
8	H15.5.20	大野鳴滝、笹崎、今井、 安田若松 地内		市街化区域編入	C	農業振興地域整備計画変更 要試掘調査
9	H15.5.26	四ツ石下川原 25-9		温泉掘削	C	鉱業権設定・温泉掘削許可
10	H15.6.11	鶴ヶ坂山本 54-132、 54-135		岩石採取・砂利採取	C	
11	H15.6.23	新城平岡 160-7	新城平岡 (3) 遺跡	温泉動力装置	A	温泉法。掘削中止。
12	H15.6.24	三内丸山 278-1	近野遺跡、 三内丸山(5) 遺跡	土地取引	B	要試掘調査
13	H15.7.18	岩渡熊沢 156-17 他		岩石採取・砂利採取	C	緑化計画
14	H15.8.8	鶴ヶ坂田川 71-237 他		岩石採取・砂利採取	C	緑化計画
15	H15.8.15	六枚橋山越 292-67、 292-68、292-202		鴨肥育舎建設	A	後高(3) 遺跡に該当及び周辺の遺跡に隣接。農業振興地域整備計画変更
16	H15.8.15	安田稲森 345-2		住宅建築	C	農業振興地域整備計画変更
17	H15.8.15	荒川成瀬 37-1 他 6 筆		給油取扱所及び灯油 販売所建設	C	農業振興地域整備計画変更
18	H15.8.15	牛館松枝 25-3、26、 27、28、30-1		耐雪型パイプハウス建設	C	農業振興地域整備計画変更
19	H15.8.15	新町野岡部 14 他 10 筆		市民農園施設整備	C	農業振興地域整備計画変更
20	H15.8.15	戸山安原 3-1		駐車場及び資材置場の 造成	C	農業振興地域整備計画変更
21	H15.8.15	久栗坂浜田 939-3、 939-5		魚雨置場造成	C	農業振興地域整備計画変更
22	H15.8.26	内真部山下 88-42 他		岩石採取・砂利採取	C	緑化計画

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
23	H15.8.29	小畑沢小杉 44 他 3 筆	野原遺跡	土地取引	B	
24	H15.10.27	鶴ヶ坂田川 88-1 他		岩石採取・砂利採取	C	岩石採取計画の変更、景観条例。
25	H15.10.27	横内神田 95-2	横内(3)遺跡	温泉掘削	B	鉱業種設定・温泉掘削許可 H14 試掘調査済。申請者の変更により再度照会。工事着工にあたり要協議
26	H15.11.26	鶴ヶ坂田川 71-225		温泉動力装置	C	温泉法。

平成 14 年度後期末課各種開発事業照会 (H14.12～H15.3)

番号	月日	対象地	面積(㎡)	開発行為	回答	備考
1	H14.12.4	蛭沢 48-57	279	不動産取引	A	蛭沢遺跡に該当。個人住宅の販売による土地の状況調査。中古住宅として販売するため、工事予定なし。
2	H14.12.10	三内沢部 31-1、31-2	3,300	生コン製造工場	B	三内遺跡隣接地。
3	H14.12.16	中央 1-10-4		不動産取引	C	
4	H14.12.24	四ツ石里見	440	不動産取引	B	野尻館遺跡隣接地。
5	H15.1.8	奥野 2-20-1	約 9,800	不動産鑑定	C	
6	H15.1.9	浪打 2-3-3	496	物件調査	C	H15 年度 123 と同じ。
7	H15.1.16	新町 1-11-15		不動産鑑定	C	
8	H15.1.16	三内丸山 278-1	4,455	物件調査	B	H15 年度関係課事業照会 12 と同じ。H15 試掘調査済。
9	H15.1.22	茶屋町地区、合浦 1 丁目		物件調査	C	
10	H15.1.23	鶴ヶ坂早稲田 130-1	64,561	岩石採取・砂利採取	C	H14 年度後期間関係課開発事業照会の 8 と同じ。
11	H15.1.27	柳川 2-4-10、2-4-16		不動産鑑定	C	
12	H15.1.27	石江江渡 104-2、104-3	5,668	宅地分譲	A	江渡遺跡に該当、H15 試掘調査、本調査済 16、26 と同じ。
13	H15.2.3	八幡林品川		不動産鑑定	C	
14	H15.2.3	新田 2 丁目		不動産鑑定	C	
15	H15.2.3	石江江渡 104-2		不動産鑑定	A	江渡遺跡に該当、H15 試掘調査、本調査済 12、26 と同じ。
16	H15.2.5	奥野 3-26-8～10、卸町 2-17		不動産鑑定	C	
17	H15.2.5	新城 170-1 他		不動産鑑定	C	
18	H15.2.6	浜館間瀬 92-42	4,826	不動産鑑定	C	
19	H15.2.7	筒井八ツ橋 112-11		不動産取引	C	
20	H15.2.7	造道地区		不動産鑑定	C	
21	H15.2.10	堤町 1-1-1、橋本 1-9-4		不動産鑑定	C	
22	H15.2.14	新城平岡 381-1、381-7、382-1、385-1、新城福田 273-2、274-2		不動産鑑定	A	新城平岡(4)遺跡に一部該当、要試掘調査。
23	H15.2.17	諏訪沢松代		不動産鑑定	C	
24	H15.2.18	安田近野 431-10		不動産鑑定	B	安田近野(2)遺跡隣接地。
25	H15.2.19	石江江渡 104-2		建築物の新築	A	江渡遺跡に該当、H15 試掘調査、本調査済 12、16 と同じ。
26	H15.2.19	岡造道 2 丁目 22		敷地調査	B	小柳遺跡隣接地、H15 年度 56 と 61 と同じ。
27	H15.2.20	合浦 2-14-33、中央 4-57-15、新町 2-5-20		不動産鑑定	C	

番号	月日	対象地	面積(m ²)	開発行為	回答	備考
28	H15.2.20	松森 1-94-12、松原 1丁目10、花園1 丁目136-12、橋本 2-18-12、造道磯野 4-2、東造道 2-50-3、 東造道 2-38-3		不動産鑑定	C	
29	H15.2	堤町 2-1-7		不動産調査	C	
30	H15.2.24	佃 1丁目		共同住宅建設	B	佃遺跡隣接地。
31	H15.2.24	古川 2-3-8		共同住宅建設	C	
32	H15.2.25	八重田 2-3-10		不動産調査	C	
33	H15.2.25	沖館 3-272-2	89	不動産鑑定	C	
34	H15.2.25	長島 1-6-9	1,455.73	土地取引	C	
35	H15.2.26	幸畑地区		不動産鑑定	C	
36	H15.2.27	新町 1-9-9～11、 安方 1-10-29		不動産鑑定	C	
37	H15.2.27	野木野尻 81-6～8、 168-2		不動産鑑定	C	
38	H15.2.28	栄町 1-6-5		不動産鑑定	C	
39	H15.3.3	野内浦島 196のうち 5筆	1,299.31	工場建設	C	
40	H15.3.4	勝田 1-11-1		共同住宅建設	C	
41	H15.3.5	駒込深沢 5-245、246、大 野山下 127-10、12、13、 三内福元 75-2、75-4		建築物の新築	B 他	駒込が深沢(2)遺跡隣接地。 大野、三内Cランク。
42	H15.3.6	筒井八ツ橋 31-205、 古川 1-9-9		物件調査	C	
43	H15.3.7	三内沢部 338-9、 341-2		不動産鑑定	B	三内沢部(3)遺跡隣接地。
44	H15.3.10	石江平山 2-233、 三内沢部 359-27、 336-13		不動産鑑定	A 他	石江遺跡に該当。
45	H15.3.12	新城山田 339-159、 新町野薄井 28-1		不動産鑑定	C	
46	H15.3.12	大野若宮		敷地調査	C	
47	H15.3.12	本町 5-3-27、 浅虫蛭谷 70-23		敷地調査	C	
48	H15.3.13	駒込深沢 1185-179、 180、181、191、 203	43,436	造成	B	梨の木平牧場遺跡隣接地、県 土整備事務所からの書類持参。 H15年度中に着手予定。
49	H15.3.13	浅虫山下 231-14、 231-19	257	不動産鑑定	C	
50	H15.3.17	新町 1-9-28 他		不動産調査	C	
51	H15.3.17	堤町 2-1-7		不動産取引	C	
52	H15.3.18	緑 2-19-9、19-10、 大野鳴滝 26-2		不動産鑑定	C	
53	H15.3.18	松森 1-14-13		不動産鑑定	C	
54	H15.3.18	浅虫内野 55-5		不動産取引	C	
55	H15.3.20	沖館 3-250-2、 250-10		不動産鑑定	C	
56	H15.3.24	三内沢部 214-16		不動産調査	C	
57	H15.3.26	佃 2-260-73、 栄町 1-8-25		物件調査	C	
58	H15.3.27	浪館前田 2-18-18		不動産調査	C	
59	H15.3.31	筒井 2丁目		不動産取引	C	

平成14年度後期間係課事業照会（H14.12～H15.3）

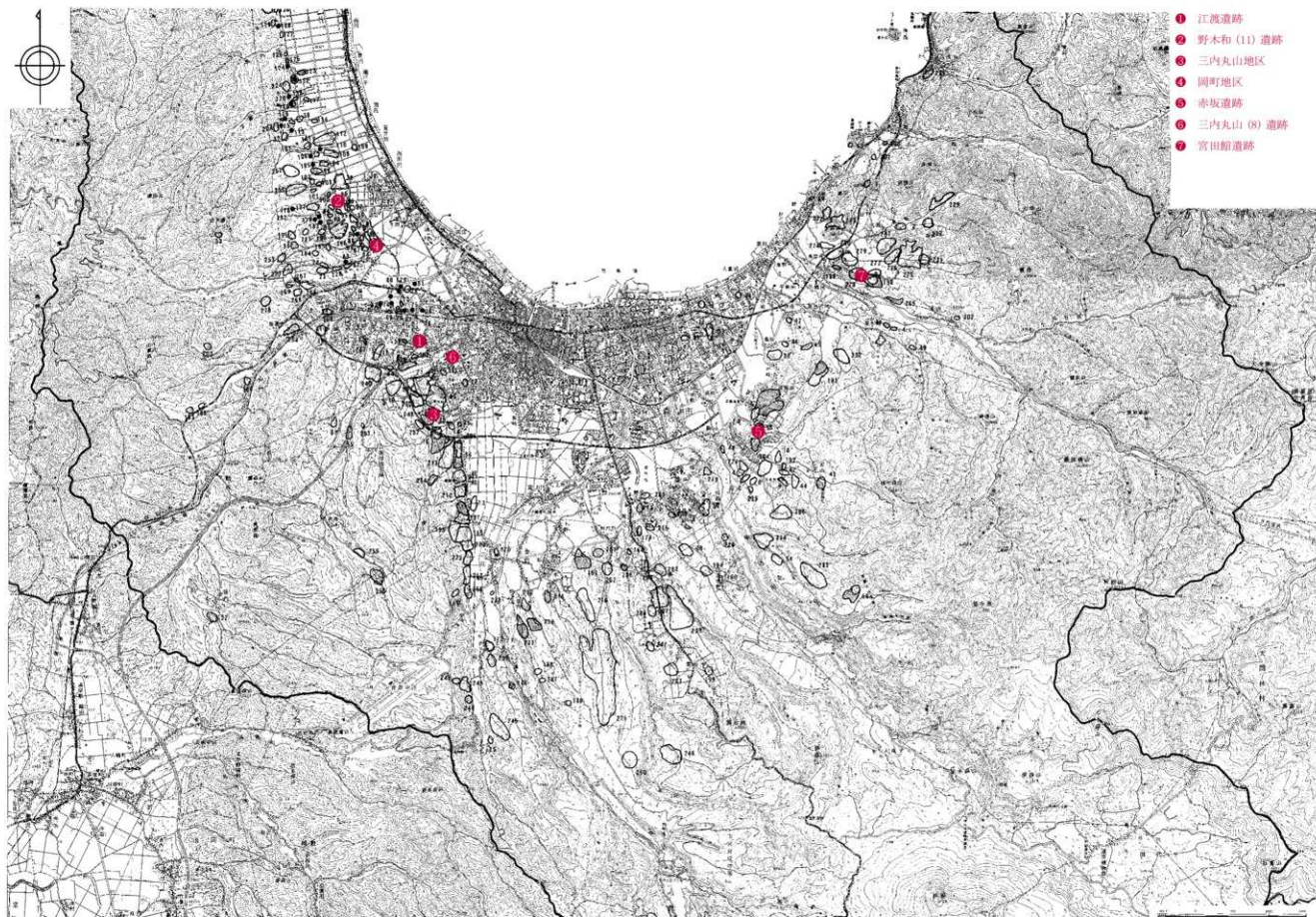
番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考	関係課
1	H14.12.2	浅虫蚕谷 202-3		土地取引	C		
2	H14.12.10	大野地区		土地区画整理事業	C	県土地利用基本計画の変更、青森農業振興地域の変更、青森都市区域の変更、要試掘。	道路建設課
3	H14.12.18	諏訪沢松代 121-16		建築物の新築	C	農業振興地域整備計画変更	道路建設課
4	H15.2.17	油川・千刈地内		都市計画道路 3・4・16号油川岡町線〔道路建設〕	C	県景観条例	道路建設課

平成14年度後期庁内関係開発事業照会（H15.2～H15.3）

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H15.2.17	平新田森越地内		都市計画道路 3・2・3号外環状線〔道路建設〕	C	県景観条例
2	H15.2.17	三内丸山地内	三内丸山道路、 山原(1)遺跡	都市計画道路 3・4・15号里見丸山線〔道路建設〕	B	県景観条例、要試掘
3	H15.3.7	久栗坂久栗坂山 1-418 他	山跡遺跡	岩石採取・砂利採取	A	
4	H15.3.11	鶴ヶ坂早稲田 130-1		岩石採取・砂利採取	C	H14年度後期末課各種開発事業照会 10 と同じ。
5	H15.3.17	鶴ヶ坂山本 54-128、 43-1		岩石採取・砂利採取	C	
6	H15.3.20	野沢川部 79-11 他1筆		土地取引	C	

平成15年度工事立会い

番号	月日	工事場所	遺跡名	工事内容	問題等	備考
1	H15.7.18	西田沢山辺 225-27 他	西田沢(6)遺跡	菜園分譲予定地の道路部分の砂利敷設の為の掘削	無	慎重工事。H14 試掘調査実施。



第1図 平成15年度調査対象遺跡一覧

第Ⅱ章 新規登録・範囲変更遺跡

第1節 新規登録遺跡

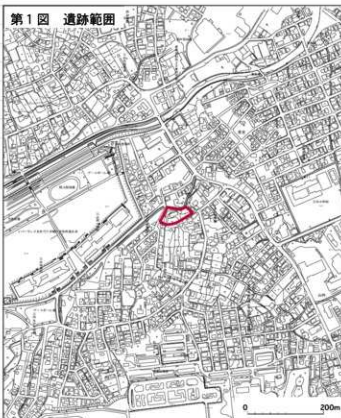
遺跡名	三内丸山(8)遺跡
遺跡番号	01315
所在地	青森市大字三内字丸山45-13
立地	丘陵
現況	原野
時代	縄文時代、平安時代
遺物	縄文土器・土師器片

備考

平成15年12月22日に都市計画道路3・4・15号里見丸山線建設事業に伴う試掘調査を実施した。

結果、平安時代の竪穴住居跡、土師器をはじめ縄文土器片などが出土した。詳細は第Ⅲ章第6節のとおりである。

第1図 遺跡範囲



第2節 範囲変更遺跡

遺跡名	岡町(9)遺跡
遺跡番号	01089
所在地	青森市大字岡町字宮本
立地	丘陵
現況	畑・山林
時代	縄文時代、平安時代
遺物	縄文土器片

備考

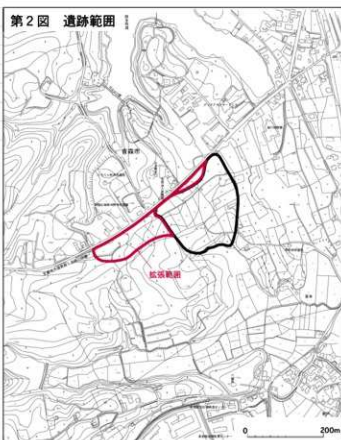
平成15年12月19日に県道青森・五所川原線改良工事に伴う県教育庁文化財保護課の試掘調査により範囲の拡大を確認。土坑3基、縄文土器片などが出土した。



写真1 試掘調査の状況

(青森県教育庁文化財保護課 提供)

第2図 遺跡範囲



第三章 試掘・確認調査

第1節 江渡遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市大字石江字江渡104-2・3・5・9
2. 開発内容：分譲宅造成
3. 調査期間：平成15年4月16日～18日

調査に至る経緯

分譲宅造成に関して都市計画法32条関連の事前協議に関連した照会によって工事予定部分は周知の埋蔵文化財包蔵地である江渡遺跡（青森県遺跡台帳番号01163）に該当していた。工事予定地内の埋蔵文化財の有無について確認を得るため確認調査を実施する必要が生じた。

調査方法

重機によるトレンチ掘り対象地内を21地点掘削調査した。

調査結果

調査対象地の現況は畑地で、地表面の観察では耕作による影響以外目立った破壊が認められなかった。掘削の結果、表土（現耕作土）が約10～20cm前後堆積を示す部分と、縄文時代から平安時代にかけての遺物包含層が20cm～30cm程度堆積している箇所が確認された。また、調査区中央部には緩やかな沢地状の地形が残存しており、その箇所については自然堆積層が最大40cm程度の厚さで堆積している。そのため、表土以下の堆積層の厚さは斜面の高い部分が15～20cm前後、堆積層の厚い部分は、60～70cm程度の土層堆積が認められた。

トレンチ毎の遺構・遺物の有無については以下に記す。

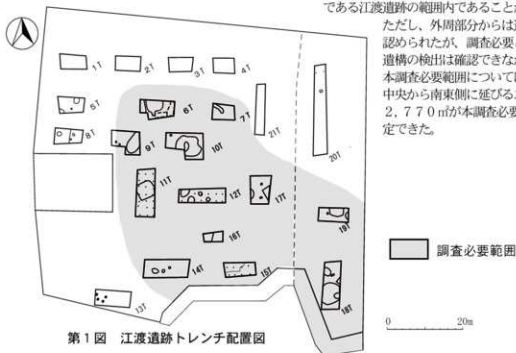
トレンチ1＝遺構・遺物無、トレンチ2＝遺構・遺物無、トレンチ3＝遺構・遺物無、トレンチ4＝遺構・遺物：近代の陶器、トレンチ5＝遺構：近代以降の

穴、風倒木・遺物：縄文土器・陶磁器出土、トレンチ6＝遺構：平安時代の住居跡2軒、文化層確認・遺物：土師器、鉄製品出土、トレンチ7＝遺構：溝跡（平安時代の外周溝の可能性有）・遺物無、トレンチ8＝遺構：近代以降の火災？被熱面検出・遺物：銅製スプーン、トレンチ9＝遺構：縄文時代の住居跡1軒、ピット2基・遺物無、トレンチ10＝遺構：平安時代の焼土状遺構、文化層確認・遺物：縄文土器出土、トレンチ11＝遺構：平安時代の住居跡1軒、近代以降の小ピット多数、風倒木・遺物無、トレンチ12＝遺構：土坑4基、近代以降の小ピット多数・遺物無、トレンチ13＝遺構：近代以降の小ピット4基・遺物：縄文土器出土、トレンチ14＝遺構：土坑2基、ピット1基・遺物：土師器、羽口出土、トレンチ15＝遺構：近代以降の小ピット多数、文化層確認・遺物無、トレンチ16＝遺構：平安時代の住居跡1軒・遺物無、トレンチ17＝平安時代の住居跡1軒、土坑1基、ピット2基、堆積層2面確認、遺物：無、トレンチ18＝縄文時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒（喪失住居）、土坑1基、ピット1基、遺物：縄文土器、石器、土師器、陶磁器、トレンチ19＝縄文時代の土坑1基、平安時代の住居跡1軒、ピット1基、遺物：縄文土器出土、トレンチ20＝約半分が現代の境川により破壊を受けている。近代以降の小ピット3基、遺物：無、トレンチ21＝遺構：近代以降の小ピット多数、遺物：無

調査の結果、今回の調査対象区域は周知の遺跡である江渡遺跡の範囲内であることが認められた。

ただし、外周部分からは遺物の出土が認められたが、調査必要と判断される遺構の検出は確認できなかったため、本調査必要範囲については調査対象区中央から南東側に延びるエアとなり、2,770㎡が本調査必要であると認定できた。

(木村)



第1図 江渡遺跡トレンチ配置図

第2節 野木和(11)遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市羽白字野木和
2. 開発行為：畑地造成
3. 調査期間：平成15年7月28日・8月4日

調査に至る経緯

平成14年12月、青森県文化財保護指導員のバトロールの状況報告で、周知の遺跡である野木和(11)遺跡(青森県遺跡台帳番号01099)の掘削を確認した。工事主体者は、発掘に関する届出書(文化財保護法第57条の2)を提出することなく造成工事を行い、遺跡の一部を損壊していたことが明らかとなった。当委員会では事業者に対し遺憾の意を示し、埋蔵文化財の取扱いについて指導した。その後、工事主体者との協議により、工事を中止することとし、平成15年7月に遺構の残存状況を確認するための調査を実施することとなった。

調査方法

前述のように、調査前の時点で、調査区全体が黄褐色ローム層まで掘削されていたため、全体にジョレンガチを行い、個々の遺構の残存状況を確認した。グリッドについては基準となる箇所がなかったため、設定せず、トータルステーションで調査区の範囲と遺構の形、位置を把握した。遺構の実測・遺物の取り上げは簡易遺り方測量で行った。

調査結果

調査対象面積2,607㎡に対し、57㎡調査を実施した。確認調査の結果、遺構については、平安時代の竪穴住居跡2軒、土坑2基の残存を確認し、遺物については、土師器・須恵器・擦文土器、土製支脚・鉄器が出土した。

A. 竪穴住居跡

S1-01

本遺構は、貼味が露出するほど削平を受けており、長軸673×短軸592cmで、不整形を呈し、深さは最大で10cmである。壁溝や、住居内の土坑・柱穴はないが、炭化物の集中範囲が2箇所検出されている。また、住居の中央部は攪乱を受けている。カマドは、南西側の壁に造られており、構造は半地下式である。カマドについても袖部の芯材と考えられる礎と火床面のみ確認された。煙道部は中央がやや落ち込んでいる。出土遺物は、土師器をを中心に、把手付土器、羽釜、小壺、土製支脚(棒状)、鉄器が出土しており、特に小壺は、外面にヘラ書きがなされている。

S1-02

本遺構は、東側と南側が削平されており、残存する部分での規模は、長軸394×短軸290cmで、深さは、最大で30cmである。住居内からは、土坑2基・ビット6基が確認されている。ビット6基のうち、ビット1～5は壁柱穴である。カマドは大

部分が削平されており、火床面の一部が残存していた。遺物は、覆土を中心に土師器裏、把手付土器、土製支脚(輪積み)、須恵器が出土している。

B. 土坑

SK-01

本遺構は、平面形が楕円形を呈し、長軸94×短軸70×深さ34cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がるが、底面は起伏がある。

SK-02

本遺構は、平面形は不整形を呈し、46×20×7cmの断面形が浅い鍋底状の土坑と、48×44×22cmの断面形が輪状の土坑がくっついた形状である。浅い土坑の底面には、焼土が広がっていた。出土遺物には、土師器、土製支脚、鉄器があるが、土師器は小片のため、図化できなかった。

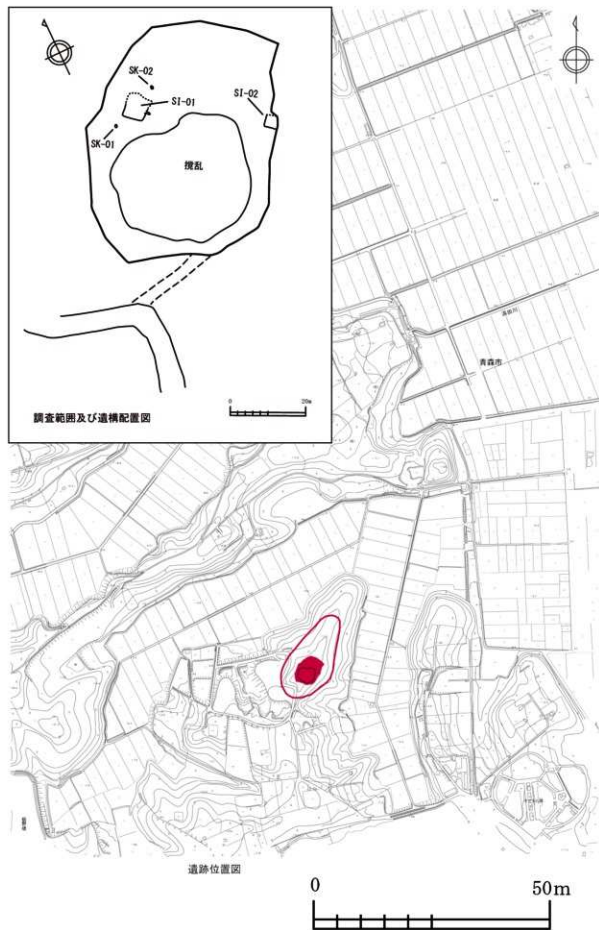
C. 遺構外出土遺物

ビニール袋1袋ほどの土器を採集したが、摩耗しているものが多く、図化可能な遺物は第6図12の擦文土器1点であった。

まとめ

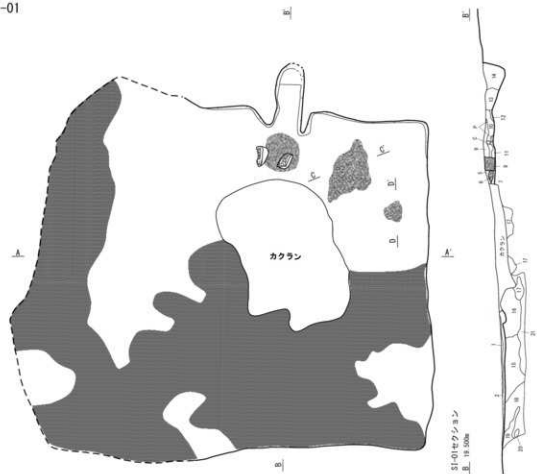
今回の調査は、削平された場所を極めて短い期間で行ったものである。調査区中央部の攪乱部分をはじめ、調査区全体が月見野火山灰層まで削平を受けており、残存状況は決して良くはなかったが、平安時代の竪穴住居跡2軒、土坑2基を確認することができた。

(設 案)



第2図 遺跡位置図及び遺構配置図

SI-01



SI-01セクション

A-B 19.300m



SI-01(東)セクション

E-F 19.300m



SI-01(西)セクション

D 19.300m



0 2 m



SI-01

- 第1層 10R3/3 埴褐色土 LB(5cm~30cm)多量
埴土粒、炭化物中量、黏床
- 第2層 10R2/2 埴褐色土 LB(10cm~50cm)少量
炭化物、埴土粒少量
- 第3層 10R1/7/1 埴色土 埴土粒少量
- 第4層 10R2/2 埴褐色土 LB(70cm)少量
埴土粒、炭化物中量
- 第5層 10R2/1 埴色土 埴土粒少量、炭化物中量
- 第6層 1 3R4/4 埴色土 埴土
- 第7層 7 5R1/7/1 埴色土、炭化物多量
- 第8層 3R4/6 赤褐色土 埴土
- 第9層 7 5R2/3 埴褐色土、埴土粒中量
- 第10層 7 5R3/3 埴褐色土、埴土粒中量
- 第11層 7 5R2/4 埴褐色土、埴土ブロック多量
- 第12層 7 5R3/2 埴褐色土、埴土ブロック炭化物ごく微量
- 第13層 10R7/6 赤黄褐色土
- 第14層 10R6/6 赤黄褐色土
- 第15層 10R2/1 埴色土 LB(50cm)多量
- 第16層 10R6/6 赤黄褐色土

- 第17層 10R2/1 埴色土 LB多量
- 第18層 10R4/6 埴色土 ローム質土が多量混じる
- 第19層 10R6/1 赤黄褐色土 埴色土少量混じる
- 第20層 10R6/6 赤黄褐色土
- 第21層 10R7/8 赤褐色土
- 第22層 10R4/6 埴色土 ロームが多量混じる
- 第23層 10R4/6 埴色土 埴土粒、ローム粒少量、炭化粒少量
- 第24層 10R4/6 埴色土 埴土粒、埴土ブロック少量
- 第25層 10R6/6 赤黄褐色土 埴土粒、炭化粒少量
- 第26層 10R4/6 埴色土 埴土粒多量
- 第27層 10R2/4 埴褐色土 ローム粒、炭化粒多量
- 第28層 7 5R3/3 埴褐色土 埴土ブロック(5~60cm)
埴土粒多量、炭化粒少量

SI-01(内東)①

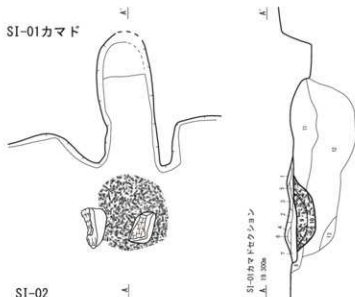
- 第1層 10R1/7/1 埴色土 炭化物多量、埴土ブロック多量

SI-01(内西)②

- 第1層 10R3/2 埴褐色土 炭化物中量、ローム中量、埴土粒中量

第3図 SI-01①

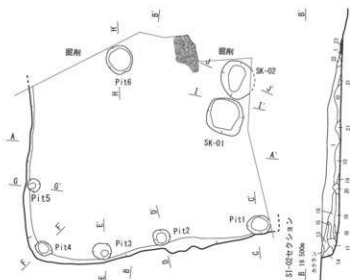
SI-01カマド



SI-01カマド

- 第1層 7.5192/2 黒褐色土 焼土粒、炭化物少量
- 第2層 10193/7/1 黒色土 焼土粒少量、焼土ブロック (10cm²少量)
- 第3層 7.5195/6 明褐色土 焼土
- 第4層 7.5194/4 褐色土 焼土ごく微量、炭化物ごく微量
- 第5層 5192/2 緑赤褐色土 焼土粒中量、焼土ブロック (10cm²少量、炭化物ごく微量)
- 第6層 5194/4 にぶい赤褐色土 炭化物微量
- 第7層 7.5196/6 橙色土 焼土粒微量、黒褐色土少量まじる
- 第8層 10192/1 黒色土 焼土粒、ローム粒、炭化物多量
- 第9層 5195/8 明赤褐色土 焼土、火床面
- 第10層 7.5194/4 褐色土 浮石少量、炭化物少量
- 第11層 7.5194/4 褐色土 焼土ブロック (2.5195) 炭化物少量
- 第12層 7.5192/4 緑褐色土 焼土ブロック (2.5195) 炭化物微量
- 第13層 7.5195/4 にぶい褐色土 炭化物ごく微量

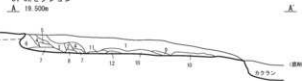
SI-02



SI-02

- 第1層 10192/1 黒色土 ローム粒・焼土粒中量
- 第2層 10195/6 明褐色土 ローム、黒色土が混じる
- 第3層 10193/4 緑褐色土 ローム粒少量
- 第4層 10194/4 褐色土 ローム粒少量
- 第5層 10193/4 緑褐色土 Li (50cm²) 微量
- 第6層 10194/6 褐色土
- 第7層 10195/6 黄褐色土 明褐色土が混じる
- 第8層 5194/8 赤褐色土 焼土ブロック
- 第9層 10192/1 黒色土 焼土粒中量
- 第10層 10194/4 褐色土 黒色土が混じる、焼土ブロック微量
- 第11層 10194/4 褐色土 土粒少量
- 第12層 5194/8 赤褐色土 焼土ブロック
- 第13層 10193/2 黒褐色土 ローム粒少量
- 第14層 10195/6 黄褐色土 ローム粒少量、黒色土が混じる
- 第15層 10194/4 褐色土
- 第16層 10193/3 緑褐色土 炭化物粒少量、黄褐色土が混じる
- 第17層 10192/3 黒褐色土
- 第18層 10195/6 明褐色土 ローム、炭化物土 (5cm) 含む
- 第19層 10192/3 黄褐色土 ローム粒少量、炭化物土 (層) 含む
- 第20層 10192/3 黒褐色土 焼土ブロック微量、炭化物粒多量
- 第21層 10194/4 褐色土 ローム粒・焼土粒少量
- 第22層 10193/4 緑褐色土 焼土粒少量
- 第23層 7.5194/6 赤色土

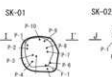
SI-02セクション



Pi11

- 第1層 10193/3 緑褐色土 ローム粒少量
- Pi12
- 第1層 10193/3 緑褐色土
- 第2層 10192/3 黒褐色土 ローム粒中量、炭化物粒少量
- Pi13
- 第1層 10192/2 黒褐色土 ローム粒・炭化物粒少量
- Pi14
- 第1層 10195/6 明褐色土炭化物 (2cm) 微量
- 第2層 10192/2 黒褐色土 ローム粒多量
- Pi15
- 第1層 10194/4 褐色土 炭化物粒少量
- Pi16
- 第1層 10193/3 緑褐色土 炭化物粒少量

Pi11セクション Pi12セクション Pi13セクション



Pi14セクション Pi15セクション Pi16セクション



SI-02P/SK-01

- 第1層 10192/1 黒色土 焼土粒・炭化物・ローム粒多量混入
- 第2層 10192/1 黒色土
- 第3層 10194/4 褐色土 焼土粒少量、焼土ブロック含む
- 第4層 10194/4 褐色土
- 第5層 10193/3 緑褐色土 焼土粒中量

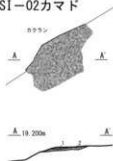
SI-02P/SK-02

- 第1層 10193/4 緑褐色土 焼土ブロック・焼土粒多量
- 第2層 10194/4 褐色土 焼土粒中量
- 第3層 10192/1 黒色土 焼土粒多量



第4図 SI-01カマド・SI-02

SI-02カマド



SI-02カマド

第1層 2.519A/5 褐色土 火床面
第2層 519A/6 赤褐色土 黒色土が少量混じる



SK-01



SK-01セクション



SK-01

第1層 1019A/4 褐色土 LB (20a~60a次) 中量、
焼土ブロック (10a~20a次) 少量
第2層 1019D/2 黒褐色土 焼土ブロック (20a~10a次) 少量、
灰化物少量、ローム粒中量

SK-02

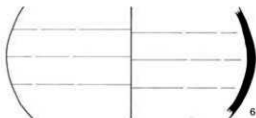
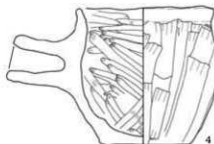
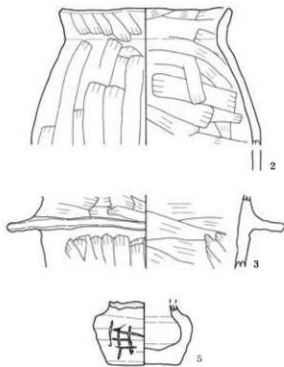
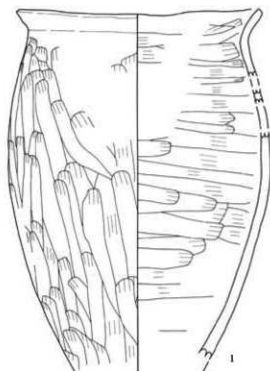


SK-02セクション

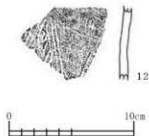
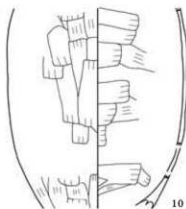
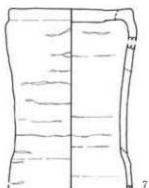
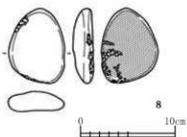
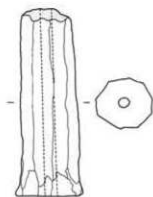
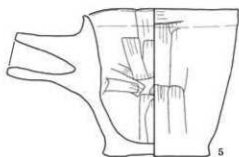
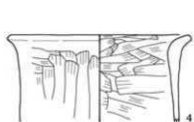
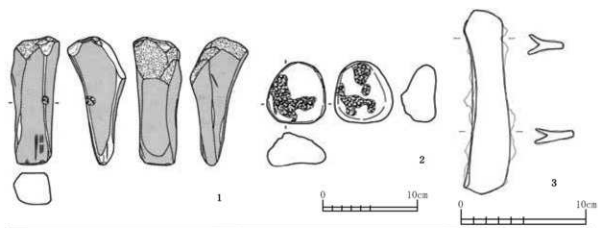


SK-02

第1層 1019A/2 灰黄褐色土 ローム粒多量、焼土粒少量
ロームブロック (5a~30a次) 多量
第2層 1019E/1 黒褐色土 焼土ブロック (10a~50a次) 中量
灰化物少量
第3層 1019E/1 黒色土 灰化物少量
第4層 1019E/1 黒色土 焼土粒・ローム粒多量



第5図 SI-02カマド・SK-01・02・SI-01出土遺物



第6図 SI-01・SI-02出土遺物

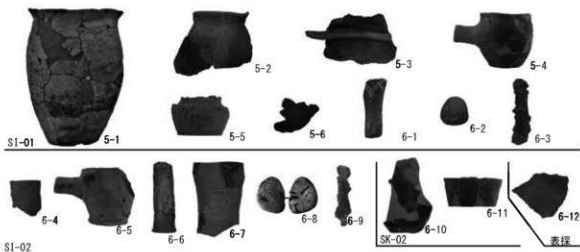
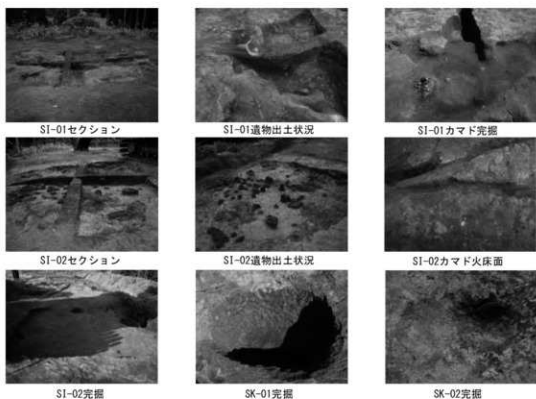


写真 1. 遺構・遺物

野木町(1) 遺跡出土品目録表

遺物番号	出土位置	部位	種別	形状	口径	高さ	底径	底心	底心位置	内径位置	底面位置	色面内径	色面内径	備考
SI-1	SI-01区	フタリ、フタ11、火床裏面土、フタ1、フタ1	土師器	壺	196				底	ヘラ	ヘラ		0907.3にぶい焼成	0907.3にぶい焼成
SI-2	SI-01区	フタ10、フタ11、火床裏面土、フタ1	土師器	壺	140				底	ヘラ	ヘラ		7.0907.4焼	0907.4焼
SI-3	SI-01区	フタ2	土師器	壺	147				底	ヘラ	ヘラ		0907.4焼	7.0907.4焼
SI-4	SI-01区	壺底	土師器	壺	底	底	底	底	底	底	底		7.0907.4にぶい焼成	0907.4にぶい焼成
SI-5	SI-01区	壺底	土師器	小壺	100	50	57	底	底	底	底		0907.4焼	0907.4焼
SI-6	SI-01区	壺底	土師器	壺	100	72	底	底	底	底	底		0907.4焼	0907.4焼
SI-7	SI-01区	フタ3	土師器	壺	1140				底	ヘラ	ヘラ		7.0907.4にぶい焼成	7.0907.4にぶい焼成
SI-8	SI-01区	フタ1	土師器	壺	1750	110	底	底	底	底	底		0907.4焼	0907.4焼
SI-9	SI-01区	フタ1	土師器	壺	140	110	底	底	底	底	底		0907.4焼	0907.4焼
SI-10	SI-01区	フタ1	土師器	壺	140	110	底	底	底	底	底		0907.4焼	0907.4焼
SI-11	SI-01区	フタ2	土師器	壺	100				底	底	底		0907.4焼	0907.4焼
SI-12	壺底	壺底	土師器	壺					底	底	底		0907.4にぶい焼成	0907.4にぶい焼成

野木町(1) 遺跡出土品目録表

遺物番号	出土位置	部位	種別	形状	備考
SI-1	SI-01区	壺下5-1	石器	砥石	磨り粉
SI-2	SI-01区	フタ4下1	石器	入り石	磨り粉
SI-3	SI-01区	壺下7-1	土師器	平壺	磨り粉
SI-4	SI-01区	フタ5-1	石器	入り石	磨り粉

第3節 三内丸山地区

調査対象等

1. 調査地：青森市大字三内丸山278-1
2. 開発内容：駐車場建設
3. 調査期間：平成15年8月2～3日

調査に至る経緯

駐車場建設に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会があり、開発予定地が周知の遺跡である近野遺跡と三内丸山(5)遺跡に近接していたため、遺跡の有無確認を目的に試掘調査を実施した。

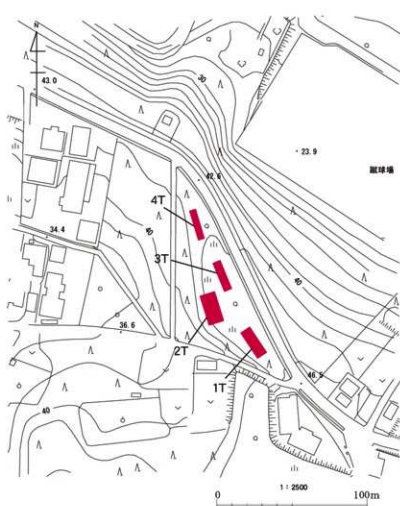
調査方法

開発予定地(4,540㎡)に任意のトレンチを4地点設定し、重機による掘削及び必要に応じて鍬簾がけを行った。調査面積は520㎡である。

調査結果

調査した4地点は、いずれも削平されており、さらにその上に1m～3m以上の盛土が認められ、開発地全体が既に造成されていることが判明した。このため、遺構や遺物は出土せず、現状では埋蔵文化財包蔵地として認めることができなかった。工事については、試掘調査後に開発者側が実施しており、現在は駐車場となっている。

(児 玉)



第7図 調査区位置図



写真2 調査区近景

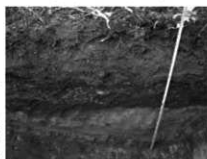


写真3 1T 土層断面



写真4 1T 掘削状況

第4節 岡町地区

調査対象等

- 1.調査地：青森市大字羽白字富田190-4ほか
- 2.開発内容：施設建設
- 3.調査期間：平成15年8月11日

調査に至る経緯

工事予定部分は周知の埋蔵文化財包蔵地である岡町(5)遺跡(青森県遺跡台帳番号01085)の隣接地に該当していた。工事予定地内の埋蔵文化財の有無について確認を得るため試掘調査を実施する必要性が生じた。

調査方法

開発予定地に重機によるトレンチ掘り対象地内を10地点掘削調査した。

調査結果

調査対象地の現況は水田が主体であり、地表面の観察では耕作による影響以外目立った破壊が認められなかった。

掘削の結果、1Tが約30cm前後の盛土面が確認され、その盛土層から土師器の破片1片が出土したが、その直下には約70~80cmの黒色有機物腐植土層が堆積しており、沢地状の地形を有していることが確認できたが、遺構や遺物等本調査が必要とされる資料が認められなかった。

2Tは上面に廃材が混入する攪乱土の堆積が認められたが、直下は有機物層の堆積が認められ、地表から約1m下の部分からB-Tm火山灰の二次堆積層とその直下約15cm下からは青灰色の砂層が確認された。ただし、人工的な遺物等の出土は認められなかった。

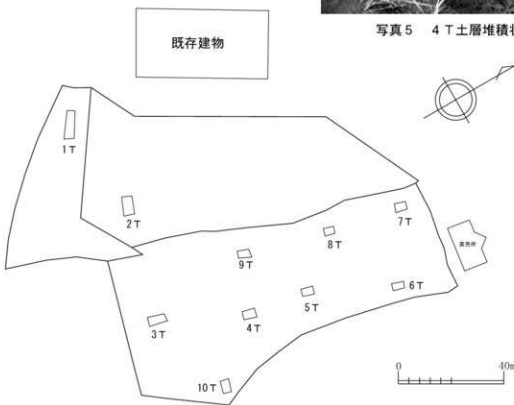
3T~10Tについても現況の水田面から約1~2m前後の土層堆積が認められたが、自然流水等を伴う腐植土層の堆積と下層から海砂を含む土層の堆積が認められ、縄文海進期の海岸面等の状況は想定されるが、人的な影響が認められないことから遺跡とは認定できない。

よって、以上の結果から開発予定地に関しては本調査の必要性なしと判断した。

(木村)



写真5 4T土層堆積状況



第8図 調査区及びトレンチ配置図

第5節 赤坂遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市大字戸山字赤坂482-1、48-1
2. 開発内容：宅地分譲造成
3. 調査期間：平成15年11月26日

調査に至る経緯

宅地分譲造成に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会があり、開発予定地が周知の遺跡である赤坂遺跡（青森県遺跡台帳番号01053）に該当したため、発掘調査の要否の検討を目的に試掘調査を実施した。

調査方法

開発予定地（2,496㎡）に任意にトレンチを4地点設定し、重機による掘削及び必要に応じて籐籠がけを行った。調査面積は500㎡である。

調査結果

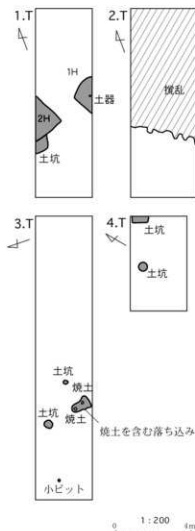
調査した4地点の地山までの深さは、1T=30cm、2T=60cm、3T=100cm、4T=90cmで、開発地の北東側約3分の1が削平されていた。遺構は地山残存部より検出し、平安時代の竪穴住居跡2軒（1～2H）及び時期不明の土坑5基、小ピット1基、焼土1基を検出した。遺物は、竪穴住居跡の覆土上面や遺構外から平安時代の土師器や須恵器片、縄文土器片が出土した。

以上の結果、今回の開発予定地が遺構・遺物を包含する部分と重複したため、工事の際には事前に発掘調査を必要とすることが判明した。工事の施工及び発掘調査の実施については、現在開発者側と調整中である。

(児 玉)



第9図 調査区位置図



第10図 遺構確認状況



写真6 1T 竪穴住居跡(1H)



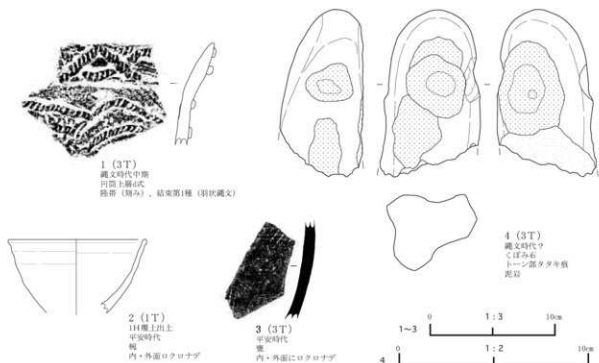
写真7 1T 土坑(左)と竪穴住居跡(2H)



写真8 3T 完掘状況



写真9 4T 完掘状況



第11図 赤坂遺跡出土遺物

第6節 三内丸山(8)遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市大字三内丸山45-13
2. 開発行為：道路建設
3. 調査期間：平成15年12月22日

調査に至る経緯

青森市道路建設課との埋蔵文化財に関する事前協議に基づき、都市計画道路3・4・15号里見丸山線の道路建設事業に伴う遺跡の有無確認を目的とした試掘調査を実施した。

調査方法

開発予定地内(500㎡)に任意にトレンチを2地点設定し、重機による掘削及び必要に応じて鍬簾がけを行った。調査面積は30㎡である。

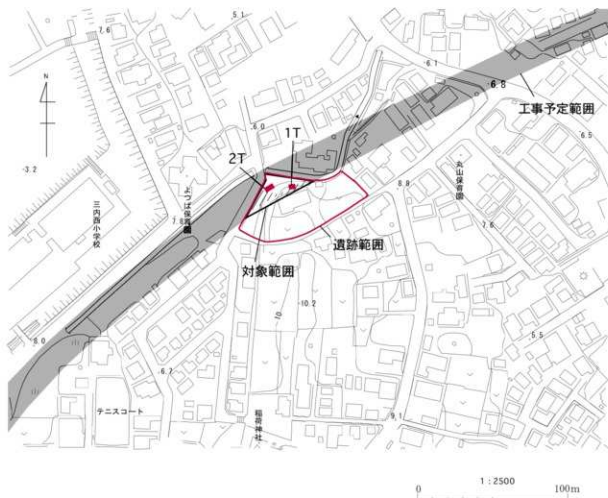
調査結果

調査した2地点の地山までの深さは、1T=40cm、2T=30cmで、開発地が部分的に削平されていた。遺構は、地山残存部より検出し、平安時代の竪穴住居跡1軒を検出した。遺物は、平安時代の土師器を中心に縄文土器片が出土した。

調査の結果、調査区一帯が平安時代を主体とする遺跡であることが判明した。また、調査後には、県文化財保護課と協議し、遺跡名を三内丸山(8)遺跡(青森県遺跡台帳番号01315)として新規登録した。

発掘調査については、着工スケジュールを調整した上で、来年度以降に実施する予定となっている。

(児 玉)



第12図 調査区位置図



第13図 2T 遺構確認状況



写真10 1T 完掘状況



写真11 2T 完掘状況・竪穴住居跡確認



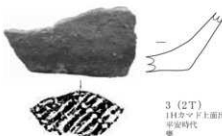
写真12 2T 竪穴住居跡 カマドの遺物出土状況



1 (2T)
縄文時代後期～晩期
R土 縄文



2 (2T)
縄文時代後期
土層内1式
片類



3 (2T)
1Hカマド上面出土
平安時代
壺
外面 ヘラケズリ
内面 ヘラナデ
底面 スダレ状圧痕



4 (2T)
1Hカマド上面出土
平安時代
壺
外面 ヘラナデ
内面 ナデ



5 (2T)
1Hカマド上面出土
平安時代
壺
外面 ヘラナデ
内面 ナデ



6 (1T)
平安時代
壺
外面 ナデ



第14図 三内丸山 (8) 遺跡出土遺物

第IV章 発掘調査

宮田館遺跡（青市教委第2次調査）

1. 調査地：青森市大字宮田字玉水 304-1・304-5
2. 開発行為：個人敷地造成
3. 調査対象面積：400㎡
4. 調査期間：平成15年4月24日～5月30日

調査に至る経緯と経過

平成12年度に青森県埋蔵文化財調査センター（以下埋文センター）により調査が実施された青森環状野内線道路建設事業に係る玉水（2）遺跡（平成13年度に遺跡統合により宮田館遺跡に変更）の調査の際、発掘調査区の隣接地に個人住宅建設の計画があることを調査担当者が聞きつけ当該委員会への協議の必要性を開発予定者に示唆した。その後、当該委員会と開発予定者との間で協議を何度か重ね、発掘調査実施の方向性になり、開発予定者側から漠然とした掘削範囲の提示はあったが、遺跡の破壊が懸念される掘削範囲等がわかる設計図の完成をもって発掘調査必要面積等の割り出しを行うこととなった。同時に開発予定地が青森農業振興地域整備計画地に該当する畑地であったこともあり、除外認定等の手続きを別途進めながら状況の推移を見守ることとした。平成13年度に農業振興地域整備計画の除外申請が実施されたが、具体的設計図等の提示がなされないまま建設計画の時期が平成14年の8月頃着工という期限が提示されたのみであった。

平成14年度に入り、ようやく設計図等の提示があり発掘届が提出されたが、折しも本調査へ至る経緯となった青森環状野内線の拡幅工事に関して市道の付け替えが必要とされる部分が生じており、その工事施工の結果（工事施工部分の本調査は埋文センターで平成14年度に本調査）本開発予定地を島状に残す形で行われることが判明し、宅地の開発面そのものも付け替え工事により新たにできる路盤まで下げきった面まで全面掘削し、住宅が建設される予定であることが発覚した。それによって、本調査必要範囲は900㎡に上り、単年度では予算措置上で対応できないことが判明した。

そこで、再度開発予定者と協議し、第1年次の発掘調査を平成14年5月13日～6月10日の期間で実施した。第2年次の発掘調査は平成15年4月24日～5月30日の期間で実施することとした。

遺跡の位置（第1図参照）

遺跡は、青森市の東部の宮田地区に所在する。



第1図 宮田館遺跡位置図

既往の調査

昨年度の報告でも触れたが本遺跡は平成12年度時点では玉水(2)遺跡と宮田館遺跡という2つの遺跡名で登録されており、本調査区周辺は玉水(2)遺跡と登録されていた。統合前後を含めた調査は、青森県埋蔵文化財調査センターにより県道の青森環状野内線関連で2次分(平成12・14年度)、県の公共施設関連は3次分(平成12～14年度)調査が実施されている。また、当委員会では前述のとおり昨年度調査を実施している。

調査方法

開発予定地400mに対して重機により表土処理を実施したのち籐簾による遺構確認し、確認後、遺構掘り下げおよび精査を行うこととした。グリッドは昨年度実施のグリッドを調査区内に復元し、必要に応じて展開した。平面図作成および遺物取り上げで点上げたものは簡易遣り方測量およびトータルステーションによる測量で行った。写真撮影はデジタルカメラを使用した。

遺構と遺物

発掘調査の結果、竪穴住居跡3軒(縄文1・平安2)、土坑6基、溝跡4条、ピット226基、その他の遺構3基を検出した。紙面の関係で詳述できない箇所もあるため、調査結果の遺構・遺物の計測値やその他の情報については各々の観察表を参照されたい。

(木 村)

A. 竪穴住居跡

SI-07 (第5～11図)

前年度の南西部分に引き続き本年度は北東部分の調査を実施した。グリッドIT・IIA・IIB-45・46で検出した。前年度の調査時にSD-01及びSX-04との重複が確認されており本遺構の方が古い。また、前年度調査時に既に確認されている隧道状の自然流路が住居跡の南壁から北西に掛けて縦断しており、この流路天井部の崩落の影響による沈下面が床面上に確認されている。昨年度も報告しているが、本遺構の廃絶時点でこの流路は存在しなかったものと判断される。規模は南壁が一部掘乱されているため長軸幅については現存値ではあるが、残存部で675×(710)×66(81)cm、床面積は42.644㎡を測る。平面形は方形を呈し断面形はほぼ垂直に立ち上がる形状である。北壁は壁溝のみ確認されている。東壁は月見野火山灰層の地山を壁面とし、上面は黒色土を主体に壁面としているが、一部の側面の掘り方に月見野火山灰層の地山土と黒色土の混合土が充填された貼壁が確認されている。また、東壁の南隅には立て掛けるような状態で板状の礫が出土している。壁溝はほぼ全周しているが、カマド付近の壁溝は一部断続し、構築時にやや幅広に掘り込まれており、充填土中に土師器片が多量混入している。廃絶時点には再度掘り込みが行われている。また、壁溝のみの確認であるが北壁斜面下方の西隅に張り出し部が検出されており、張り出し部の住居外の黒色土上には小範囲ではあるが礫化面が確認されている。

ピットについては昨年度7基検出しており、本年度は38基検出し、合計45基検出した。ピットのうちPit8・9・13は壁柱穴である。また、それ以外でもカマド付近の壁溝内にも柱穴状の掘り込みが確認されている。主柱穴と考えられるピットは北東側から1基確認された(Pit22)。北西に対応する主柱穴痕と考えられる痕跡が確認されたが、流路により覆土が掘乱されていたため床面での確認のみとなり、明確な主柱配置は確認していない。床面は北壁側に掘り込みを持ち前述の貼壁と同等の充填土を貼床としている。それ以外は月見野火山灰層の地山土を床面としている。カマド付近の床面にはかなり広い範囲で礫化面が検出されている。

カマドは東壁に新旧2基検出しており、南側の方が古く北側の方が新しい。カマド(新)の構造は半地下式で主軸方向はN-92°-Eである。軸幅は47cmで煙道長は53cmを測る。煙道部の天井は崩落

した形状で残され、煙出も確認された。芯材として使用された板状の礫が両袖から確認されているが、検出時点で前底部及びに袖脇からも礫が出土しており、袖以外に天井部等にも芯材として礫が使用された可能性がある。右袖部は左袖部に比べ残りが良く、根元部分に芯材の外側を覆う粘土が残存して検出した。

検出状況について①左袖の芯材の一部と考えられる礫が内側に倒されていたこと、②右袖の外側にカマドの一部の粘土が崩落していること、③残された煙出し部の上層に住居覆土4層が確認されていることから、このカマドは前底部を中心に右袖方向から左袖方向に人為的に壊されたものと考えられる。また、カマド燃焼部の右袖寄りの部分から支脚と考えられる土器(第30図-38)が1点出土しているが、前述の破壊等の影響や崩落した天井部の粘土の痕跡と燃焼部の大きさや支脚の偏った配置状況から見て左袖側にも支脚があり、二つの掛け口を持つカマドであった可能性が考えられる。火床面下の掘り込み部分の充填土下には上面の被熱と異なる被熱面が確認され、火床面から煙道部にかけても再構築の跡(27層～32層)が見られることから本カマドは改築されていると判断される。カマドの芯材に使用されている礫の基部は、古い火床面層まで達していないことから、一度全体的に作り変えられたものと考えられる。

カマド(旧)の構造は半地下式で主軸方向はN-82°-Eである。煙道部と燃焼部のみ検出されている。煙道長は残存部で(125)cmである。両袖部と考えられる位置に芯材の抜き取り痕や芯材に使用されたと考えられる礫の破片が残存していることから、カマド(新)同様に礫を埋め込み芯材として使用していたものと考えられる。

出土遺物はカマド付近に特に多く見られ、床直及び覆土4層を主体に土師器・須恵器の破片が多量に出土している。また、少数ではあるが鉄製品・鉄滓も床直、覆土、攪乱層から出土している。

(内 田)

S I - 0 8 (第12～14図)

グリッドII A-47の黒色土層中から検出した。精査時にS I - 0 9との重複を確認している。また、壁際部分にはS P - 1 4 9およびS P - 2 6 6との重複を確認しており、新旧関係についてはS I - 0 9 < S I - 0 8 < S P - 1 4 9・2 6 6の関係である。

東西軸で平面形は長方形を呈し、規模は296×233×38cm、面積は5.646㎡を測る。壁は垂直に近い形で立ち上がる箇所が多く、一部内傾しながら立ち上がる箇所がある。壁面はS I - 0 9の埋土を壁としている箇所が多く脆弱である。床面はS I - 0 9の埋土部分を掘り込み見野火山灰層と黒色土の混合土を充填しており、壁際に欠ける。ピットは14基検出したが、柱穴と考えられるピットは壁隅に位置するP i t 3・10・11・14、西側床面上検出したP i t 2・9・13である。西壁寄りに位置するP i t 7は西寄りに傾斜した形で掘り込まれており、仮に柱が据えられていたとすれば南東方向に向かって斜めに据えられていたことになる。壁溝は西壁側を主体に検出しているが断続的であり、東壁側はカマドの左袖側から検出した。廃絶後の埋土は第1～5層にあたり、床面直上の住居中央に堆積している第5層は焼土ブロック等を含む焼土の廃棄層にあたる。

カマドは東壁の中央よりやや南寄りの位置(N63°:S37°)から検出した。構造は半地下式で、袖部幅50cm、煙道長96cmを測る。住居の主軸よりもやや北寄りに煙道が延びており主軸方位はN-88°-Eである。S I - 0 7カマド(新)と同様で燃焼部左袖部分が欠落し、燃焼部右袖～煙道部にかけて上部構造の構築材が崩落した状況で確認した。燃焼部の天井は一部欠落しているが、月見野火山灰層主体のロームによる構築で、芯材は出土していない。火床面は被熱が弱く、また支脚相当位置からは土製棒状支脚(第33図-83)が出土しており、浅い掘り込み痕を検出した。この浅い掘り込み痕については支脚設置痕である可能性がある。

出土遺物は重複するS I - 09の影響で一部縄文土器・石器の混入が見られたが、黒色土器碗を主体とする食膳具、土師器口ロコ系甕を主体とする煮沸具、須恵器長頸瓶等の貯蔵具、鉄製品の刀装具、前述の土製支脚等が出土している。床面部分からの出土は少なく埋土から主に出土している。

S I - 09 (第14～17図)

グリッドII A - 47の黒色土中から検出した。S I - 08の精査時に確認しており、中央はS I - 08の掘り込み時点で破壊されており、壁面についても調査時の黒色土掘削時点で、明瞭な壁面を検出できずに土層を除去したため、詳細な規模等は不明である。平面形は不整楕円形を呈していたものと考えられ、残存部分での規模については $510 \times 390 \times 67$ cm、面積は 12.533 m²を測る。また、精査時点で最終的に検出した柱穴配置は若干北側に広がる形で延びており、 $(600) \times (443)$ 程度の広さを有していた可能性もある。ピットは壁際を中心に49基検出した。主に壁柱穴として機能したと考えられ、北東側を中心に軸線が二重になっている箇所もあることから前述の部分については拡張された範囲である可能性を有している。堆積層は住居周辺の堆積土も含めて14層分層したが、基本層序(第19図参照)第VIII層に比較できる第お層を掘りこむ形で構築されており、廃絶時点で第VIII層起源の土層により埋没が開始し、基本層序第VIII層に比較できる第う層により埋没のほとんどが完了している。

炉跡は住居中央よりやや南西寄りの部分から地床炉の可能性のある施設を1基検出したが焼土範囲が明瞭でなく焼土ブロックが若干混入していたのみであった。

出土遺物は円筒下層d₁式を主体とする縄文土器が壁際を中心に出土している。

B. 土坑

SK-04 (第17図) グリッドII A - 48で検出した。SP-174・183・184と重複している。平面形は不整楕円形で、規模は 80 (長軸幅) \times 65 (短軸幅) \times 43 (深さ) cmを測る。底面にやや凹凸を持ち、壁は壁上部の一部で緩やかに立ち上がっている。第2層からB-Tm火山灰を粒状に検出した。

SK-05 (第17図) グリッドII A - 46で検出した。平面形は隅丸方形で、規模は $114 \times 90 \times 25$ cmを測る。底面にやや凹凸を持ち、壁は垂直に近い形で立ち上がる。覆土中から縄文土器片1点が出土している。

SK-06 (第17図) グリッドII B - 46で検出した。平面形は不整楕円形で、規模は $62 \times 48 \times 22$ cmを測る。底面は楕鉢状に緩やかな立ち上がりを持ち、壁は底面からの緩やかな立ち上がりが続いている。

SK-07 (第17・18図) グリッドIT - 47で検出した。平面形は隅丸方形で、規模は $106 \times 100 \times 43$ cmを測る。断面形は壁上部の一部で緩やかな立ち上がりを有しており、北壁側を主体に袋状を呈する箇所がある。本遺構は構築時の掘削の際排出された土が北側の斜面下方から確認されており、土層についてはS I - 09のセクション上で第a層と取り扱った土層である。よって本遺構の構築時期は第VII層上面以降ということになる。検出状況から本遺構は焼成坑であると認定できるが、炭化した植物種子(トチ)なども出土しており、焼成粘土塊は出土しておらず、土器焼成に使用されたとは限定できない。堆積途中で2面(第17層・第22層)の焼成面が確認されており、各面とも橙色・明赤褐色等の被熱による変色が生じている。遺物は堆積土中からハジケが生じた土師器碗や礫等が出土している。また、本遺構の西側から 52×50 cmの範囲で焼土粒・ブロックを混入する面を検出した。

SK-08 (第18図) グリッドII A - 48で検出した。SX-06と重複しており、本遺構の方が新しい。土層確認用のサブレンチにより破壊されたため全体形等の詳細は不明であるが、残存部分から不整形を呈していたものと考えられ、規模は $(68) \times 54 \times 38$ cmを測る。残存部の床面～壁面は楕鉢状

を呈し緩やかに立ち上がっている。底面直上に被熱痕が確認され、堆積土中にも焼土粒・炭化物等の検出があったことからSK-07同様本遺構でも焼成が行われたものと認定できる。

SK-09 (第18図) グリッドII C-48で検出した。平面形は楕円形で、規模は95×55×24 cmを測る。底面は斜面下方に向かって傾斜しており、壁は緩やかに立ち上がる。埋土は6層に分層したが、壁際の部分はIV層起源の黒色地山土の崩落が生じており、比較的新しい段階の構築物であることが考えられる。

(木 村)

C. ビット (第22～27図)

総数226基を検出した。遺構番号はSP-126～357まで使用したが、SP-182・199・200・217・227～229・268・269・292・297～309は欠番となっている。調査区内の北西から北東方向に傾斜する地点から数多く検出した。全体的に径が小さく浅いビットが多いが、ある程度の大きさや深さを持ち柱穴として機能した可能性が考えられるビットは、主に調査区東側に多い。ここでは個別に取り扱わず、配列関係の認められるものについて掘立柱建物はSB、欄列として機能したものはSAの記号を付し別記述している。

D. 掘立柱建物跡

6棟検出した。それ以外にビット群には掘立柱建物の柱穴の可能性のあるビットも含まれているが、柱列配置が明瞭でないため建物跡として認定することが出来なかった。一部は調査区外に延び建物の規模が大きくなる可能性も考えられるが、現時点ではいずれも倉庫等の小規模な建物跡と思われる。柱穴から出土した遺物については平安時代の須恵器や土師器の破片資料主体で、他に縄文土器や石器などの混入についても認められるが、中近世に帰属する遺物の出土は認められない。周辺の遺構同様流動等による混入についても否定できないため、遺物から帰属時期については特定しないこととした。

SB-01 (第22図)

調査区北東に位置する。調査時のビットはSP-126a・129f・177・312が該当する。主軸方位はN-79°-E。桁行1間×梁行1間の東西棟建物である。桁行寸法3.6m(12尺)、梁行2.8m(9.3尺)を測る。掘り方の平面形は不整形を呈し、長径36～56cm、短径30～55cmを測る。深さは南側の柱穴が72～74cmと深く、他は40～46cmを測る。SP-177が黒色土、他は黒色土と黒褐色土が混合する堆積土で、パミス、ローム粒、ロームブロック、炭化粒が混入する。SP-177およびSP-312の第1層からB-Tm火山灰粒を検出した。基本層序部分で検出されたSP-312と基本層序の堆積状況との関係から、ある程度廃絶時期が特定できる。基本層序のV層以前に本遺構が廃絶し、V層は10世紀以降に堆積した可能性が考えられる。SB-02・03と重複している。本遺構のSP-126aがSB-02のSP-126bとSB-03のSP-126cを切っており、本遺構が一番新しい。

SB-02 (第22図)

調査区北東に位置する。調査時のビットはSP-126b・129h・145・325が該当する。主軸方位はN-74°-E。桁行1間×梁行1間の東西棟建物である。桁行寸法は3.6m(12尺)、梁行は3.2m(10.6尺)を測る。掘り方の平面形は楕円・不整形を呈している。西南隅のみが長径95cm×短径66cmと大きい。他は長径33～44cm、短径26～40cm、深さ12～40cmを測る。SP-126bが黒褐色土を主体とする堆積土、他は黒色土と黒褐色土が混合する堆積土で、パミス、ローム粒が混入する。SB-01・03と重複している。本遺構のSP-126bがSB-01

のSP-126aに切られ、本遺構のSP-145がSB-03のSP-146に切られていることから、本遺構が一番古い。

SB-03 (第22図)

遺跡北東に位置する。調査時のピットはSP-126c・142・146・147・196が該当する。主軸方位はN-88°-E。桁行2間×梁行2間の東西棟建物である。北東側は調査区外へ延びる。桁行3.2m(10.6尺)、梁行3.0m(10尺)を測る。桁行側の柱間はいずれも1.6m(5.3尺)、梁行側の柱間は1.5m(5尺)を測る。掘り方の平面形は円・楕円・不整形を呈している。北西隅のみが長径98cm×短径43cmと大きい。他は長径38~43cm、短径17~38cm、深さは2~45cmを測る。掘り方内のピット径から20cm台の柱が想定される。SP-127cが黒色土を主体とする堆積土、他は黒色土と黒褐色土が混合する堆積土で、バミス、ローム粒、ロームブロック、焼土・炭化粒が混入する。SP-146の第①・②層からB-Tm火山灰粒を検出した。SB-01・02と重複している。本遺構のSP-126cがSB-01のSP-126aに切られ、本遺構のSP-146がSB-02のSP-145を切っていることから、SB-01より古くSB-02より新しい。また、本遺構の主軸方位と本遺構の南西側に位置するSI-08のカマドの主軸は同一であり、関連性が考慮される。

SB-04 (第22図)

調査区北東に位置する。調査時のピットはSP-127b・129d・144が該当する。主軸方位はN-80°-E。桁行1間×梁行1間の東西棟建物である。桁行3.3m(11尺)、梁行2.6m(8.6尺)を測る。掘り方の平面形は切り合いにより明瞭でない。長径52~80cm、短径22~53cm、深さは5~76cmを測る。黒色土と黒褐色土が混合する堆積土でローム粒、ロームブロック、焼土粒が混入する。SP-127bの第1・2層およびSP-144の第1層からB-Tm火山灰粒を検出した。SB-01と重複している。本遺構のSP-129dがSB-01のSP-129fを切っており本遺構が新しい。

SB-05 (第22図)

調査区北側に位置する。調査時のピットはSP-133・218・254・255・256・259・(261)・262・263が該当する。主軸方位はN-87°-W。桁行3間×梁行2間の東西棟建物である。桁行4.0m(13.3尺)、梁行3.2m(10.6尺)を測る。桁行側の柱間は西側から1.2m(4尺)、1.6m(5.3尺)、1.2m(4尺)となっており、梁行側の柱間はいずれも1.6m(5.3尺)である。南側柱列3本がSI-08と重複し消失している他、北東隅の柱穴を欠いている。掘り方の平面形は円・楕円形を呈している。長径20~28cm、短径18~26cm、深さ7~18cmを測る。SB-01~04と比較して柱穴の径が小さく浅い。黒褐色土を主体とする堆積土と、黒色土と黒褐色土、あるいは黒褐色土と暗褐色土が混合する堆積土である。ローム粒、ロームブロックが混入する他、一部のピットに砂粒が混入している。本遺構の桁行の軸線は南側に位置するSI-08の軸線と、ほぼ同じであることから関連性も考えられる。その場合南側柱列3本が消失したのではなくともとなつたものと考え、竪穴住居跡の北側に掘立柱建物を取り付くような建物跡も想定出来るが、掘立柱建物跡として報告された青森県の事例のいずれも、掘立柱部分が竪穴にあることから断定は出来ない。柱穴の径が小さく掘り込みが浅いことから他に、SI-08北壁寄りの柱穴がL字状を呈し柵列等として機能する可能性も考えられる。

SB-06 (第25図)

SI-07の東側に位置する。調査時のピットはSP-134・181・204・208・213・225・357が該当する。主軸方位はN-88°-W。桁行3間×梁行1間の東西棟建物

である。桁寸法は5.1m(17尺)、梁行2.0m(6.6尺)を測る。桁行側の柱間は東側から2.15m(7.1尺)、1.85m(6.1尺)、1.1m(3.8尺)である。掘り方の平面形は楕円・円形を呈し、長径26~39cm、短径24~34cm、深さ14~28cmを測る。SB-01~04と比較して柱穴の径が小さく浅い。黒褐色土、黒色土を主体とする堆積土と、黒褐色土と黒色土、あるいは黒色土と暗褐色土が混合する堆積土で、バミス、ローム・炭化粒、ロームブロックが混入する。SP-213の第1・3層とSP-134の第3層からB-Tm火山灰粒を検出した。南西隅の柱穴はSD-05と重複している。南側中央の柱穴はSK-07と重複しており消失している。

E. 欄列跡

2列検出した。柱穴として機能したと考えられるピットが、一定の法則性を持ち直線上に並ぶものを欄列とした。柱穴が軸線からずれるもの、直線上に並ぶが柱間が一定でないものは偶然性もあり得ると考え認定していない。

SA-01 (第26図)

SI-07北側に位置する。調査時のピットはSP-155・157・(158)・(164)・(166)・167・(170)・237・249が該当する。主軸方位はN-81°-W。総長8.4m(28尺)である。東西方向に3間延びる。柱間は2.8m(9.3尺)である。掘り方の平面形は円・楕円・小判・不整形と一貫性がない。長径20~36cm、短径16~36cm、深さは9~28cmを測る。黒褐色土を主体とする堆積土と黒褐色土と暗褐色が混合する堆積土でバミスが混入する他、一部のピットに砂粒がみられる。同じ軸線上に他に4本並ぶが間隔は一定でない。その軸に直交する形で更に南に1本が延びるが柱間は1.2m(4尺)と異なっている。黒褐色土あるいは黒色土を主体とする堆積土で、バミス、ローム粒が混入する。

SA-02 (第25図)

SI-07の東側に位置する。調査時のピットはSP-201・226・215が該当する。真北を南北方向に2間延びる。総長6.0m(20尺)である。柱間はいずれも3.0m(10尺)である。掘り方の平面形は楕円・不整形を呈し、長径22~32cm、短径12~28cm、深さは10~15cmを測る。黒褐色土、にぶい黄褐色土を主体とする堆積土で、バミス、ローム・焼土・炭化粒が混入する。その他同じ軸線上のSP-226付近に2本柱穴が並ぶ。黒褐色土を主体とする堆積土でローム・焼土粒が混入する。

(松 橋)

F. 溝跡

SD-02 (第18図) 調査時点で昨年度精査したSD-02の延長部と判断して精査したが、最終的な位置図の合成で、SD-02より北側に走る溝跡であり、昨年度のSD-02と連続する溝跡はSD-04となることが判明した。記述に際しては今年度の調査時の番号を優先する。

グリッドII B-44から検出した。全長(375)cm、最大幅30cm、深さ27cmを測る。東西軸で黒色土主体の堆積土であった。

SD-04 (第18図) 昨年度調査のSD-02の延長部にあたる。グリッドII B-44付近では全長218cm、最大幅36cm、深さ14cmを測る。また、グリッドII B-47付近では全長(60)cm、最大幅18cm、深さ10cmの幅で確認しており、調査時にはSD-04bとして取り扱っている。東西軸で今年度調査のSD-02と平行している。

SD-05 (第18図) グリッドIT-46で検出した。南北軸で、全長158cm、最大幅50cm、深さ17cmを測る。2基のピットが重複しており、平面形がややいびつな形状を呈している。

SD-06 (第18図) グリッドIIA-46で検出した。南北軸で、全長150cm、最大幅26cm、深さ14cmを測る。SD-05とほぼ類似した軸線ではあるが、軸線の延長線上に位置しないため別々の取扱いとした。斜面下方の部分がやや深さを有している。

G. その他

SX-04 (第19図) グリッドIT-45で検出した。平面形は円形で、規模は106×(102)×23cmを測る。底面は凹凸が激しく、北側の部分が落ち込んだ形状を呈している。壁は垂直に近い形で立ち上がる箇所と緩やかに立ち上がる箇所が見られる。

SX-05 (第19図) グリッドIIB-45で検出した。平面形は楕円形で、規模は88×60×28cmを測る。底面は緩やかな凹凸を持ち、壁は垂直に近い形で立ち上がる。

SX-06 (第19図) グリッドIT-47で検出した。SK-08と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形を呈し、規模は143×100×33cmを測る。底面は凹凸を持ち、断面形は段状を呈し、壁上部の一部で緩やかな立ち上がりが見られる。堆積土は中央が柱状の堆積状況を呈しており、SP-205等との柱列配置を呈した可能性も検討されるが詳細については不明である。

I. 遺構外出土遺物 (第38図)

152～154が縄文時代(前期～中期)、155～158が平安時代(10世紀前半～中葉主体)の土器で、159は縄文時代の礫石器、160は時期不明の鉄製品(釘)である。

小結

昨年度の調査に引き続き今年度は新たに住居跡2軒、土坑6基、ピット226基(うち掘立柱6棟、柵列2列)、溝跡3条、その他の遺構3基を検出した。

今年度は昨年度の調査区の東側部分に相当する位置であったが、縄文時代前期末円筒下層d₁式の住居跡1軒が検出しており、昨年度検出した縄文時代に帰属する住居跡1軒(SI-04・05)との比較が考えられる。

また、平安時代については昨年度調査のSI-07についてカマド設置壁側の部分について精査し、カマド2基を検出した。約8m東方に今年度新たにSI-08を検出し、双方のカマドは廃絶時点で同様の破壊を行っていることが判明した。

昨年度の調査区でも多数検出したピットについて、今年度の調査区内からは平安時代の遺構の掘り込み面とほぼ同一面と考えられる部分から掘り込まれているピットも多数検出しており、掘立柱建物跡や柵列として認定した遺構も検出した。掘立柱建物跡については複数の切り合い関係が認められるSB-01～04部分については東西軸で調査区外へ延びる可能性が高いため部分的な認定にとどまったが、切り合い関係等から複数回建て替え等が行われたものと考えられる。

当委員会が実施した2年間の発掘調査での総検出遺構数は、竪穴住居跡7軒(縄文2・平安5)、竪穴遺構1基、土坑9基、溝跡6条、掘立柱建物跡6棟、柵列5列、焼土状遺構2基、ピット286基、その他の遺構6基である。

遺跡の発掘調査は、今年度で対象地点については全て終了した。なお、本報告に掲載できなかった資料および2カ年にわたる調査のまとめについては次年度報告する予定である。

(木村)

第1表 宮田線遺跡 駅六住居跡観察表

回収番号	遺構番号	位置	重複	規模(cm)			面積 (㎡)	平面形	断面形	柱穴 ビット	土坑	壁溝	その他	埋積 土層	埋土 水田尻	備考		
				長軸	短軸	深さ												
E1-18	SI-07	IT・EA・ E1-45・46	SX-04 SD-01	675	710	66 (81)	42,644	方形	a	-	39	2	全周	階道に より 底下	3	3	-	カマド2基、カマド1作り変え(2度使用)、 階段
E1-18	SI-08	EA-47	S1-09 SP-149	206	233	38	8,646	長方形	a	-	13	-	一部	-	12	5	B-Tm	SI-09 < SI-08/SP-149
E1-17	SI-09	EA-47	SI-08 (600)	310 (443)	390 (443)	67	12,533	長方形	a	-	49	-	-	-	16	9	-	SI-09 < SI-08、縄文住居(私有)

第2表 宮田線遺跡土坑観察表

回収番号	遺構番号	位置	重複	規模(cm)			平面形	断面形	特記事項	備考
				長軸	短軸	深さ				
第17回	SK-04	EA-48	SP-174・ 183・184	80	63	43	e	c		B-Tm
第17回	SK-05	EA-48	-	114	90	25	c	d		
第17回	SK-06	E1-46	-	62	48	22	e	h		
第17・18回	SK-07	IT-47	-	106	100	43	c	c・f	儀成坑	B-Tm
第18回	SK-08	EA-48	SX-06 (68)	54	38	6	e	h	儀成坑	
第18回	SK-09	EC-48	-	95	53	24	f	d		

第3表 宮田線遺跡ビット観察表

回収番号	遺構番号	位置	重複	規模(cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第22回	SP-126a	EA-48	SP-126b,c,SP-127e	56.0	55.0	72.0	e	a	SB-01 SP-126c < SP-126a > SP-126b,SP-127e < SP-126a
第22回	SP-126b	EA-48	SP-126a	44.0	(28.0)	40.0	x	d	SB-02 SP-126b < SP-126a
第22回	SP-126c	EA-48	SP-126a	40.0	(17.0)	22.0	x	a	SB-03 SP-126c < SP-126a
第22回	SP-127a	EA-48 E1-48	SP-127b,c,d,e	53.0	45.0	26.0	x	g	SP-127a > SP-127d > SP-127b > SP-127c > SP-127e
第22回	SP-127b	EA-48 E1-48	SP-127a,c,e	66.0	53.0	76.0	x	x	SB-04 SP-127a > SP-127b > SP-127c > SP-127e > SP-127b
第22回	SP-127c	E1-48	SP-127a,b	56.0	47.0	54.0	x	c	SP-127c < SP-127b < SP-127a
第22回	SP-127d	EA-48	SP-127a	53.0	(26.0)	74.0	x	j	SP-127a > SP-127d
第22回	SP-127e	EA-48	SP-126a,SP-127a,b	67.0	(17.0)	7.0	k	x	SP-126a > SP-127e < SP-127b < SP-127a
第22回	SP-128	E1-48		24.0	23.0	30.0	h	g	
第22・23回	SP-129a	E1-48	SP-129c,d,e,SP-141	53.0	40.0	43.0	x	a	SP-129d > SP-129e > SP-129a > SP-129c,SP-129b > SP-141
第22・23回	SP-129b	E1-48	SP-129c,d,g	95.0	66.0	46.0	k	d	SP-129d > SP-129b > SP-129c,SP-129b > SP-129g
第22・23回	SP-129c	E1-48	SP-129a,b,d,f,g, SP-141	48.0	42.0	55.0	k	x	SP-129d > SP-129a > SP-129f > SP-129b > SP-129c,SP-129e > SP-129g,SP-129c ? SP-141
第22・23回	SP-129d	E1-48	SP-129a,b,c,f,h	52.0	22.0	55.0	x	x	SB-04 SP-129d > SP-129a > SP-129f > SP-129b > SP-129c,SP-129d > SP-129b,SP-129d > SP-129h
第22・23回	SP-129e	E1-48	SP-129a,f	58.0	43.0	37.0	k	x	SP-129e > SP-129a > SP-129f
第22・23回	SP-129f	E1-48	SP-129a,c,d,e,h	36.0	30.0	40.0	x	x	SB-01 SP-129f > SP-129a > SP-129b > SP-129c > SP-129d > SP-129e > SP-129h
第22・23回	SP-129g	E1-48	SP-129b,c,SP-141	56.0	53.0	50.0	x	x	SP-129b > SP-129g < SP-129c,SP-129g ? SP-141
第22・23回	SP-129h	E1-48	SP-129a,f	142.0	40.0	30.0	x	x	SB-02 SP-129h > SP-129f > SP-129g
第22・23回	SP-129i	E1-48	SP-129a,c	37.0	20.0	8.0	f	x	SP-129a > SP-129i > SP-129c R SP-129i E SP-129aの埋居跡
第25回	SP-130	EA-48		83.0	53.0	48.0	e	i	
第22・23回	SP-131	E1-47 E1-48	SP-139	85.0	23.0	17.0	e	h	SP-130 < SP-131
第22・23回	SP-132	EA-48		23.0	20.0	15.0	h	h	
第22・23回	SP-133	E1-47		28.0	20.0	14.0	h	h	SB-05
第25回	SP-134	IT-47 EA-47		37.0	33.0	28.0	f	h	SB-06
第22・23回	SP-135	EA-49		24.0	23.0	6.0	e	i	
第22・23回	SP-136	EA-49	SP-317	23.0	23.0	14.0	h	h	SP-136 > SP-317
第22・23回	SP-137	EA-49	SP-175,SP-318	54.0	35.0	4.0	f	d	SP-137 > SP-318,SP-137 ? SP-175

図版番号	遺構番号	位置	形状	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第 22 - 23 図	SP-138	ⅡA-48	SP-332,333,334, 335,336	73.0	57.0	8.0	e	i	SP-334 < SP-335 < SP-336 < SP-333 < SP-332 < SP-138
第 22 - 23 図	SP-139	ⅡB-47 ⅡB-48	SP-131	(38.0)	(34.0)	15.0	x	x	SP-139 < SP-131
第 22 - 23 図	SP-140	ⅡB-48	SP-142	93.0	62.0	38.0	e	g	SP-142 < SP-140
第 22 - 23 図	SP-141	ⅡB-48	SP-129a,c,d, SP-142	(90.0)	(70.0)	47.0	x	x	SP-141 > SP-142SP-129a > SP-141SP-141 ? SP-129c, SP-141 ? SP-129g
第 22 - 23 図	SP-142	ⅡB-48	SP-140 SP-141	(98.0)	(43.0)	45.0	x	x	SB-03 SP-142 < SP-141SP-142 < SP-140
第 22 - 23 図	SP-143	ⅡB-49	SP-144	(47.0)	(40.0)	24.0	x	x	SP-143 < SP-144
第 22 - 23 図	SP-144	ⅡB-49	SP-143,SP-145	(80.0)	(50.0)	65.0	x	e	SB-04 SP-144 > SP-143SP-144 ? SP-145
第 22 - 23 図	SP-145	ⅡB-49	SP-144,SP-146 SP-177	37.0	32.0	26.0	f	x	SB-02 SP-145 ? SP-144SP-145 < SP-146, SP-145 ? SP-177
第 22 - 23 図	SP-146	ⅡA-49 ⅡB-49	SP-145,SP-177	40.0	38.0	26.0	(h)	(j)	SB-03 SP-146 > SP-145SP-146 ? SP-177
第 22 - 23 図	SP-147	ⅡA-49	SP-148,SP-174	(43.0)	(35.0)	35.0	e	(a)	SB-03 SP-148 < SP-147SP-147 ? SP-174
第 22 - 23 図	SP-148	ⅡA-49	SP-147	(32.0)	(32.0)	20.0	x	x	SP-148 < SP-147
第 25 図	SP-149	ⅡA-47		(37.0)	(25.0)	67.0	x	j	
第 26 図	SP-150	ⅡA-45		38.0	32.0	17.0	f	a	
第 26 図	SP-151	ⅡA-45 ⅡB-45	SP-232	52.0	31.0	24.0	e	a	SP-151 > SP-232
第 26 図	SP-152	ⅡA-45		55.0	48.0	34.0	e	a	
第 26 図	SP-153	ⅡB-45	SP-275	24.0	38.0	13.0	f	a	SP-153 > SP-275
第 26 図	SP-154	ⅡA-46		16.0	16.0	17.0	h	a	
第 26 図	SP-155	ⅡA-46		20.0	20.0	28.0	e	a	SA-01
第 26 図	SP-156	ⅡA-46 ⅡB-46		25.0	22.0	20.0	h	j	
第 26 図	SP-157	ⅡB-46		30.0	23.0	22.0	f	g	SA-01
第 26 図	SP-158	ⅡB-46		28.0	16.0	12.0	g	h	SA-01
第 26 図	SP-159	ⅡB-46		36.0	32.0	18.0	e	i	
第 26 図	SP-160	ⅡA-46 ⅡB-46		14.0	13.0	13.0	h	h	
第 26 図	SP-161	ⅡB-46		25.0	19.0	11.0	f	h	
第 26 図	SP-162	ⅡB-46		30.0	26.0	25.0	e	h	
第 26 図	SP-163	ⅡB-46		20.0	14.0	27.0	e	h	
第 26 図	SP-164	ⅡB-46		34.0	27.0	15.0	e	j	SA-01
第 26 図	SP-165	ⅡB-46	SP-283	26.0	16.0	14.0	f	d	SP-283 < SP-165
第 26 図	SP-166	ⅡB-45 ⅡB-46		36.0	36.0	9.0	h	d	SA-01
第 26 図	SP-167	ⅡB-45		20.0	18.0	18.0	h	h	SA-01
第 26 図	SP-168	ⅡB-45		30.0	23.0	18.0	f	d	
第 26 図	SP-169	ⅡB-45	SP-281	28.0	27.0	15.0	h	h	SP-281 < SP-169
第 26 図	SP-170	ⅡB-45		23.0	23.0	14.0	h	h	SA-01
第 22 - 23 図	SP-171	ⅡA-48	SP-172	(54.0)	32.0	30.0	(f)	x	SP-172 < SP-171
第 22 - 23 図	SP-172	ⅡA-48	SP-171,SP-173 SP-322	(33.0)	(25.0)	32.0	x	a	SP-332 < SP-172 < SP-171 < SP-173
第 22 - 23 図	SP-173	ⅡA-48	SP-172,SP-332 SP-327	47.0	35.0	27.0	(f)	(a)	SP-332 < SP-327 < SP-172 < SP-173
第 22 - 23 図	SP-174	ⅡA-48 ⅡA-49	SK-04,SP-147	45.0	(40.0)	26.0	x	x	SP-174 < SK-04,SP-174 ? SP-147
第 22 - 23 図	SP-175	ⅡA-49	SP-137	24.0	(21.0)	7.0	(h)	h	SP-175 ? SP-137
第 22 - 23 図	SP-176	ⅡA-49		33.0	32.0	12.0	h	h	
第 22 - 23 図	SP-177	ⅡA-49 ⅡB-49	SP-145,SP-146	(38.0)	(36.0)	74.0	x	e	SB-01 SP-177 ? SP-145,SP-177 ? SP-146
第 25 図	SP-178	ⅡA-48		27.0	24.0	14.0	f	h	

図版番号	遺構番号	位置	重層	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第25図	SP-179	IT-48 EA-48		33.0	30.0	16.0	f	d	
第25図	SP-180	IT-48		30.0	22.0	13.0	e	d	
第25図	SP-181	IT-48		29.0	24.0	15.0	f	h	SB-06
	欠番	SP-182							
第22・23図	SP-183	EA-48	SK-04	44.0	(42.0)	31.0	x	x	SP-183 < SK-04
第22・23図	SP-184	EA-48 EA-49	SK-04	(18.0)	(16.0)	20.0	x	a	SP-184 < SK-04
第22・23図	SP-185	EA-49		23.0	23.0	16.0	h	a	
第22・23図	SP-186	EA-49		70.0	31.0	43.0	f	i	
第22・23図	SP-187	EA-49		36.0	34.0	34.0	h	d	
第22・23図	SP-188	EA-49		53.0	42.0	32.0	f	h	
第22・23図	SP-189	EA-48		46.0	41.0	13.0	f	h	
第22・23図	SP-190	EA-48		50.0	42.0	(13.0)	f	ae)	
第22・23図	SP-191a	EA-48 EA-49	SP-191b	(45.0)	(40.0)	24.0	(f)	x	SP-191a < SP-191b
第22・23図	SP-191b	EA-48	SP-191a	(40.0)	(28.0)	30.0	(h)	(h)	SP-191a < SP-191b
第22・23図	SP-192	EB-49		23.0	23.0	14.0	h	h	
第22・23図	SP-193	EB-48 EB-49	SP-194	30.0	30.0	16.0	h	h	SP-194 < SP-193
第22・23図	SP-194	EB-48 EB-49	SP-193	25.0	(23.0)	7.0	(h)	h	SP-194 < SP-193
第25図	SP-195	EA-48		58.0	53.0	23.0	h	d	
第22・23図	SP-196	EB-48	SP-326a,326b	38.0	30.0	24.0	f	d	SB-03 SP-326b < SP-326a < SP-196
第22・23図	SP-197	EB-48		26.0	18.0	9.0	h	h	
第22・23図	SP-198	EA-49		67.0	49.0	15.0	f	i	
	欠番	SP-199							
	欠番	SP-200							
第25図	SP-201	IT-46 IT-47		32.0	25.0	10.0	f	i	SA-02
第25図	SP-202	IT-46	SI-07 カマド 2	(26.0)	(25.0)	30.0	x	i	SI-07 カマド 2 ? SP-202
第25図	SP-203	IT-46	SI-07 カマド 2	44.0	(20.0)	7.0	x	d	SI-07 カマド 2 ? SP-203
第25図	SP-204	IT-46 EA-46		38.0	34.0	17.0	f	i	SB-06
第25図	SP-205	IT-47		29.0	26.0	16.0	h	h	
第25図	SP-206	IT-46	SP-226	12.0	10.0	12.0	h	h	SP-206 > SP-226
第25図	SP-207	IT-46 IT-47		28.0	22.0	17.0	f	h	
第25図	SP-208	IT-47 EA-47		26.0	26.0	14.0	h	h	SB-06
第25図	SP-209	IT-47		18.0	15.0	10.0	f	j	
第25図	SP-210	EA-47		27.0	25.0	12.0	h	h	
第25図	SP-211	EA-47		40.0	32.0	38.0	f	g	
第25図	SP-212	EA-47		26.0	25.0	13.0	f	h	
第25図	SP-213	IT-48		39.0	25.0	16.0	e	a	SB-06
第25図	SP-214	EA-46		20.0	12.0	12.0	g	a	
第25図	SP-215	EA-46 EA-47		30.0	28.0	13.0	h	h	SA-02
第22・23図	SP-216	EA-47	SP-356	22.0	18.0	30.0	h	g	SP-356 < SP-216
	欠番	SP-217							
第22・23図	SP-218	EA-48		23.0	24.0	18.0	h	i	SB-05
第25図	SP-219	EA-47		(26.0)	(15.0)	17.0	x	h	
第25図	SP-220	IS-46		24.0	23.0	16.0	e	g	

図版番号	遺構番号	位置	規模	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第 25 図	SP-221	IT-47		26.0	22.0	17.0	f	h	
第 25 図	SP-222	IT-47		(35.0)	(35.0)	9.0	x	h	
第 25 図	SP-223	IT-46	SD-05	(22.0)	(15.0)	8.0	(h)	h	SD-05 ↑ SP-223
第 25 図	SP-224	IT-46		18.0	15.0	6.0	h	h	
第 25 図	SP-225	IT-47		28.0	25.0	14.0	f	d	SB-06
第 25 図	SP-226	IT-46 IT-47	SP-206	(22.0)	(12.0)	10.0	x	d	SA-02 SP-226 < SP-206
文庫	SP-227								
文庫	SP-228								
文庫	SP-229								
第 26 図	SP-230	EA-45		20.0	16.0	25.0	e	g	
第 26 図	SP-231	EB-45		35.0	20.0	17.0	g	h	
第 26 図	SP-232	EA-45 EB-45	SP-151	(15.0)	(15.0)	22.0	(g)	d	SP-232 < SP-151
第 26・27 図	SP-233	EB-45	SP-275	24.0	16.0	7.0	f	h	SP-233 > SP-275
第 26・27 図	SP-234	EA-45 EB-45		32.0	38.0	38.0	c	j	
第 26・27 図	SP-235	EB-45		18.0	12.0	12.0	g	h	
第 26・27 図	SP-236	EB-45		22.0	15.0	10.0	f	h	
第 26・27 図	SP-237	EB-45		32.0	22.0	12.0	f	h	SA-01
第 26・27 図	SP-238	EB-45		28.0	25.0	14.0	f	i	
第 26・27 図	SP-239	EB-45		25.0	25.0	20.0	h	g	
第 26・27 図	SP-240	EB-45		18.0	18.0	5.0	h	d	
第 26・27 図	SP-241	EB-44 EB-45		35.0	18.0	7.0	f	i	
第 26・27 図	SP-242	EA-45 EB-45		42.0	35.0	14.0	h	h	
第 26・27 図	SP-243	EB-44		22.0	21.0	11.0	h	h	
第 26・27 図	SP-244	EB-44		30.0	28.0	14.0	h	h	
第 26・27 図	SP-245	EB-44		40.0	32.0	13.0	f	h	
第 26・27 図	SP-246	EB-44		31.0	23.0	12.0	f	d	
第 26・27 図	SP-247	EB-44		36.0	35.0	13.0	f	h	
第 26・27 図	SP-248	EB-44		25.0	20.0	16.0	f	h	
第 26・27 図	SP-249	EB-44		30.0	22.0	11.0	f	a	SA-01
第 26・27 図	SP-250	EB-44		26.0	24.0	10.0	h	h	
第 26・27 図	SP-251	EB-44		50.0	36.0	33.0	f	e	
第 26・27 図	SP-252	EA-45		34.0	30.0	16.0	h	h	
第 22・23 図	SP-253	EB-46 EB-47		38.0	27.0	30.0	e	j	
第 22・23 図	SP-254	EB-47		26.0	25.0	13.0	h	i	SB-05
第 22・23 図	SP-255	EB-47	SP-290	25.0	24.0	12.0	h	d	SB-05 SP-290 < SP-255
第 22・23 図	SP-256	EB-47		25.0	21.0	10.0	h	a	SB-05
第 22・23 図	SP-257	EB-47		26.0	25.0	11.0	h	d	
第 22・23 図	SP-258	EB-47		30.0	30.0	38.0	h	i	
第 22・23 図	SP-259	EB-47		21.0	18.0	14.0	h	a	SB-05
第 22・23 図	SP-260	EB-47		16.0	14.0	12.0	h	h	
第 22・23 図	SP-261	EB-47		24.0	18.0	18.0	f	d	SB-05
第 22・23 図	SP-262	EB-47		20.0	16.0	7.0	f	h	SB-05
第 22・23 図	SP-263	EB-47		25.0	21.0	15.0	h	h	SB-05
第 22・23 図	SP-264	EA-48		35.0	30.0	17.0	f	i	
第 22・23 図	SP-265a	EA-48	SP-265b	(26.0)	(24.0)	17.0	(h)	h	SP-265b < SP-265a
第 22・23 図	SP-265b	EA-48	SP-265a	(24.0)	(21.0)	13.0	x	x	SP-265b < SP-265a
第 22・23 図	SP-286	EA-47	SP-267, SP-338	(45.0)	(20.0)	65.0	x	d	SP-287 < SP-266 ↑ SP-338
第 22・23 図	SP-287	EA-47	SP-266, SP-338	26.0	(15.0)	8.0	(h)	d	SP-287 < SP-266 ↑ SP-338

図版番号	遺構番号	位置	種類	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
欠番	SP-268								
欠番	SP-269								
第25図	SP-270	IT-09		45.0	39.0	12.0	h	d	
第26・27図	SP-271	EB-44		42.0	(35.0)	16.0	(h)	a	
第26・27図	SP-272	EA-45		42.0	40.0	12.0	h	d	
第26・27図	SP-273	EB-45		30.0	24.0	16.0	f	h	
第26・27図	SP-274	EA-45		24.0	24.0	13.0	h	h	
第26・27図	SP-275	EB-45	SP-153, SP-233	145.0	40.0	15.0	(f)	i	SP-275 < SP-153, SP-233
第26・27図	SP-276	EB-45		27.0	26.0	10.0	h	d	
第26・27図	SP-277	EA-46		26.0	22.0	16.0	f	h	
第26・27図	SP-278	EB-45 EB-46		20.0	15.0	10.0	f	h	
第26・27図	SP-279	EB-45 EB-46		35.0	32.0	16.0	h	h	
第26・27図	SP-280	EB-45		25.0	22.0	12.0	h	d	
第26・27図	SP-281	EB-45 EB-46	SP-169	47.0	36.0	13.0	f	d	SP-281 < SP-169
第26・27図	SP-282	EB-46		25.0	23.0	18.0	h	e	
第26・27図	SP-283	EB-46	SP-185	25.0	22.0	20.0	(h)	a	SP-283 < SP-185
第26・27図	SP-284	EA-46		34.0	28.0	15.0	f	h	
第26・27図	SP-285	EB-46		38.0	30.0	21.0	f	a	
第26・27図	SP-286	EB-46		45.0	36.0	22.0	e	h	
第22・23図	SP-287	EB-47		50.0	43.0	5.0	e	d	
第22・23図	SP-288	EB-47		35.0	32.0	7.0	h	h	
第22・23図	SP-289	EB-47		20.0	16.0	8.0	e	h	
第22・23図	SP-290	EB-47	SP-255	26.0	(12.0)	12.0	(e)	i	SP-290 < SP-255
第22・23図	SP-291	EB-47		30.0	25.0	17.0	e	i	
欠番	SP-292								
第22・23図	SP-293	EB-47		24.0	24.0	8.0	e	h	
第22・23図	SP-294	EB-47 EB-48		45.0	42.0	18.0	e	h	
第22・23図	SP-295	EB-47 EB-48	SP-341	38.0	36.0	10.0	h	d	SP-341 < SP-295
第26・27図	SP-296	EA-45		126.0	116.0	5.0	(f)	d	
欠番	SP-297								
欠番	SP-298								
欠番	SP-299								
欠番	SP-300								
欠番	SP-301								
欠番	SP-302								
欠番	SP-303								
欠番	SP-304								
欠番	SP-305								
欠番	SP-306								
欠番	SP-307								
欠番	SP-308								
欠番	SP-309								
第22・23図	SP-310	EA-48	SP-339	70.0	27.0	33.0	e	i	SP-310 < SP-339
第22・23図	SP-311	EB-48		22.0	20.0	17.0	c	h	
第22図	SP-312	EB-49	SP-340	156.0	(40.0)	46.0	k	h	SB-01 SP-312 ? SP-340
第22・23図	SP-313	EA-49		35.0	32.0	23.0	h	h	
第22・23図	SP-314	EA-49		42.0	33.0	26.0	f	h	
第22・23図	SP-315	EA-49		20.0	14.0	15.0	f	a	

回廊番号	遺構番号	位置	種類	規模 (cm)			平面形		備考
				長軸	短軸	深さ	f	a	
第22・23回	SP-316	ⅡA-49		21.0	15.0	12.0	f	a	
第22・23回	SP-317	ⅡA-49	SP-136	16.0	15.0	14.0	h	g	SP-317 < SP-136
第22・23回	SP-318	ⅡA-49	SP-137	24.0	(16.0)	6.0	(b)	i	SP-318 < SP-137
第25回	SP-319	ⅡA-49		36.0	35.0	10.0	h	d	
第22・23回	SP-320	ⅡA-49		30.0	23.0	14.0	f	g	
第22・23回	SP-321	ⅡA-49		25.0	21.0	8.0	f	h	
第22・23回	SP-322	ⅡB-48		21.0	20.0	7.0	h	h	
第22・23回	SP-323	ⅡB-48		50.0	45.0	37.0	h	j	
第22・23回	SP-324	ⅡB-48		34.0	32.0	11.0	h	d	
第22・23回	SP-325	ⅡB-49		33.0	26.0	12.0	f	i	SB-02
第22・23回	SP-326a	ⅡB-48	SP-196, SP-326b	(32.0)	(17.0)	16.0	x	x	SP-326b < SP-326a < SP-196
第22・23回	SP-326b	ⅡB-48	SP-196, SP-326a	(20.0)	(22.0)	22.0	x	x	SP-326b < SP-326a < SP-196
第22・23回	SP-327	ⅡA-48	SP-173	(43.0)	(35.0)	8.0	e	i	SP-327 < SP-173
第22・23回	SP-328a	ⅡB-48	SP-328b, SP-329	(30.0)	(20.0)	20.0	x	x	SP-329 < SP-328b < SP-328a
第22・23回	SP-328b	ⅡB-48	SP-328a, SP-329	(32.0)	(30.0)	14.0	x	x	SP-329 < SP-328b < SP-328a
第22・23回	SP-329	ⅡB-48	SP-328a, SP-328b	(32.0)	(30.0)	15.0	x	x	SP-329 < SP-328b < SP-328a
第22・23回	SP-330	ⅡA-48 ⅡB-48		30.0	30.0	10.0	h	d	
第22・23回	SP-331	ⅡA-48		21.0	20.0	8.0	h	d	
第22・23回	SP-332	ⅡA-48	SP-138, SP-172, SP-173	33.0	32.0	8.0	h	h	SP-332 < SP-172 < SP-173 < SP-138
第22・24回	SP-333	ⅡA-48	SP-138	(18.0)	(15.0)	12.0	(b)	a	SP-333 < SP-138
第22・24回	SP-334	ⅡA-48	SP-138, SP-335	(40.0)	(40.0)	18.0	(b)	x	SP-334 < SP-335 < SP-138
第22・24回	SP-335	ⅡA-48	SP-138, SP-334, SP-336	(28.0)	(20.0)	17.0	(b)	x	SP-334 < SP-335 < SP-336 < SP-138
第22・24回	SP-336	ⅡA-48	SP-138, SP-335	(35.0)	(33.0)	15.0	(b)	x	SP-335 < SP-336 < SP-138
第25回	SP-337	ⅠT-48		18.0	12.0	9.0	f	h	
第22・24回	SP-338	ⅡA-47	SP-266, SP-267	(53.0)	(27.0)	70.0	(b)	d	SP-267 < SP-266 ? SP-338
第22・24回	SP-339	ⅡA-48	SP-310	(24.0)	(10.0)	12.0	(b)	a	SP-339 > SP-310
第22回	SP-340	ⅡB-49	SP-312	(26.0)	(20.0)	8.0	x	x	SP-340 ? SP-312
第22・24回	SP-341	ⅡB-48	SP-295, SP-342	(38.0)	(23.0)	15.0	(b)	x	SP-342 < SP-341 < SP-295
第22・24回	SP-342	ⅡB-48	SP-341, SP-343	(45.0)	(40.0)	23.0	(b)	(a)	SP-343 < SP-342 < SP-341
第22・24回	SP-343	ⅡB-48	SP-342	56.0	(38.0)	20.0	(b)	(b)	SP-343 < SP-342
第22・24回	SP-344	ⅡC-48		15.0	15.0	7.0	h	h	
第26・27回	SP-345	ⅡB-46	SP-346	(35.0)	30.0	20.0	(b)	(b)	SP-345 < SP-346
第26・27回	SP-346	ⅡB-46	SP-345	21.0	20.0	14.0	h	(b)	SP-345 < SP-346
第26・27回	SP-347	ⅡC-46		26.0	20.0	12.0	f	d	
第26・27回	SP-348	ⅡB-46		20.0	18.0	14.0	h	d	
第26・27回	SP-349	ⅡB-49	SP-350	(10.0)	(10.0)	5.0	x	x	SP-349 < SP-350
第26・27回	SP-350	ⅡB-46	SP-349	18.0	16.0	7.0	h	(b)	SP-349 < SP-350
第26・27回	SP-351	ⅡB-46 ⅡC-46		30.0	30.0	14.0	h	h	
第26・27回	SP-352	ⅡB-46		45.0	42.0	12.0	h	i	
第22・24回	SP-353	ⅡB-47		28.0	26.0	13.0	h	j	
第22・24回	SP-354	ⅡB-47 ⅡC-47		23.0	18.0	6.0	f	d	
第22・24回	SP-355	ⅡA-47		(15.0)	(10.0)	10.0	x	a	
第22・24回	SP-356	ⅡA-47	SP-216	(12.0)	(12.0)	8.0	(b)	a	SP-356 < SP-216
第25回	SP-357	ⅠT-46	SD-05	50.0	48.0	18.3	h	x	SB-06 SP-357SD-05

第4表 宮田線遺跡発掘調査表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			断面形	特記事項	備考
				全長	最大幅	深さ			
第18図	SD-02	B-44	-	3750	30	27	a		
第18図	SD-04	D-44	SP-271	218	36	14	c	H14調査SD-02の延長部に相当	
第18図	SD-04b	B-47	-	3603	18	10	d		
第18図	SD-05	T-46	SP-223+357	158	50	17	b		
第18図	SD-06	B-46	-	150	26	14	d		

第5表 宮田線遺跡その他の遺構調査表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				全長	最大幅	深さ			
第19図	SX-04	T-45	-	106	1020	23	e	i	
第19図	SX-05	B-45	-	88	60	28	f	i	
第19図	SX-06	T-47	SX-08	143	100	33	e	e+1	

第6表 宮田線遺跡出土土器調査表

図版番号	番号	遺構番号	出土	種類	器種	口径	器高	底径	色調内面		底心	口縁	片	厚さ (mm)	透孔率 (%)	外面調整	内面調整	底面調整	備考	整理番号		
									色調外面	色調内面												
第19図	1	SD-07	東原P-271	1	須恵器	円	14.0	-	-	5YR6/8 5Y5/1	5YR6/8 5Y5/1	黒	丸	薄	-	焼	152	ロクロナデ	ロクロナデ	香取地区 式 塚原台 D-43-44 土師器、須恵器 陶化焼成済	K-6	
第19図	2	SD-07	4層F-16.5層F-16	1	須恵器	丸	12.2	-	-	10YR7/3 5YR2/1	5YR2/1	赤	丸	薄	多	焼	152	ロクロナデ	ヘラミゴテ	須恵器焼	D-37	
第19図	3	SD-07	3層F-41	1	須恵器	丸	12.8	-	-	7.5YR5/4 N1.5/0	N1.5/0	黒	丸	薄	-	焼	152	ロクロナデ	ヘラミゴテ	須恵器焼	D-36	
第19図	4	SD-07	3層地土層P-271.279	1	須恵器	丸	12.5	-	-	7.5YR5/3 10YR5/1	10YR5/1	黒	丸	薄	-	焼	152	ロクロナデ	ロクロナデ	スス付着、付着 陶化	D-33	
第19図	5	SD-07	東原P-171	1	須恵器	丸	11.4	-	-	7.5YR6/5 5YR2/6	5YR2/6	黒	少	薄	多	焼	212	ロクロナデ	ロクロナデ	スス付着	D-31	
第19図	6	SD-07	カマド1フタ3層F-25	1	須恵器	丸	11.9	-	-	7.5YR6/8 7.5YR6/8	7.5YR6/8	黒	丸	薄	-	焼	152	ロクロナデ	ロクロナデ	二次焼成	K-2	
第19図	7	SD-07	4層F-151	1	須恵器	丸	13.8	-	-	7.5YR7/4 7.5YR7/4	7.5YR7/4	黒	丸	薄	-	焼	152	ロクロナデ	ロクロナデ	90度焼成 90T-45 5層 F-2.5.99土師 一製	D-41	
第19図	8	SD-07	5層F-141	1	須恵器	丸	-	-	-	4.4 7.5YR7/4	7.5YR6/4	赤	焼	少	多	焼	152	ロクロナデ	ロクロナデ	山崎焼(ヘラミゴテ)	D-76	
第19図	9	SD-07	3層F-34	1	須恵器	丸	-	-	-	4.8 10YR8/3	7.5YR8/4	黒	焼	少	-	焼	212	ロクロナデ	ロクロナデ	陶化焼成済ナデ	D-75	
第19図	10	SD-07	東原P-130	1	須恵器	丸	-	-	-	4.8 10YR8/4	7.5YR8/8	黒	少	少	-	焼	152	ロクロナデ	ロクロナデ	土師器焼成	D-74	
第19図	11	SD-07	3層F-19	1	須恵器	丸	-	-	-	6.0 5Y5/1	5Y5/1	黒	焼	少	多	焼	252	ロクロナデ	ロクロナデ	山崎焼成済	D-77	
第19図	12	SD-07	カマド1フタ3層F-137, カマド1フタ3層F-46, カマド1フタ3層F-55, カマド1フタ4層F-271, カマド1フタP-108	1	須恵器	丸	24.2	-	-	7.5YR5/5 5YR6/8	5YR6/8	赤	中	少	少	焼	252	ナデ/ヘラミゴテ	ナデ/ヘラ	スス付着 D-45 土師一製	D-81	
第19図	13	SD-07	カマド1底F-29,カマド1 底焼ブロック2トP-X	1	須恵器	丸	24.2	-	-	5YR6/8 5YR6/8	5YR6/8	赤	多	少	少	焼	152	ナデ/ヘラミゴテ	ナデ/ヘラ	粘土付着、他 陶化済、陶化焼 成済 D-81 土師 一製	D-85	
第19図	14	SD-07	4層F-2	1	須恵器	丸	10.0	-	-	5YR6/4 7.5YR6/6	7.5YR6/6	黒	焼	中	中	焼	152	ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ	土師器、須恵器	D-54	
第19図	15	SD-07	東ナデP-312	1	須恵器	丸	20.4	-	-	5YR6/4 5YR6/4	5YR6/4	赤	中	中	中	焼	252	ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ	粘土付着、二次焼 成済 D-28 土 師一製	D-56	
第19図	16	SD-07	カマド1底焼ブロック 2トP-X, 東原P-140, カマド1底焼P-213.217, P-241.5.6 ~ 13.13.18 ~ 20.22 ~ 25.27 ~ 29.32.33.3層P-32.3層 P-34.39	1	須恵器	小	15.6	18.8	5.2	7.5YR3/2 10YR4/2	10YR4/2	黒	中	焼	152	152	ナデ/ヘラミゴテ	ヘラ	ヘラナデ	二次焼成 KA-3 とKA-4と類似	KA-3 KA-4	
第19図	17	SD-07	東ナデ2層F-328	1	須恵器	丸	18.5	-	-	5YR7/6 5YR6/8	5YR6/8	黒	中	少	中	焼	152	ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラナデ		D-32	
第19図	18	SD-07	北ナデ、東原P-37	1	須恵器	丸	17.2	-	-	7.5YR5/4 7.5YR5/5	7.5YR5/5	黒	多	焼	152	ナデ/ヘラミゴテ	ナデ/ヘラミゴテ		D-53			
第19図	19	SD-07	カマド1底原P-81	1	須恵器	丸	19.4	-	-	7.5YR6/4 7.5YR7/4	7.5YR7/4	黒	中	少	中	焼	152	ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ		D-47	
第19図	20	SD-07	須恵器原P-298	1	須恵器	小	15.8	-	-	2.5YR6/8 2.5YR5/8	2.5YR5/8	赤	少	少	焼	152	ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ	陶化焼成済 スス付着	D-62		
第19図	21	SD-07	カマド1底原P-40,カマド 2オナデP-213.5層P-191.201 ~ 204P-X, 東原P-258	1	須恵器	丸	20.0	24.3	11.8	10YR7/4 10YR8/2	10YR8/2	赤	少	多	焼	152	152	ヘラ	ヘラ	木製	90度焼成 D-30.31.4と類似	KA-6
第19図	22	SD-07	カマド1フタ1層F-5	1	須恵器	丸	18.8	-	-	10YR5/4 10YR5/4	10YR5/4	赤	焼	少	焼	212	ナデ/ヘラミゴテ	ナデ/ヘラ	陶化焼成済	KA-5.1		
第19図	23	SD-07	7層F-7カマド1層F-24	1	須恵器	丸	-	-	-	9.8 7.5YR5/3	10YR5/3	黒	焼	少	焼	212	ヘラ/ヘラ	ヘラ	?	KA-5.2		
第19図	24	SD-07	4層F-47,11.5層F-115, 1層F-115, 東原P-215, 1層F-215, 東原P-218	1	須恵器	丸	-	-	-	8.0 10YR4/3	5YR5/8	赤	中	少	焼	252	ヘラ	ヘラ	砂成	陶化焼成済、 付着陶化	KA-2	

第IV章 発掘調査

図号	番号	遺構番号	種別	形状	開口	築込	瓦葺	色調内面	色調外面	傾斜	厚	材	遺跡年代(推定)	遺跡年代(実測)	再構築	内面調査	断面調査	備考	整理番号	
第29図	26	53-07	土層	溝	-	-	-	7.0YR3/3	7.5YR4/2	直	少	中			ナズ	ヘラ		27 瓦葺土層 D-46 土層目	D-76	
第29図	27	53-07	土層	溝	22.4	-	-	7.5YR3/4	7.5YR3/3	直	多	多	少	5.0/32	ナズ/ハラウチナズ	ハラウチナズ		編年表、整理表 埋蔵物、付着物有	D-80	
第29図	28	53-07	土層	溝	13.4	-	-	7.5YR3/3	7.5YR3/3	直	中	中		3.4/32	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ			D-69	
第29図	29	53-07	土層	溝	17.4	-	-	7.5YR3/8	7.5YR3/8	直	中	少			ナズ	ナズ			K-12	
第30図	30	53-07	土層	溝	21.6	-	-	7.5YR3/4	7.5YR3/4	直	少	中		1/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ			D-30	
第30図	31	53-07	土層	溝	21.6	-	-	7.5YR3/4	7.5YR3/3	直	多	中		0.8/12	ナズ/ハラウチナズ	ハラウチナズ			D-67	
第30図	32	53-07	土層	溝	23.0	-	-	5YR3/6	5YR3/6	直	少	少		1.0/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ		編年表、整理表	D-31	
第30図	33	53-07	土層	溝	19.6	-	-	2.5YR3/8	7.5YR3/4	直	多	多	多	1/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ			D-49	
第30図	34	53-07	土層	溝	21.0	-	-	7.5YR3/8	5YR3/6	直	多	少	少	5.0/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ		スス付着、付着物 二次、土層間に ハナズ	K-1	
第30図	35	53-07	土層	溝	22.2	-	-	5YR3/6	5YR3/8	直	中	中		2.0/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ		27 瓦葺土層 D-47 30の土層と同一層	D-118	
第30図	36	53-07	土層	溝	23.4	-	-	5YR3/6	5YR3/6	直	少	中	少	1.0/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ			K-11	
第30図	37	53-07	土層	溝	-	-	7.0	5YR3/6	2.5YR3/8	直	多	多	中	3/12	ヘラ	ヘラ	ヘラ		D-79	
第30図	38	53-07	土層	溝	13.9	15.0	7.8	7.5YR3/3	7.5YR3/4	直	少	少		11/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ		本層目(平石層)	D-35	
第30図	39	53-07	土層	溝	13.4	-	-	5YR3/8	5YR3/8	直	中	中		3.2/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ			K-10	
第30図	40	53-07	土層	溝	25.8	-	-	7.5YR3/3	7.5YR3/4	直	少	少		1.0/12	ロコロコナズ	ロコロコナズ		産成物	D-48	
第30図	41	53-07	土層	溝	-	-	6.4	7.5YR3/6	7.5YR3/4	直	多	少		12/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ		砂	D-67	
第30図	42	53-07	土層	溝	18.2	-	-	7.5YR3/3	7.5YR3/3	直	多	少		2.0/12	ナズ/ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ		土層目	D-82	
第30図	43	53-07	土層	溝	-	-	7.0	4YR3/3	2.5YR3/2	直	一	少		2.0/12	ヘラ	ハラウチナズ	産成物	編年表	D-38	
第30図	44	53-07	土層	溝	-	-	6.4	10YR3/2	10YR3/4	直	少	少		3/12	ヘラ	ハラウチナズ	ヘラ		D-78	
第31図	45	53-07	土層	溝	-	-	-	7.5Y3/1	5Y3/1	直	少	中			ナズ	ナズ/ハラウチナズ			C-11	
第31図	46	53-07	土層	溝	-	-	-	7.5Y3/1	3Y3/1	直	少	中			ナズ	ナズ/ハラウチナズ		27 瓦葺土層 D-35 と同一層	C-12	
第31図	47	53-07	土層	溝	-	-	5.8	2.5YR3/6	2.5Y3/2	直	少	多		12/12	ロコロコナズ	ロコロコナズ	ヘラ	丸罫(瓦葺土層)	D-73	
第31図	48	53-07	土層	溝	-	-	7.5YR3/4	7.5YR3/4	直	中	中				LR	ナズ			Y-6	
第31図	49	53-07	土層	溝	-	-	10YR3/1	10YR3/4	直	少	中				RL/瓦葺	ナズ			Y-8	
第31図	50	53-07	土層	溝	-	-	2.5YR3/6	5YR3/4	直	中	中				RL/瓦葺	ナズ			Y-5	
第31図	51	53-07	土層	溝	-	-	2.5YR3/3	7.5YR3/3	直	中	中				RL	ナズ			Y-7	
第32図	62	53-08	土層	溝	14.5	8.0	5.8	5YR3/8	3Y3/3	直	中	中		10/12	12/12	15/12(10/12)	ハラウチナズ	27 瓦葺土層 D-35 と同一層	27 瓦葺土層 D-35 と同一層	D-39
第32図	63	53-08	土層	溝	14.0	5.8	5.9	7.5YR3/4	3Y3/3	直	少	多		4/12	4/12	15/12(15/12)	ハラウチナズ	ハラウチナズ	瓦葺土層、編年表	D-71
第32図	64	53-08	土層	溝	12.4	5.0	4.8	7.5YR3/4	3Y3/3	直	少	少		12/12	12/12	ハラウチナズ/ナズ	ハラウチナズ	27 瓦葺土層 D-35 と同一層	D-34	
第32図	65	53-08	土層	溝	23.6	-	-	10YR3/3	10YR3/1	直	少	一		3/12	ハラウチナズ	ハラウチナズ		瓦葺土層	K-3	
第32図	66	53-08	土層	溝	13.0	-	-	7.5YR3/4	7.5YR3/1	直	中	中		12/12	ハラウチナズ	ハラウチナズ		瓦葺土層、編年表	D-33	
第32図	67	53-08	土層	溝	-	-	7.0	10YR3/3	3Y3/3	直	少	中		5/12	ロコロコナズ	ハラウチナズ	瓦葺土層/ナズ	瓦葺土層、編年表	K-5	
第32図	68	53-08	土層	溝	14.6	-	-	7.5YR3/8	3Y3/3	直	中	中		3/12	ハラウチナズ/ロコロコナズ	ハラウチナズ		瓦葺土層、コシ瓦、 産成物、土層目、 平層目、土層目、 土層目、土層目	K-4	
第32図	69	53-08	土層	溝	12.8	4.8	5.6	10YR3/4	10Y2/1	直	中	中		3/12	3/12	ロコロコナズ	ロコロコナズ	瓦葺土層	K-6	
第32図	70	53-08	土層	溝	-	-	6.6	7.5YR3/4	7.5YR3/6	直	少	中		3/12	ロコロコナズ	ロコロコナズ	編年表、15/12 埋蔵物、付着物	K-7		
第32図	71	53-08	土層	溝	-	-	7.8	5YR3/6	5YR3/6	直	中	中		3/12	ナズ	ナズ	砂	編年表、スス付着 物	D-30	
第32図	72	53-08	土層	溝	-	-	8.3	7.5YR3/3	7.5YR3/4	直	多	少	中	5/12	ナズ	ナズ/ハラウチナズ		瓦葺土層	D-59	
第32図	73	53-08	土層	溝	21.6	-	-	10YR3/4	10YR3/4	直	多	中		1.0/12	ロコロコナズ	ロコロコナズ		スス付着、付着物、 埋蔵物、編年表	K-9	
第32図	74	53-08	土層	溝	18.8	-	-	10YR3/4	10YR3/3	直	少	中		3/12	ハラウチナズ	ナズ/ハラウチナズ		ハラウチナズ、編年表	KA-7	

図取番号	番号	遺構番号	部位	種類	図種	口径	高さ	底径	色陶外面	色陶内面	地味	焼	作	骨	漆	漆分率(%)	漆分率(%)	外面調整	内面調整	底面調整	備考	整理番号	
第15図	131	遺構外	包含層P-45F-X	縄文	溝	-	-	-	10YR6/2	10YR6/3	黄	中	良	-	-	-	-	瓦葺	ナデ			Y-11	
第15図	132	遺構外	包含層P-45F-X	縄文	溝	-	-	-	10YR8/4	10YR8/4	黄	中	少	-	-	-	-	瓦葺	ナデ			Y-12	
第15図	154	遺構外	包含層P-12	縄文	溝	-	-	-	10YR8/1	10YR8/2	黄	中	良	-	-	-	-	瓦葺	ナデ			Y-10	
第15図	154	遺構外	包含層P-12	縄文	溝	-	-	-	6.5	10YR8/2	10YR7/2	黄	中	少	-	-	-	10/12	ロウロナデ	ロウロナデ	古銅板取付	溝掘、深堀	D-42
第18図	105	遺構外	包含層P-X	土師	甕	20.4	-	-	5YR8/6	5YR8/6	黄	少	中	-	良	0.7/12	-	ナデ	ナデ			瓦葺付、瓦葺付	K-14
第18図	106	遺構外	包含層P-X	土師	甕	-	-	-	7.5YR8/5	7.5YR7/4	黄	中	良	-	多	-	-	ナデ	ナデ			深堀	Y-3
第18図	107	遺構外	包含層P-11	土師	甕	18.0	-	-	2.5YR6/3	10YR8/2	黄	少	-	良	0.8/12	-	-	ナデ+ヘラ	ナデ			瓦葺付、瓦葺付	D-52

第7表 宮田館遺跡出土石器観察表

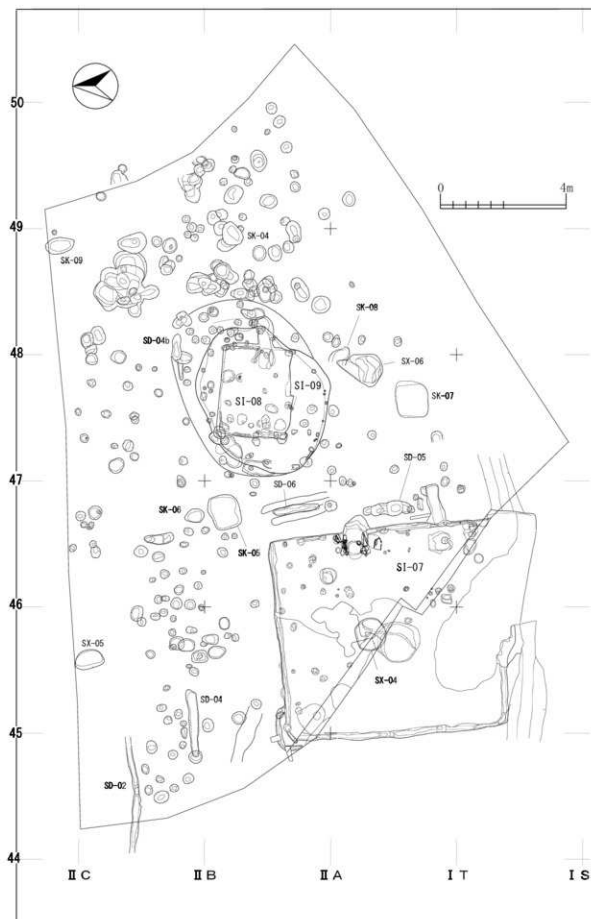
図取番号	番号	調査年度	遺構名	部位	図種	許容値			石質	備考	整理番号	
						長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)				
第33図	84	H15	SI-08	床底S-1	石鏃	28	14	4	1.0	建築瓦葺	アスファルト付着	O-4
第33図	85	H15	SI-08	2層S-12	磨石類	162	68	42	476.0	安山岩		K-2
第33図	86	H15	SI-08	2層S-11	磨石類	178	62	35	556.0	石質安山岩		K-6
第36図	103	H15	SI-09	フクS-X	横形石筥	39	40	10	7.8	建築瓦葺		O-1
第36図	104	H15	SI-09	フクS-2	磨石類	249	58	44	916.0	石質安山岩		K-5
第36図	105	H15	SI-09	フクS-19	磨製石斧	125	38	30	228.6	輝緑凝灰岩	磨切痕	K-9
第36図	106	H15	SI-09 軒	2層S-17	磨石類	53	128	29	320.0	安山岩		K-10
第36図	107	H15	SI-09	フクS-7	平刃氏部平打製石斧	182	86	50	928.0	安山岩		K-8
第37図	146	H15	SP-129F	4層	磨石類	666	52	24	89.6	砂岩		K-1
第38図	158	H15	BE-47	包含層	磨石類	104	74	44	353.9	安山岩		K-7

第8表 宮田館遺跡出土土製品観察表

図取番号	番号	調査年度	遺構名	部位	図種	径長(cm)		色調		地味	焼	骨	漆	漆分率(%)	調整		備考	整理番号			
						口径	底径	外面	内面						外面	内面					
第29図	25	H15	SI-07	東直P-101	製塩土器	-	-	-	5YR7/3	7.5YR8/2	黄	中	-	良	少	W/12	ナデ	深堀	貫通孔、輪縁部ニッチ取付着	S-23	
第33図	83	H15	SI-08+カマド	支脚	土製支脚	-	-	-	10YR8/3	7.5YR8/6	黄	少	多	-	少	-	良	ナデ	ナデ	照田氏蔵、輪縁部上面取付着	S-30

第9表 宮田館遺跡出土鉄製品・鉄滓観察表

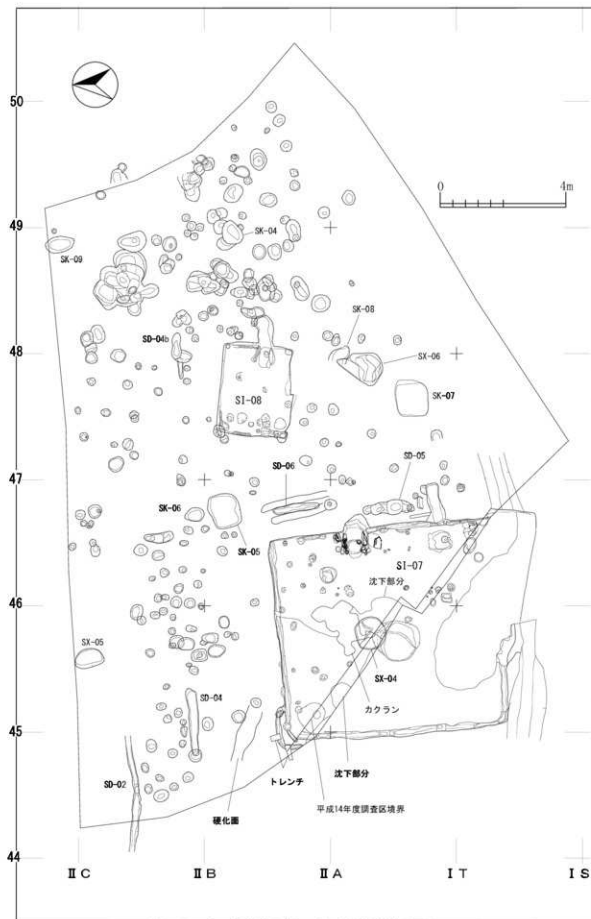
図取番号	番号	調査年度	遺構名	部位	種類	長さ×幅×厚さ(mm)	重量(g)	硬さ度	メタル度	備考	整理番号
第31図	52	H15	SI-07	床直	鉄製品	40×4×4	2.5	3	△		S-7
第31図	53	H15	SI-07	4層	鉄製品	42×4×4	2.8	5	△		S-8
第31図	54	H15	SI-07カマド1	住4層	鉄製品	48×4×4	2.8	4	△		S-9
第31図	55	H14	SI-07	カクラン	刀子	45×6×3	4.0	2	△		
第31図	56	H15	SI-07	5層	刀子	68×7.5×4	7.3	4	△		S-10
第31図	57	H15	SI-07カマド1	住7ク	刀子	19×14×3.5	5.9	5	○		S-11
第31図	58	H14	SI-07	カクラン	輪形磨治淨(大)	68×54×48	227.0	4	●		
第31図	59	H14	SI-07SK-01	上面	輪形磨治淨(含鉄)	50×64×19	76.0	2	△		
第31図	60	H15	SI-07	床直	含鉄鉄滓	30×38×20	24.1	5	△		S-13
第31図	81	H15	SI-07	東直	鉄滓	19×15×19	4.0	1	△		S-14
第33図	82	H15	SI-08	床面	刀痕片	46.5×9.5×2.5	9.0	4	△		S-12
第37図	147	H14	SI-01	2層	刀子	84×10×3	10.0	3	△		
第37図	148	H14	SI-01	8層	刀子	86×11×5	8.0	2	△		F-2・3結合
第37図	149	H14	SI-02カマド	住1層	鉄製品	16×2.5×2.5	0.4	2	△		S-19
第37図	150	H14	SP-71	フク4下層	釘	34×2.5×2.5	1.4	4	△		S-20
第38図	159	H14	KQ-42	カクラン	釘	21×2×2	0.6	3	△		S-21



第2図 宮田館遺跡平成15年度調査遺構配置図1



第3図 宮田館遺跡平成14・15年度青森市教育委員会調査遺構配置図

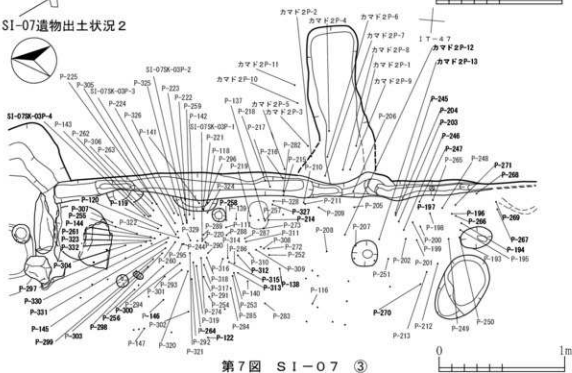


第4図 宮田館遺跡平成15年度調査遺構配置図2

SI-07遺物出土状況 1

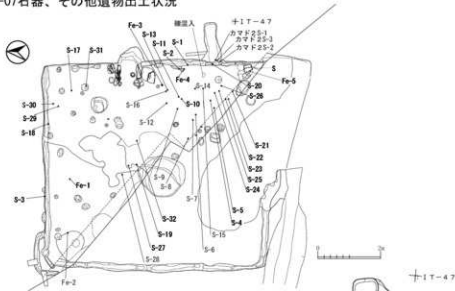


SI-07遺物出土状況 2

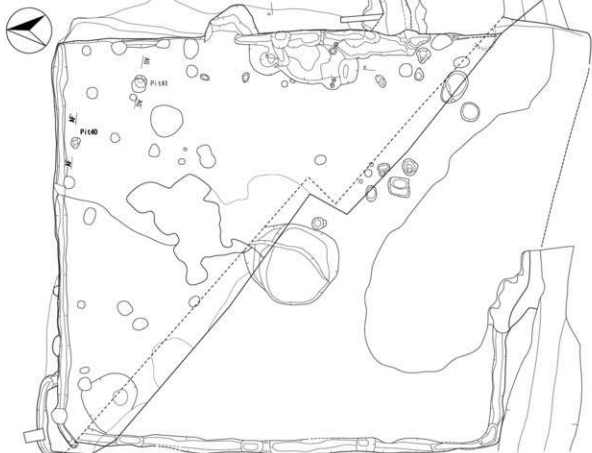


第7図 SI-07 ③

SI-07石器、その他遺物出土状況



SI-07掘り方



P140 掘り方
AF 23.560m

P141 掘り方
AG 23.560m

東側落ち込みセクション
A 23.900m

東側落ち込み掘り方セクション
b 24.000m

第1層 10192:2 黒褐色土

第2層 10192:3 黒褐色土

第3層 10194:6 緑色土

第4層 10192:1 黒褐色土

第5層 10192:2 黒褐色土

第6層 10192:2 黒褐色土

第7層 10192:2 黒褐色土

第8層 10192:2 黒褐色土

第9層 10192:2 黒褐色土

第1層 10192:2 黒褐色土

第2層 10192:3 黒褐色土

第3層 10194:6 緑色土

第4層 10192:1 黒褐色土

第5層 10192:2 黒褐色土

第6層 10192:2 黒褐色土

第7層 10192:2 黒褐色土

第8層 10192:2 黒褐色土

第9層 10192:2 黒褐色土

東側落ち込みセクション
第1層 10192:1 黒褐色土

第2層 10195:3 濃い黄褐色土

第3層 10194:6 緑色土

第4層 10192:1 黒褐色土

第5層 10192:2 黒褐色土

第6層 10192:2 黒褐色土

第7層 10192:2 黒褐色土

第8層 10192:2 黒褐色土

第9層 10192:2 黒褐色土

第10層 10192:2 黒褐色土

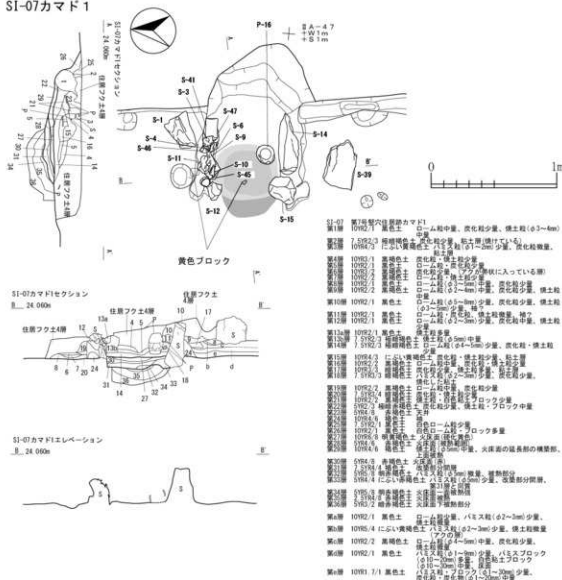
第11層 10192:2 黒褐色土

第12層 10192:2 黒褐色土

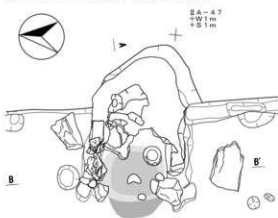
第13層 10192:2 黒褐色土

第8図 SI-07 ④

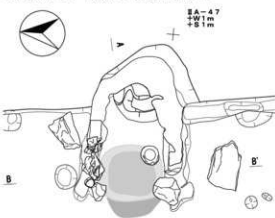
SI-07カマド 1



SI-07カマド1 焼土、構築土範囲 1

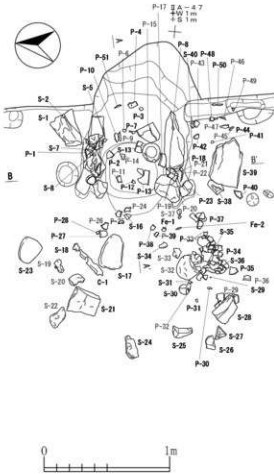


SI-07カマド1 焼土、構築土範囲 2

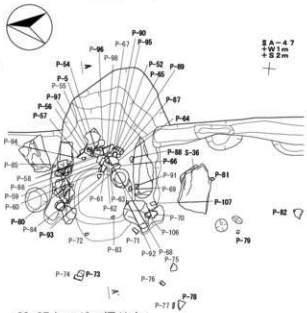


第9図 SI-07 ⑤

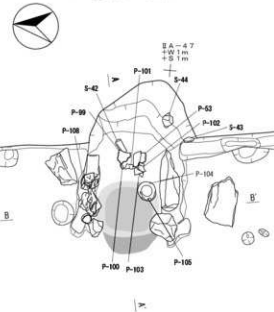
SI-07カマド1 遺物出土状況 1



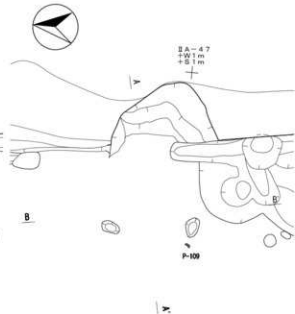
SI-07カマド1 遺物出土状況 2

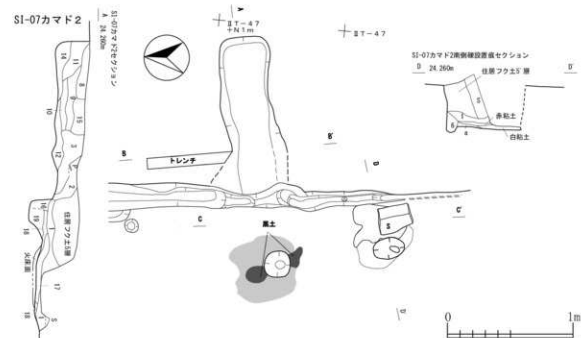


SI-07カマド1 遺物出土状況 3



SI-07カマド1 掘り方





S1-07カマド2セクション

B 24.200m

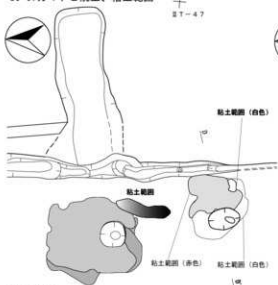


S1-07カマド2セクション

C 24.200m



S1-07カマド2焼土、粘土範囲



S1-07 カマド2

第1層 5192.2 暗赤褐色土 灰化粒 (φ1~5mm) 少量、焼土粒 (φ1~5mm) 少量

第2層 5192.2 暗褐色土 バリス粒・ブロック (φ1~20mm) 少量

第3層 5192.2 暗褐色土 バリス粒・ブロック (φ1~20mm) 少量、灰化粒 (φ5mm) 少量、焼土粒・ブロック (φ1~20mm) 少量

S1-07 第3層壁穴住居跡カマド2

第1層 5192.1 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、灰化粒 (φ1~5mm) 少量、

第2層 5192.2 暗褐色土 バリス粒 (φ10mm) 少量、焼土粒 (φ5mm) 少量、

第3層 5192.2 暗褐色土 フラック (φ10mm) 少量、赤粘土粒 (φ1~5mm) 少量、

第4層 5192.2 暗褐色土 焼土粒 (φ1~5mm) 少量、

第5層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第6層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第7層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第8層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第9層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第10層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第11層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第12層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第13層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第14層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第15層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第16層 5192.2 暗褐色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量、

第17層 5195.6 明赤褐色土 赤土粒 (φ5mm) 少量、焼土粒・ブロック (φ1~50mm) 中量、

第18層 5192.2 黒色土 バリス粒・ブロック (φ1~20mm) 少量、

第19層 5192.2 暗褐色土 バリス粒・ブロック (φ1~20mm) 少量、

第20層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、張り方土

第21層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第22層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第23層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第24層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第25層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第26層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第27層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第28層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第29層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第30層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第31層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第32層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第33層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第34層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第35層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第36層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第37層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第38層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第39層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第40層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第41層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第42層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第43層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第44層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第45層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第46層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第47層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

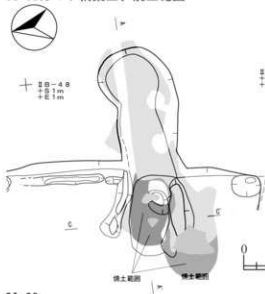
第48層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第49層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

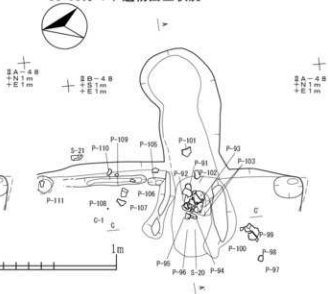
第50層 5192.2 暗褐色土 月形瓦片 (長径約20mm) 少量、

第11図 S1-07 ⑦

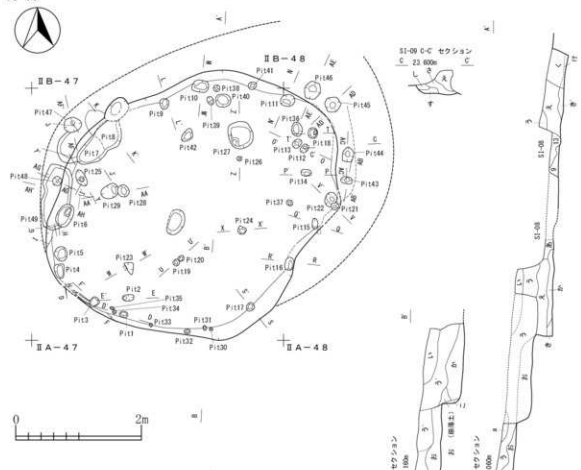
SI-08カマド構築土、焼土範囲



SI-08カマド遺物出土状況



SI-09



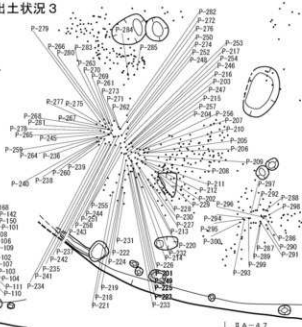
SI-09	10YR2/3	黒褐色土	SK-07の構築の際の留土、地山堆積土	黒く厚	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1mm)微量	パミス粒(φ1~5mm)中量
第1層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1mm)微量、灰化粒(φ5mm)少量、	厚く	10YR2/1	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR1.7/1	黒色土	上面に、SYR2(少量)褐色土あり、	厚く	10YR1.7/1	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	灰化粒(φ5mm)微量(基本層序第Ⅴ層ベース)	厚く	10YR3/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第4層	10YR2/2	黒褐色土	灰化粒(φ5mm)微量	厚く	10YR4/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第5層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)少量、(基本層序第Ⅵ層)	厚く	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第6層	10YR2/1	黒色土	パミス粒(φ1mm)微量	厚く	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第7層	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ50mm)微量	厚く	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第8層	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ20~30mm)少量、	厚く	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量
第9層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	厚く	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	パミス粒(φ1~5mm)少量

第14図 SI-08 ③・SI-09 ①

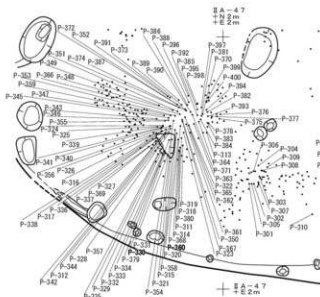
SI-09遺物出土状況 2



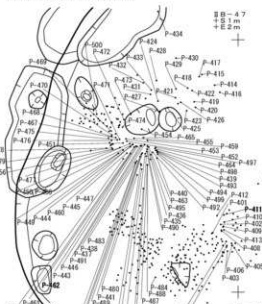
SI-09遺物出土状況 3



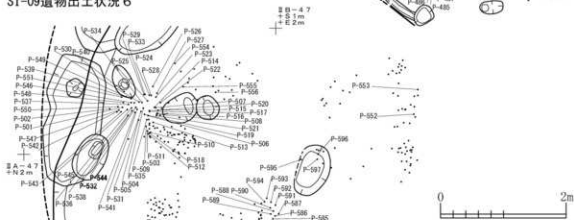
SI-09遺物出土状況 4



SI-09遺物出土状況 5



SI-09遺物出土状況 6

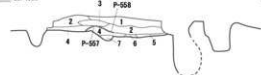


第16図 SI-09 ③

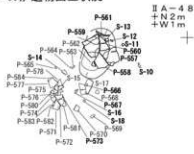
SI-09炉



SI-09Pセクション
A 23.400m



SI-09炉遺物出土状況



SI-09F

- 第1層 10YR5/8 黄褐色土 ロームブロック(φ10~30m)少量、炭化粒(φ1~5mm)中量、焼土粒(φ1~9mm)少量、焼土ブロック(φ50~100mm)少量
- 第2層 7.5YR2/3 暗褐色土 炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)中量
- 第3層 7.5YR3/4 暗褐色土 焼土粒(φ1~5mm)少量
- 第4層 10YR2/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ5mm)少量、焼土ブロック(φ10mm)少量
- 第5層 10YR4/2 暗褐色土 炭化粒(φ5mm)中量、焼土粒(φ5mm)少量
- 第6層 10YR4/3 暗褐色土 土人骨1点
- 第7層 10YR3/2 黄褐色土 パミス粒(φ1mm)多量

SK-04



SK-04セクション
A 23.800m



SK-04
II B-4-9

SK-05

SK-05セクション
A 23.560m



SK-05
II B-4-7

SK-06

SK-06セクション
A 23.560m



SK-06
II T-4-8

SK-07

SK-07(西)壁土



SK-07(西-A')セクション
A 24.360m



SK-07(西-B')セクション
B 24.360m



SK-07(西)焼土ブロックセクション
C 24.360m



SK-07
II T-4-8

SK-07

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒、パミス粒、炭化粒(φ1~5mm)少量、土人骨1点(1mm)
- 第2層 7.5YR2/2 黒褐色土 焼土粒(φ5mm)少量、焼土(7.5YR5/8暗褐色土)
- 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム(φ10mm)少量、炭化粒・物(φ1~15mm)少量、焼土(7.5YR5/8暗褐色土)
- 第4層 10YR1.7/1 黒色土 炭化粒(φ1~5mm)少量、焼土(7.5YR5/8暗褐色土)少量
- 第5層 7.5YR5/8 暗褐色土 10YR2/2 黒褐色土のブロックと土人骨1点
- 第6層 7.5YR2/1 黒褐色土 焼土・ブロック(φ1~20mm)少量
- 第7層 7.5YR5/8 暗褐色土 焼土粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ50mm)少量
- 第8層 10YR2/2 黒褐色土 ローム(φ5mm)少量
- 第9層 10YR3/2 暗褐色土 焼土(φ1~5mm)中量、焼土粒(φ5mm)少量
- 第10層 7.5YR5/8 暗褐色土 焼土(φ1~5mm)中量、焼土粒(φ5mm)少量
- 第11層 7.5YR3/1 黒褐色土 炭化粒(φ1~5mm)少量、焼土(φ1~5mm)少量
- 第12層 7.5YR2/1 黒褐色土 炭化粒(φ1~5mm)少量、焼土(φ1~5mm)少量、焼土ブロック(φ10~30mm)中量

SK-05

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ3mm)少量、7.5YR2/暗褐色土ブロック(φ20~50mm)中量
- 第2層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、黄色砂状土に土人

SK-06

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ3mm)少量、7.5YR2/暗褐色土ブロック(φ20~50mm)中量
- 第2層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、黄色砂状土に土人

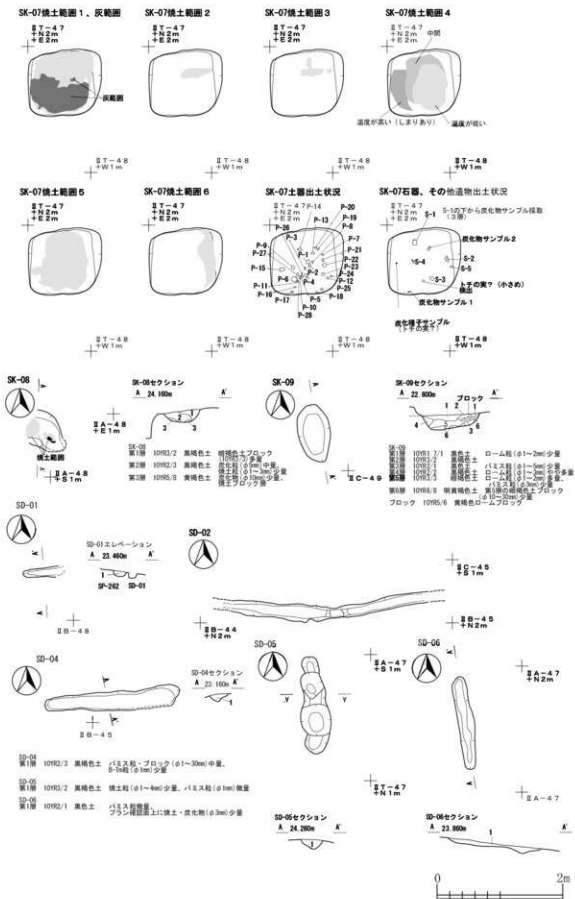
SK-07

- 第11層 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒(φ1mm)多量、焼土ブロック
- 第12層 7.5YR2/2 黒褐色土 炭化粒(φ10mm)少量、焼土(φ1~5mm)中量
- 第13層 7.5YR3/2 暗褐色土 炭化粒(φ10mm)少量、焼土(φ1~5mm)中量
- 第14層 10YR3/2 暗褐色土 炭化粒(φ10mm)少量、焼土(φ1~5mm)中量
- 第15層 10YR2/2 黒褐色土 炭化粒(φ10mm)少量、焼土(φ1~5mm)中量
- 第16層 10YR2/2 黒褐色土 炭化粒(φ10mm)少量、焼土(φ1~5mm)中量
- 第17層 10YR2/1 黒色土 炭化粒、物(φ1~20mm)少量
- 第18層 10YR1.7/1 黒色土 ロームブロック(φ10~30mm)少量
- 第19層 10YR1.7/1 黒色土 炭化粒(φ1~20mm)中量
- 第20層 10YR1.7/1 黒色土 ロームブロック(φ10mm)少量

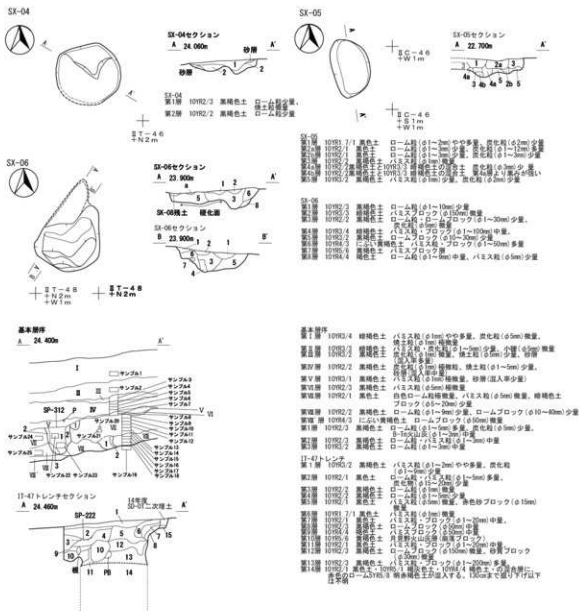
SK-07(西)焼土ブロック

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 焼土・ブロック(φ1~20mm)多量

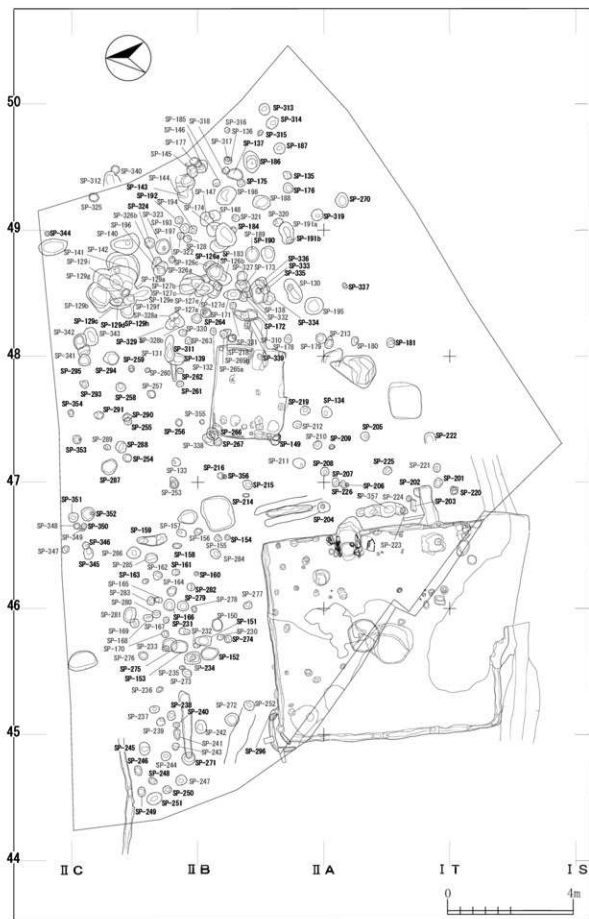
第17図 SI-09 ④・SK ①



第18図 SK②・SD



第19図 SX・基本層序

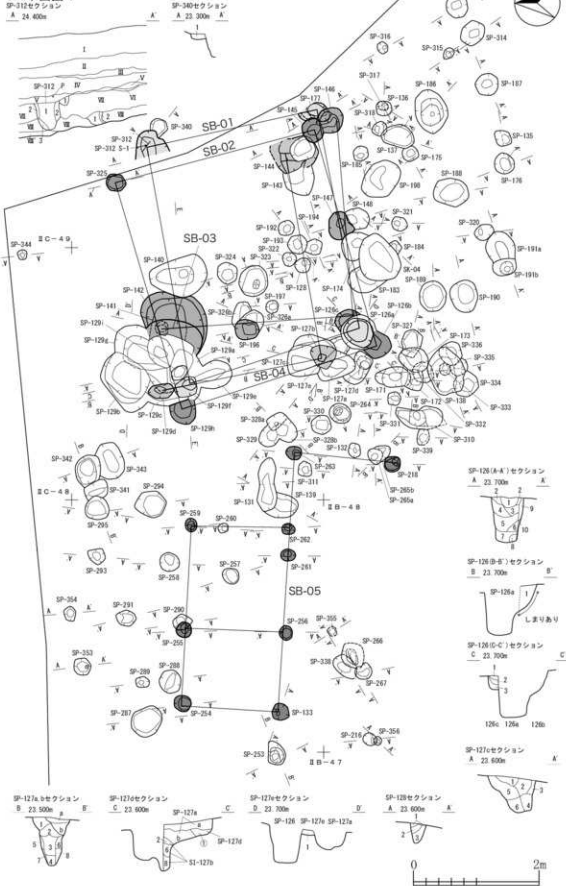


第20図 ビット配置図 ①

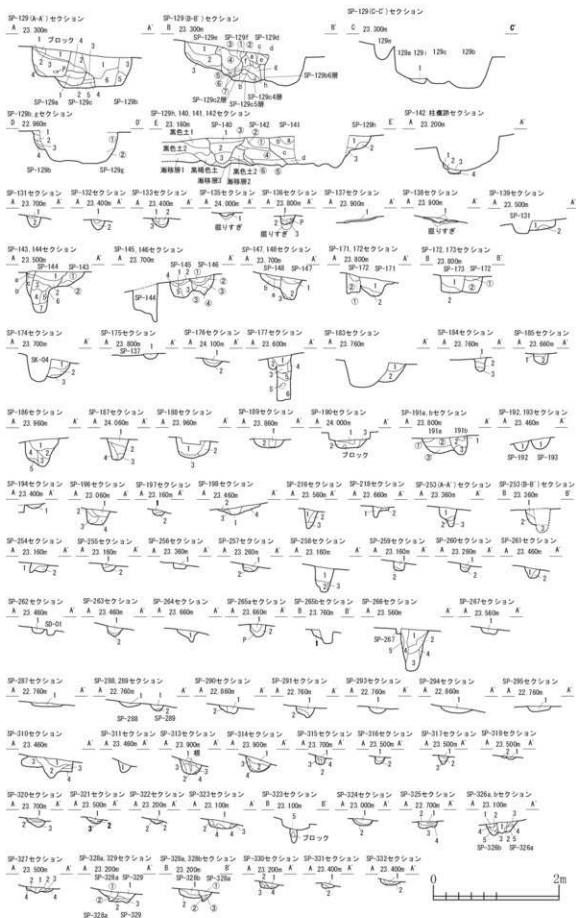


第21図 ピット配置図 ②

Pit平面図 1



第22図 ビット① (SB)



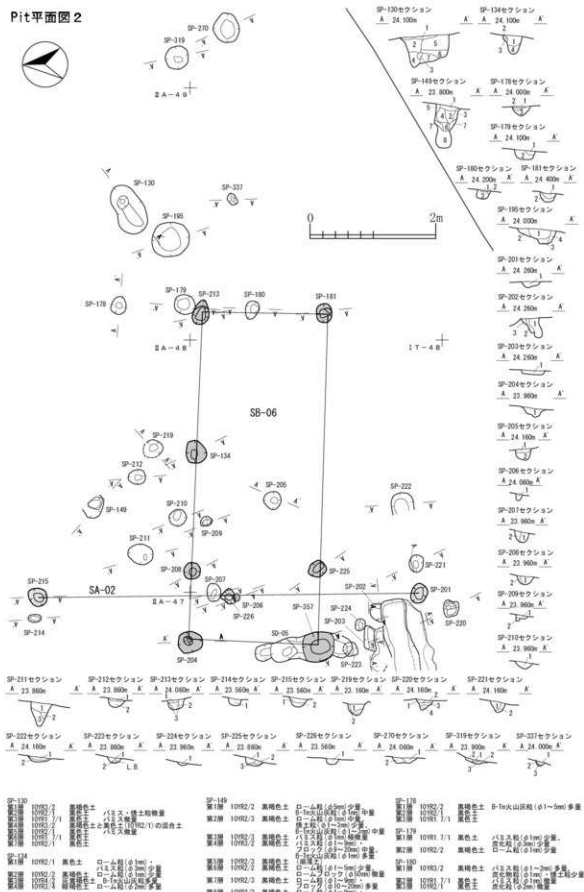
第23図 ビット②

SP-137
 発掘 10192/1 黒色土 プラン植栽跡上に
 ローム粒 (φ10mm) 少量
 SP-138
 発掘 10191 7/1 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 SP-146
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 SP-147
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 SP-214
 発掘 10192/1 黒色土 パリス粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 B-Inc山灰粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-218
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 SP-252
 発掘 10192/1 黒色土 パリス粒 少量
 発掘 10192/2 黒色土 B-Inc山灰粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-254
 発掘 10192/2 黒色土 ロームブロック (φ20mm) 少量
 SP-255
 発掘 10192/2 黒色土 ロームブロック (φ20mm) 少量
 SP-256
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 少量
 SP-257
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 少量
 SP-258
 発掘 10192/1 黒色土 パリス粒 少量
 発掘 10192/2 黒色土 B-Inc山灰粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-259
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 少量
 発掘 10192/3 黒色土 砂粒少量
 SP-260
 発掘 10192/1 黒色土 パリス粒 少量
 発掘 10192/2 黒色土 砂粒少量
 SP-261
 発掘 10192/2 黒色土 砂粒少量
 SP-262
 発掘 10192/2 黒色土 砂粒少量
 SP-263
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 少量
 発掘 10192/3 黒色土 砂粒少量
 SP-264
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 少量
 SP-265
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 パリス粒 (φ1mm) 少量
 SP-266
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 B-Inc山灰粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 ロームブロック (φ10mm) 少量
 SP-267
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 少量
 SP-268
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ5mm) 少量
 SP-269
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 砂粒少量
 SP-270
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 砂粒少量
 SP-271
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 砂粒少量
 SP-283
 発掘 10192/2 黒色土 炭化粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ10mm) 少量
 SP-285
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量

SP-310
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 砂粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 (G-M)ブロック (φ30mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-311
 発掘 10192/2 黒色土 赤砂 (φ1~10mm) 少量
 SP-312
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 SP-313
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ10mm) 少量
 SP-314
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ2mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 炭化粒 (φ1~5mm) 少量
 SP-315
 発掘 10191 7/1 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 B-Inc山灰粒 (φ1mm) やり多量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 SP-316
 発掘 10192/1 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 SP-317
 発掘 10192/2 黒色土 土に白い黄褐色土ローム粒 (φ3mm) 少量
 SP-318
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 SP-319
 発掘 10192/1 黒色土 パリス粒 (φ1~1mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 (φ1~1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒・パリス粒 (φ1~5mm) 少量
 SP-321
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-322
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒・炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~2mm) 少量
 SP-323
 発掘 10192/2 黒色土 炭化粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 パリス粒・炭化粒との混入土
 SP-324
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒・ブロック (φ2~3mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 SP-325
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~5mm) 少量
 SP-326
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒・ブロック (φ1~20mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 砂粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 ローム粒 (φ10mm) 少量
 発掘 10192/6 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/7 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 SP-327
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 SP-328
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 パリス粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-329
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 パリス粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-330
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量

SP-329
 発掘 10192/2 黒色土 パリス粒 (φ1~2mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 SP-330
 発掘 10192/1 黒色土 炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 SP-331
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒・パリス粒 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ1~2mm) 少量
 SP-332
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-333
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ10mm) 少量
 SP-334
 発掘 10192/1 黒色土 炭化粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 炭化粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ1mm) 少量
 SP-335
 発掘 10194/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) やり多量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 SP-336
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 SP-337
 発掘 10192/2 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 SP-338
 発掘 10192/2 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) やり多量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/3 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) やり多量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/4 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) やり多量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/5 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) やり多量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 SP-339
 発掘 10192/1 黒色土 プラン植栽跡に褐色土粒少量混入
 炭化粒 (φ3mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 プランよりやや北側混みが多い
 SP-340
 発掘 10191 7/1 黒色土 プラン植栽跡上に
 ローム粒 (φ20mm) 少量
 SP-341
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~2mm) やり多量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~2mm) やり多量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/5 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-342
 発掘 10192/1 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 少量
 SP-343
 発掘 10191 7/1 黒色土 ローム粒 (φ1~20mm) 少量
 SP-344
 発掘 10192/2 黒色土 (パリス粒 (φ2mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/3 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/4 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/5 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 SP-345
 発掘 10191 7/1 黒色土 ローム粒 (φ1~3mm) 下部に
 やり多量混入
 SP-346
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 炭化粒 (φ5mm) 少量
 発掘 10192/4 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 SP-347
 発掘 10192/2 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 発掘 10192/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) 少量
 SP-348
 発掘 10194/3 黒色土 ローム粒 (φ1mm) やり多量、
 ロームブロック (φ10mm) 少量
 発掘 10192/2 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/3 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 発掘 10192/4 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) 少量、炭化粒 (φ5mm) 少量)
 SP-349
 発掘 10191 7/1 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) やり多量、
 プラン植栽跡上に3~4枚の
 ローム粒 (φ1mm) 少量)
 発掘 10192/1 黒色土 (パリス粒 (φ1mm) やり多量、
 プラン植栽跡上に3~4枚の
 ローム粒 (φ1mm) 少量)

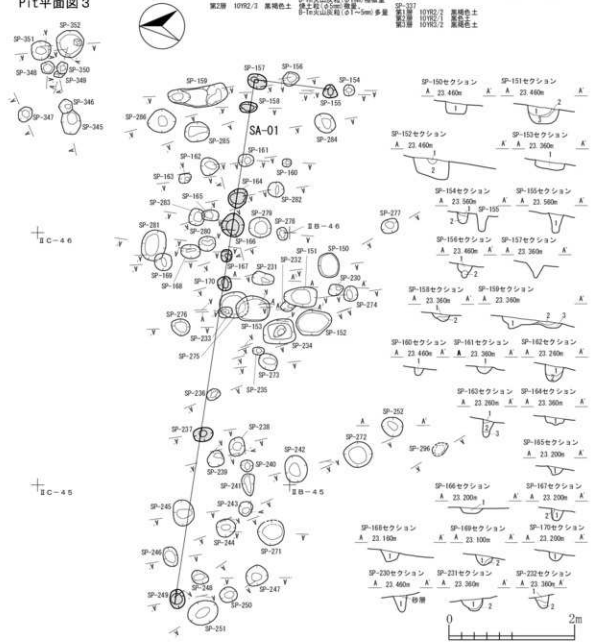
Pit平面図 2



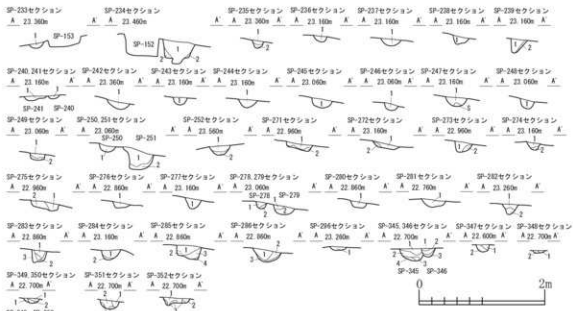
第25図 ビット④ (SB・SA)

SP-113 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-114 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-115 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-116 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-117 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-118 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-119 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-120 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-121 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-122 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-123 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-124 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-125 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-126 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-127 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-128 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-129 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-130 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-131 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-132 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-133 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-134 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-135 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-136 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-137 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-138 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-139 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-140 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-141 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-142 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-143 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-144 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-145 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-146 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-147 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-148 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-149 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-150 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-151 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-152 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-153 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-154 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-155 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-156 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-157 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-158 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-159 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-160 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-161 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-162 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-163 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-164 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-165 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-166 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-167 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-168 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-169 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-170 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-171 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-172 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-173 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-174 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-175 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-176 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-177 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-178 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-179 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-180 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-181 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-182 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-183 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-184 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-185 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-186 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-187 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-188 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-189 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-190 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-191 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-192 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-193 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-194 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-195 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-196 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-197 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-198 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-199 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土	SP-200 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

Pit平面図 3

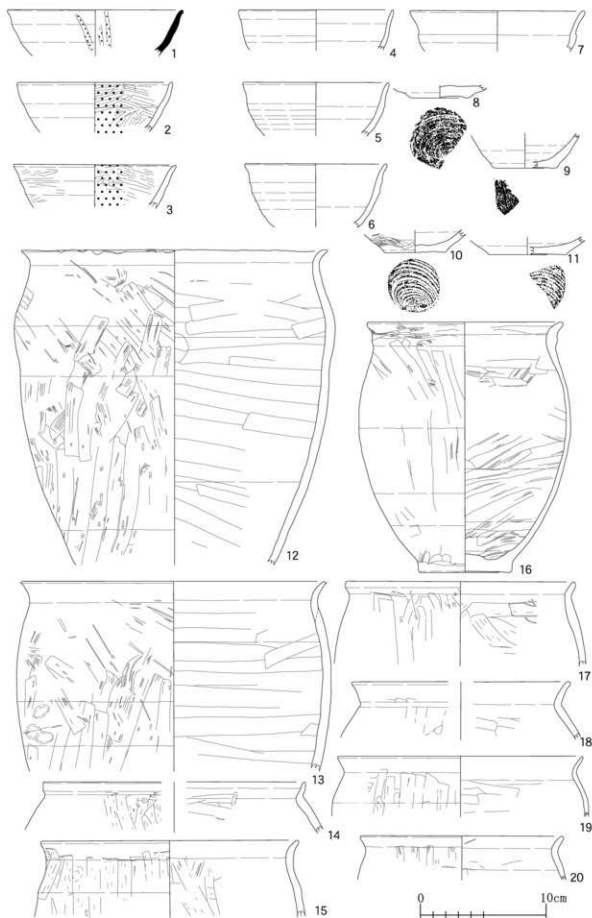


第26図 ビット⑤ (SA)

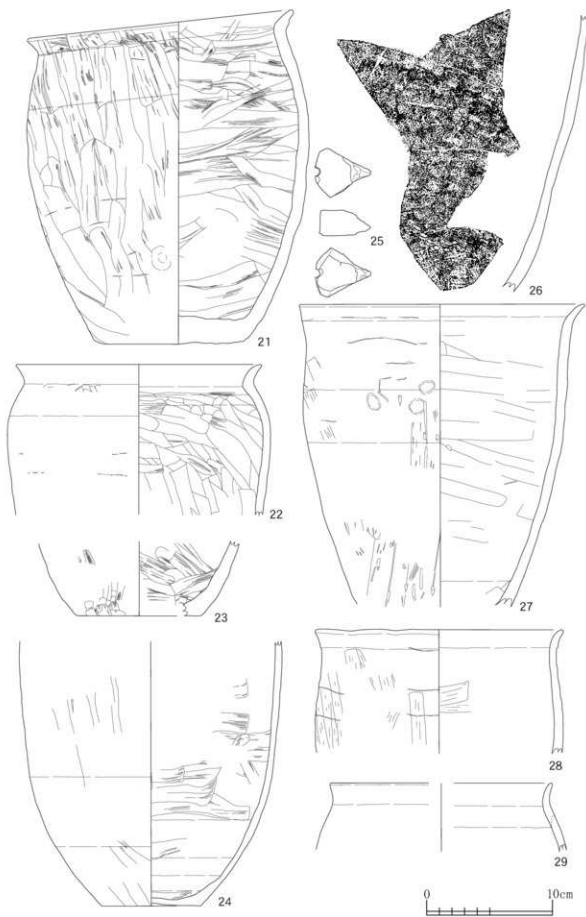


第27図 ビット⑥

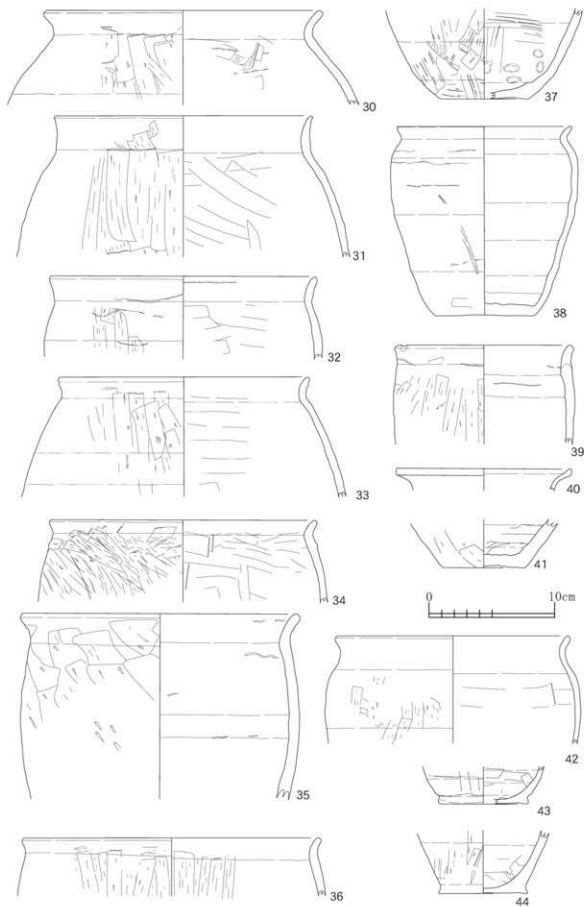
SP-150 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム状・炭化植物量	SP-170 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 硬褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-275 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量
SP-151 第1層 10YR1/7 褐色土 ローム状・炭化植物量 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム状・色土(0.5mm)少量 第3層 10YR2/1 黒色土 炭化植物量	SP-220 第1層 10YR2/1 黒色土 暗褐色土ブロック少量	SP-276 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1-5mm)少量
SP-152 第1層 10YR2/1 黒褐色土 炭化植物・炭化植物量少量 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム状・炭化植物量	SP-221 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	SP-277 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1-5mm)少量
SP-153 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム状少量・炭化植物量 炭化植物量	SP-222 第1層 10YR2/1 黒色土 暗褐色土ブロック少量 第2層 10YR2/2 黒褐色土	SP-278, 279 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土
SP-154 第1層 10YR4/2 灰黒褐色土 パリス錠(φ1-3mm)・ ブロック(φ10-20mm)中量 第2層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm) 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-223 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)中量	SP-280 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-155 第1層 10YR2/3 黒褐色土 灰黒褐色土ブロック(φ50mm)少量	SP-224 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	SP-281 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-156 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム状(φ1-5mm)少量 第2層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量	SP-225 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム状(φ1mm)少量 第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム状(φ1mm)少量	SP-282 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-158 第1層 10YR2/3 黒褐色土 赤色ローム状(φ1-5mm)多量 第2層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量	SP-226 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-283 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-159 第1層 10YR4/2 灰黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 第2層 10YR2/3 暗褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 第3層 10YR4/3 にみい黄褐色土 砂粒(φ1-5mm)多量	SP-227 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-284 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土
SP-160 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-228 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-285 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR4/3 にみい黄褐色土
SP-161 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-240 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-286 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR4/3 にみい黄褐色土
SP-162 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量 第2層 10YR2/2 黒褐色土 赤色ローム状(φ5mm)少量	SP-241 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-287 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR4/3 にみい黄褐色土
SP-163 第1層 10YR2/2 黒褐色土 赤色ローム状(φ5mm)少量	SP-242 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ1mm)少量	SP-345 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土
第3層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-243 第1層 10YR2/3 黒褐色土	SP-346 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土
第4層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-244 第1層 10YR2/3 黒褐色土	SP-347 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土
SP-164 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック 非砂層部分に侵入	SP-245 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土	SP-348 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土
SP-165 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-246 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-349 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土
SP-166 第1層 10YR2/3 黒褐色土 赤色砂少量混入	SP-247 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-350 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土
SP-167 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-248 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-351 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土
SP-168 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-249 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-352 第1層 10YR1/7 1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土 第3層 10YR2/1 黒褐色土
SP-169 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パリス錠(φ5mm)少量 暗褐色土(1) 0.5(2)ブロック (φ20-50mm)中量	SP-270 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-353 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土
第2層 10YR2/2 黒褐色土	SP-271 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-354 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土
第3層 10YR2/3 黒褐色土	SP-272 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-355 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土
第4層 10YR2/3 黒褐色土	SP-273 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-356 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土
第5層 10YR2/3 黒褐色土	SP-274 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	SP-357 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土



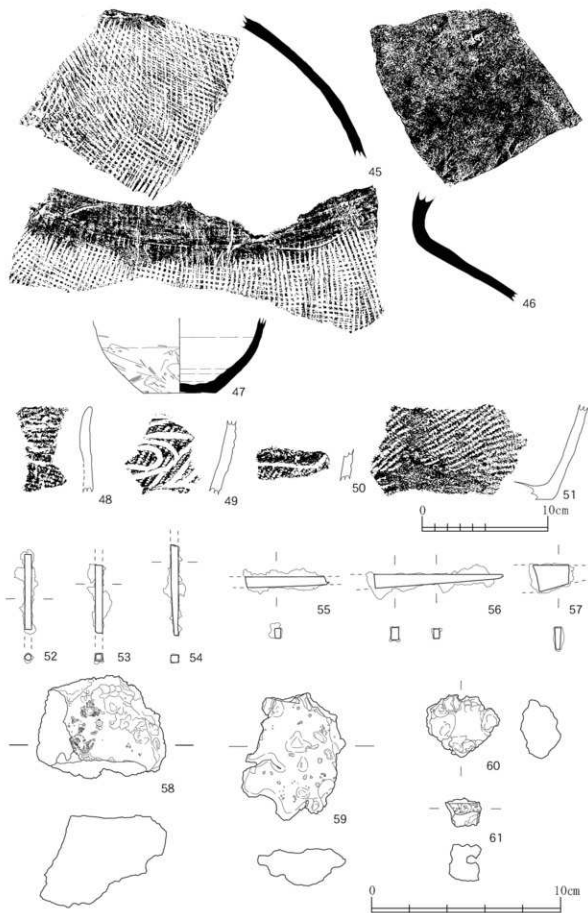
第28図 SI-07-1



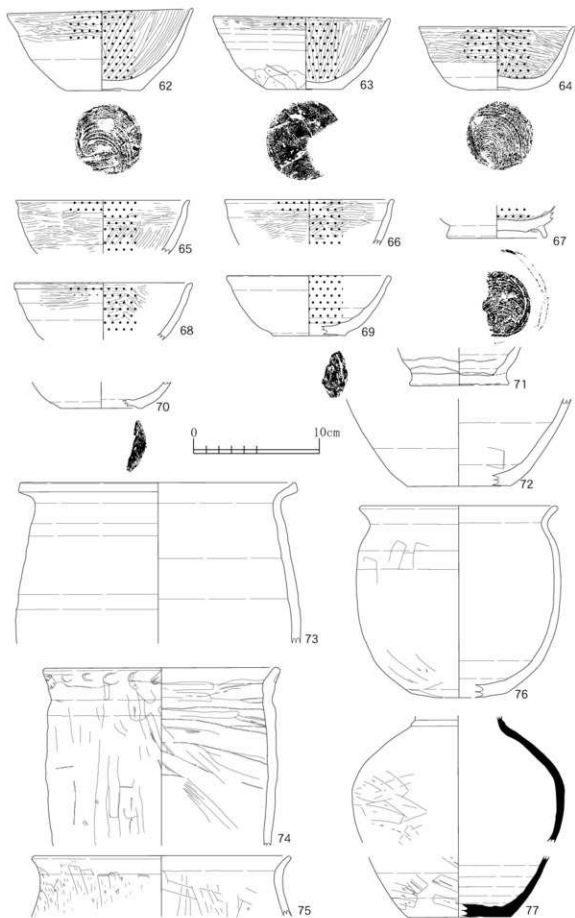
第29図 SI-07-2



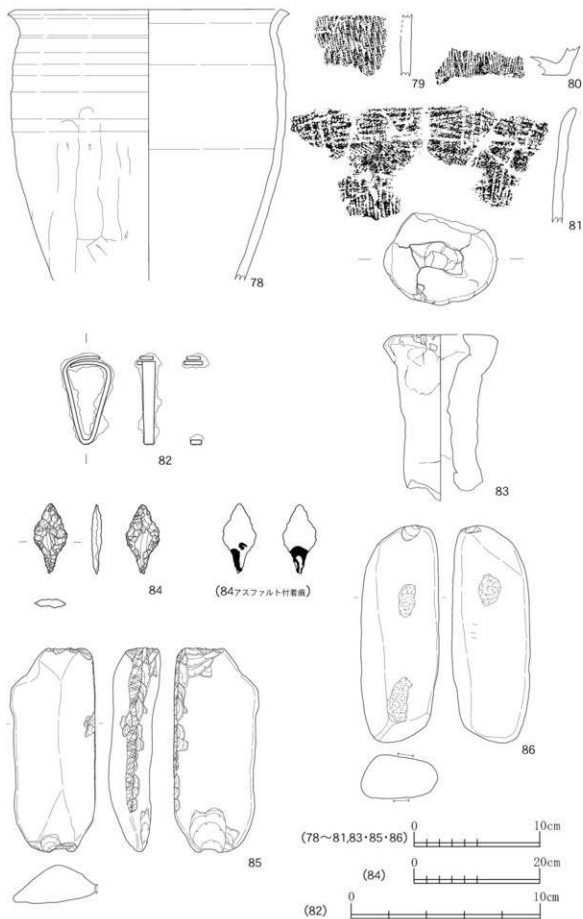
第30図 SI-07-3



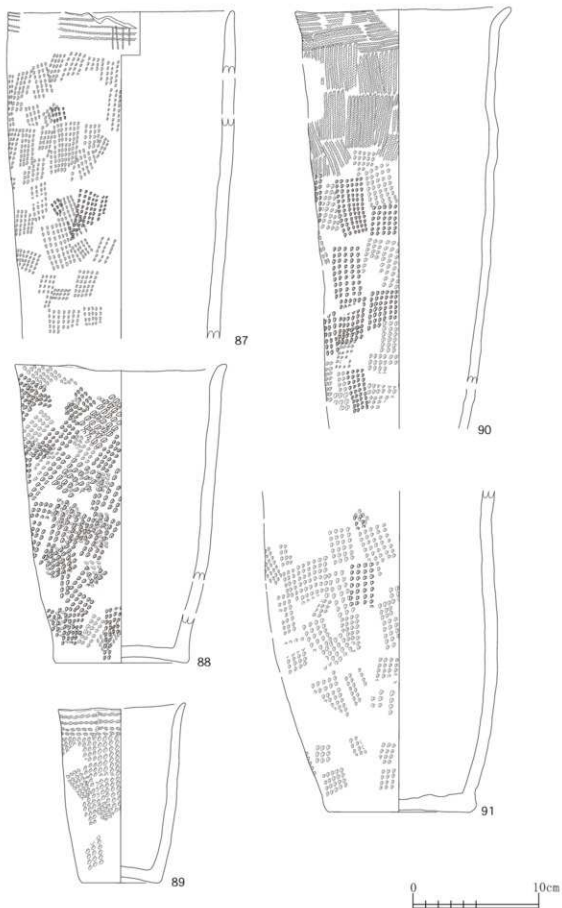
第31図 SI-07-4



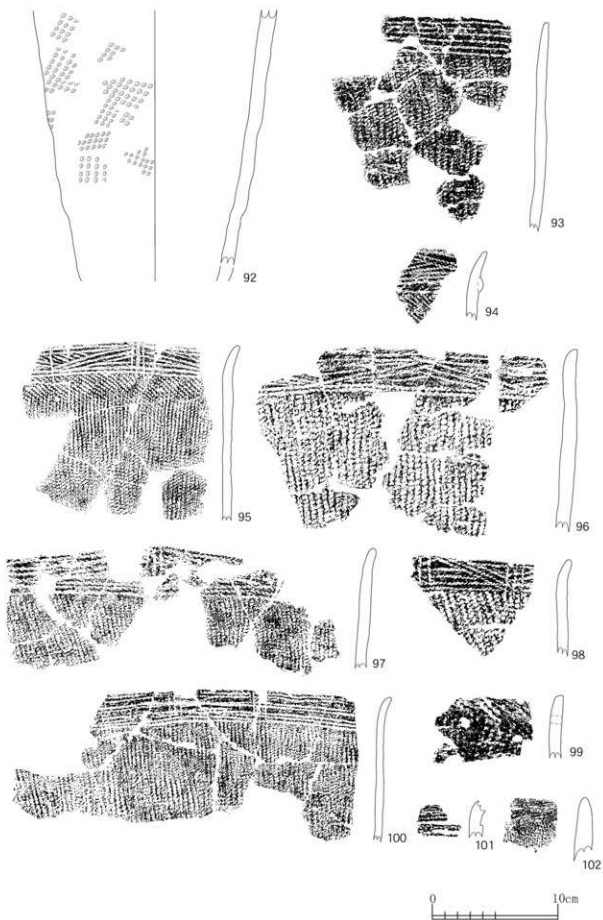
第32図 SI-08-1



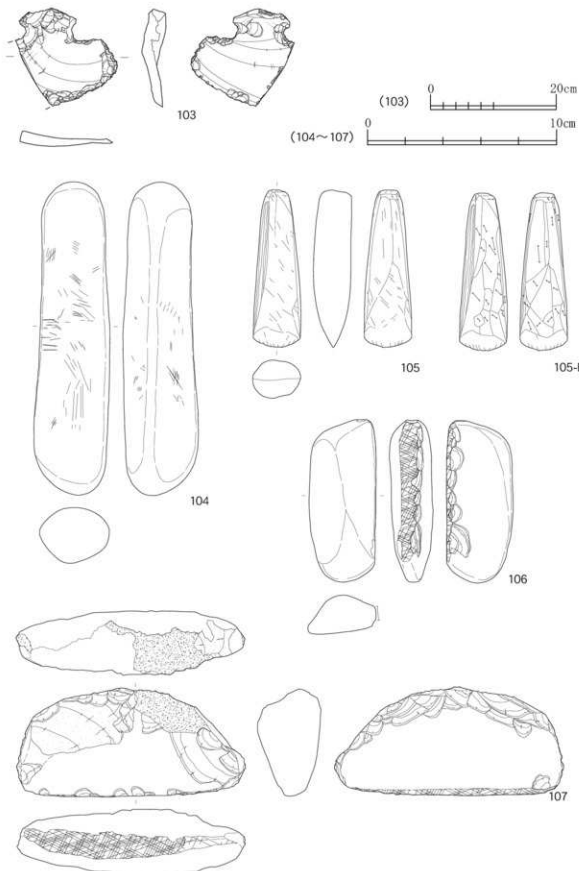
第33図 SI-08-2



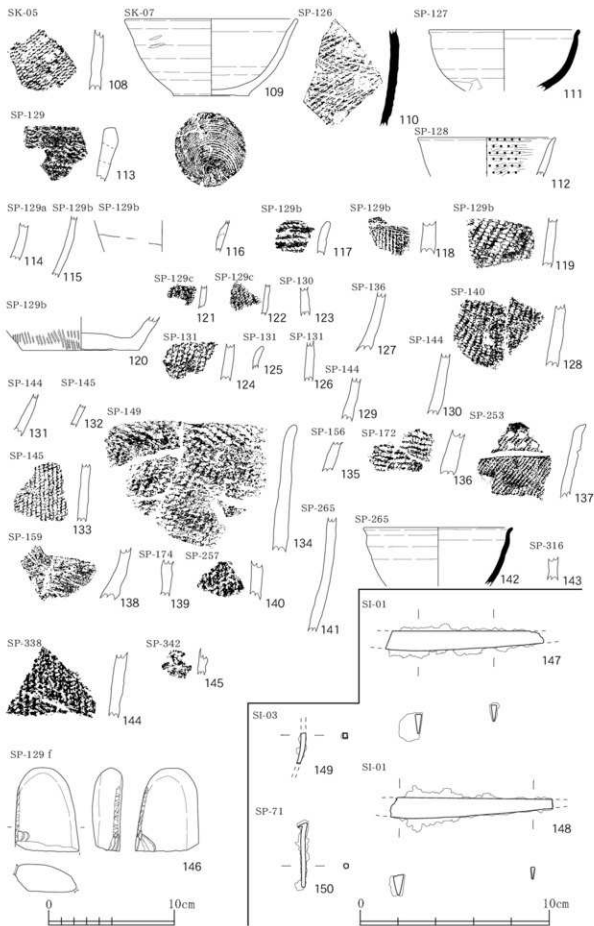
第34図 SI-09-1



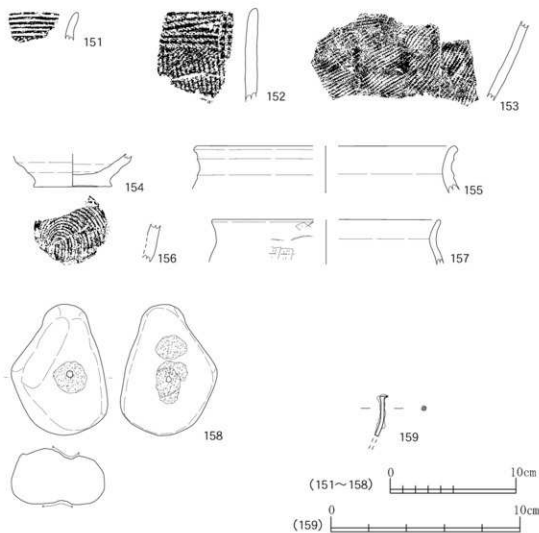
第35図 SI-09-2



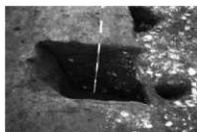
第36図 SI-09-3



第37図 SK・SP・平成14年度調査遺構内追加資料



第38図 遺構外出土遺物



SI-07北東隅貼壁セクション(N→)



SI-07カマド1東西セクション(N→)



SI-07カマド1南北セクション(W→)



SI-07カマド1粘土・遺物出土状況(W→)



SI-07カマド1完掘(W→)



SI-07カマド1完掘(W→)



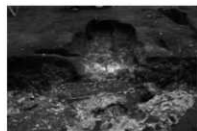
SI-07カマド1芯材・火床面(W→)



SI-07カマド2セクション(N→)



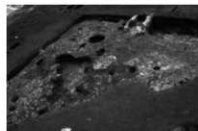
SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2完掘(W→)



SI-07Pit31焼土検出状況



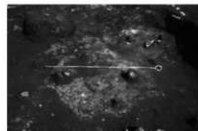
SI-07完掘(W→)



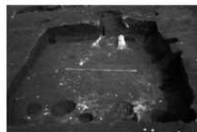
SI-08東西セクション(N→)



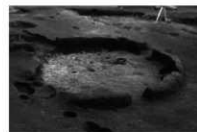
SI-08南北セクション(W→)



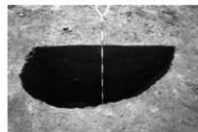
SI-08焼土検出状況



SI-08完掘(W→)

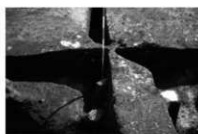


SI-09完掘(NE→)



SK-04セクション

写真1 宮田館遺跡



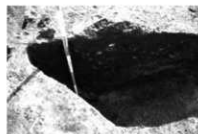
SI-07カマド2セクション(W→)



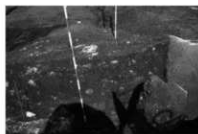
SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2セクション



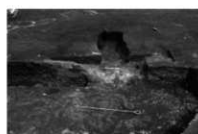
SI-07カマド2セクション



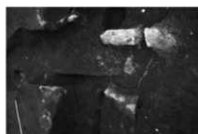
SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2セクション完掘(W→)



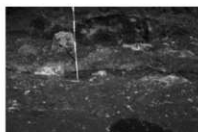
SI-07カマド2袖セクション(W→)



SI-07カマド2袖セクション(W→)



SI-07カマド2袖セクション(W→)



SI-07カマド側落ち込みセクション(E→)



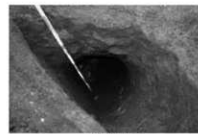
SI-07カマド側落ち込みセクション(N→)



SI-07粘土・焼土範囲



SI-07落ち込み



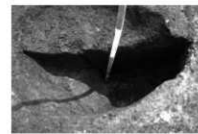
SI-07落ち込み



SI-07遺物出土状況(S→)



SI-08P1外セクション(N→)



SI-08P2外セクション(W→)

写真2 宮田館遺跡



写真3 出土遺物1

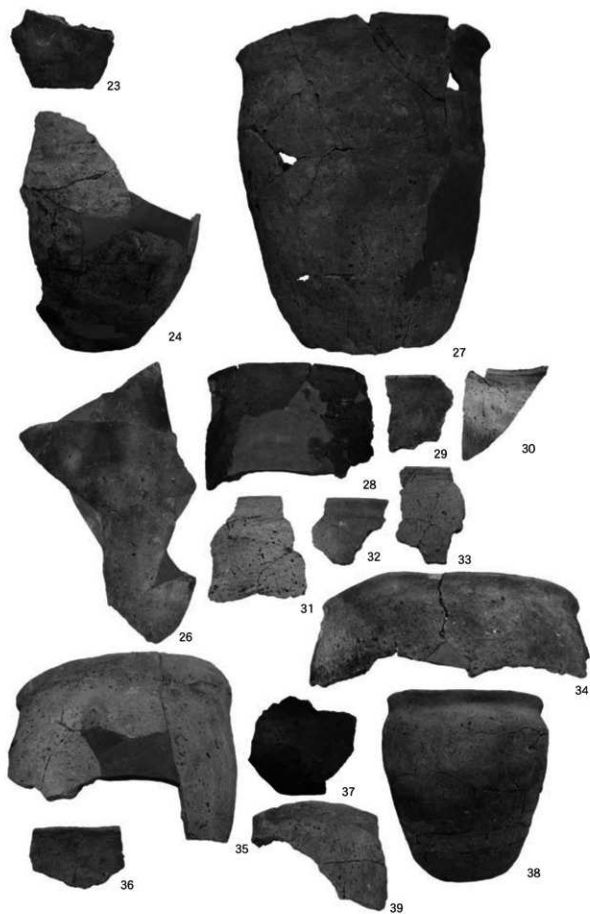


写真 4 出土遺物2

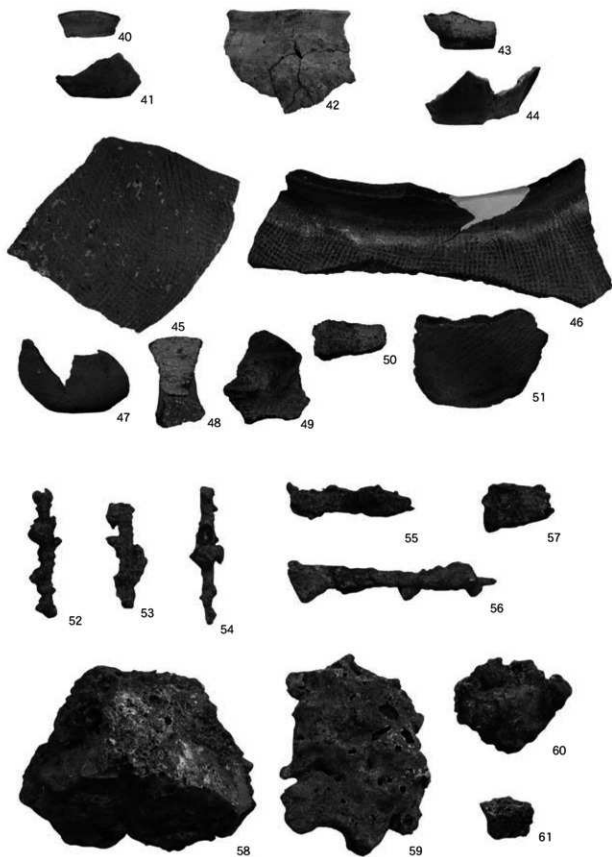


写真5 出土遺物3

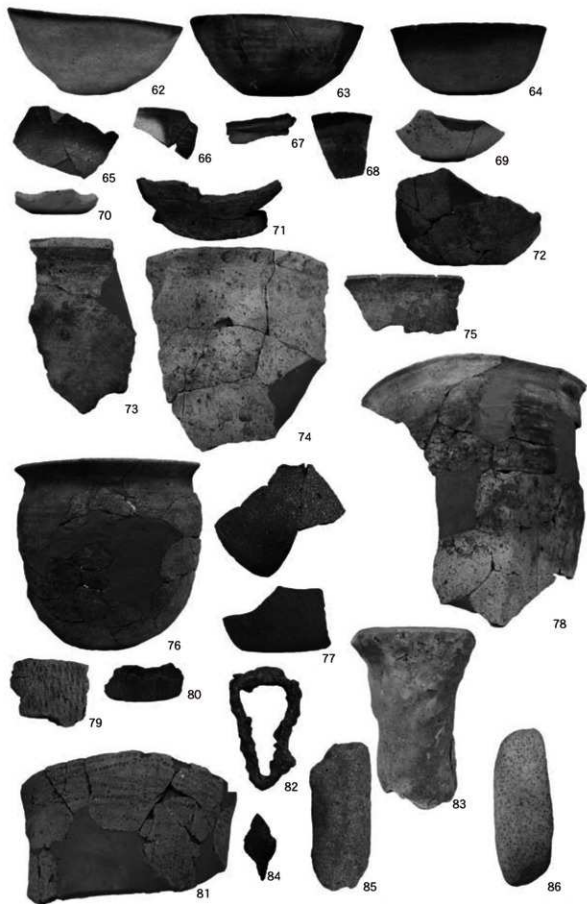


写真6 出土遺物4

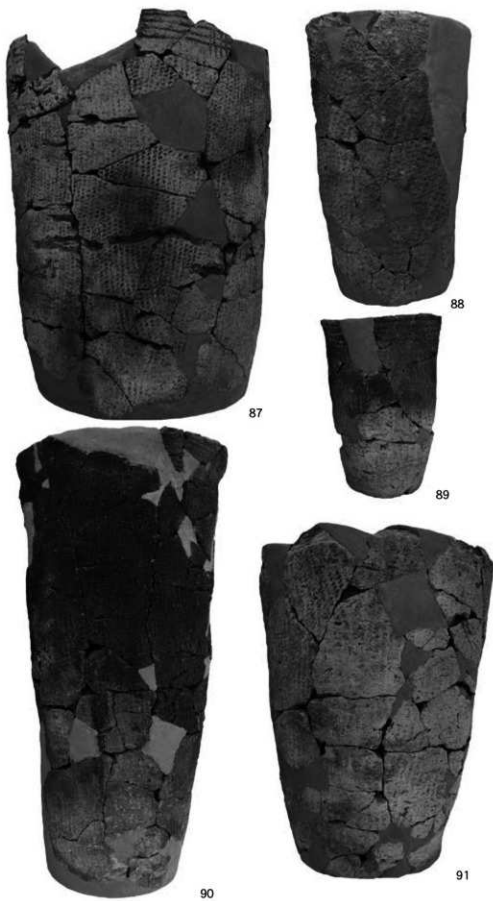


写真7 出土遺物5

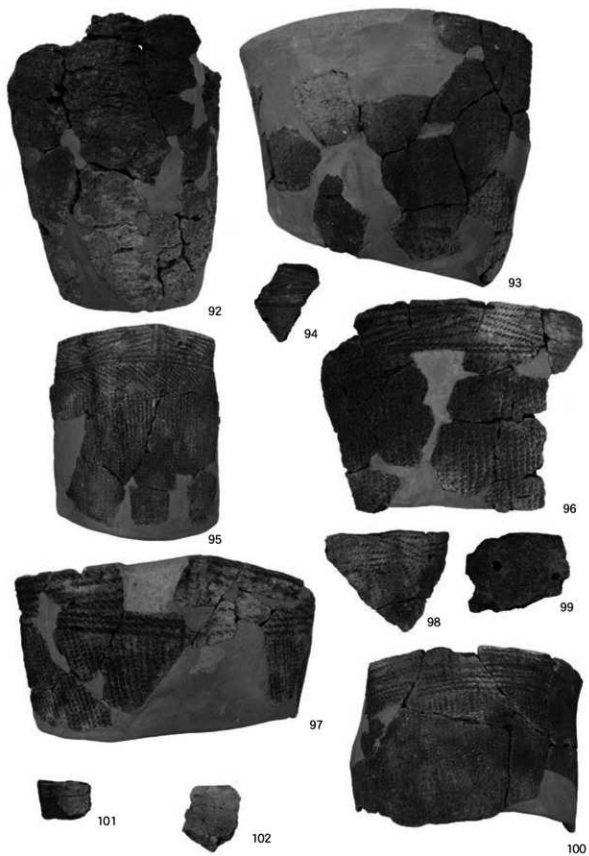


写真8 出土遺物6

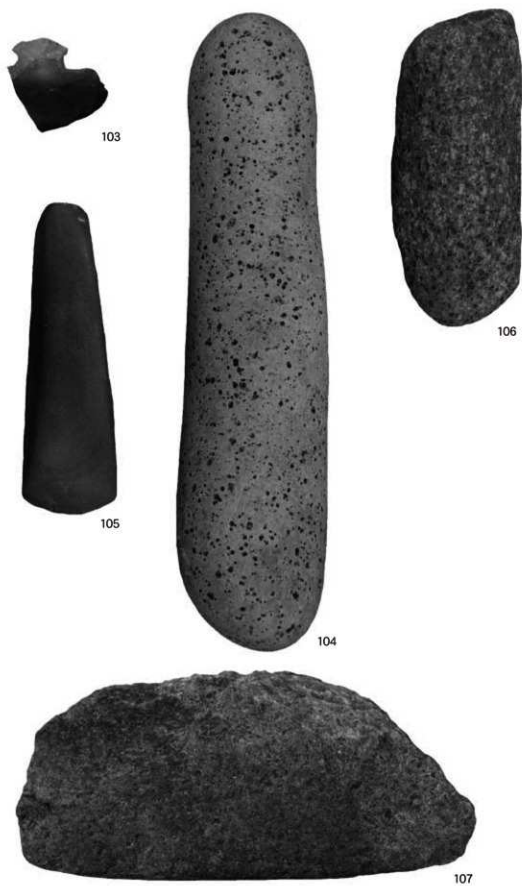


写真9 出土遺物7

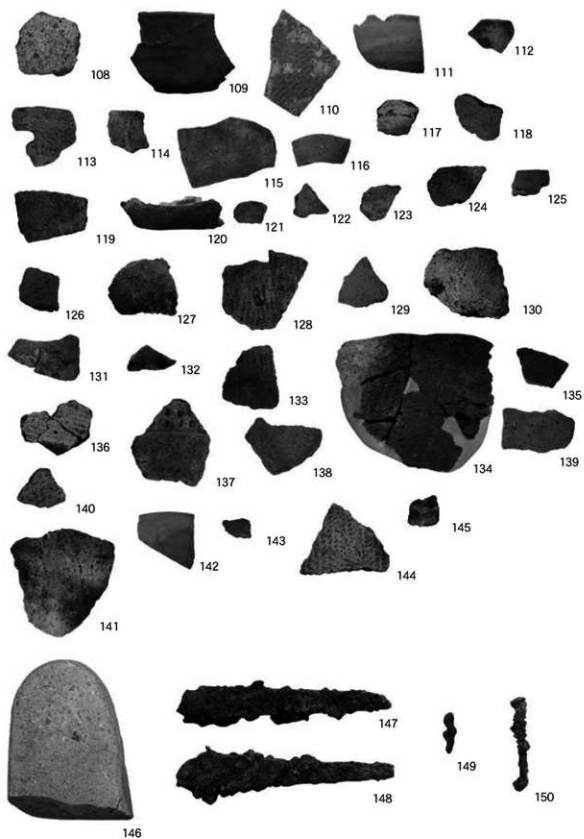


写真10 出土遺物8

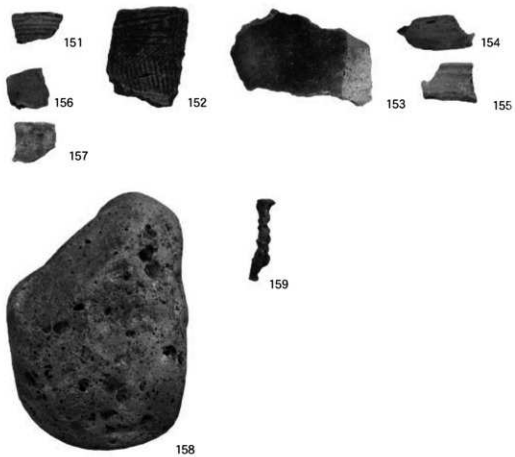


写真11 出土遺物9

ま と め

今年度、当委員会が実施した市内遺跡発掘調査事業は、昨年度調査した個人住宅の本調査を引き続き実施し、開発協議6件に対する試掘・確認調査を実施した。またこの試掘調査によって1遺跡の新規登録遺跡が加わり、青森県教育委員会実施の試掘・確認調査によって1遺跡の遺跡範囲変更が行われた。平成16年3月31日現在、市内には302カ所の周知の埋蔵文化財包蔵地が登録されている。

昨年度当委員会で作成した遺跡地図（数値地図）は、PDF化した状態で当課ホームページである「いにしえ青森オンライン版」で公開し、それに伴い開発協議の手続きの方法等についてもホームページ上で紹介し、発掘に関する届出書や遺跡の照会文書などをダウンロード可能な状態にしている。

今年度数値地図については、既存の調査区等の入力や遺跡範囲の再検討という次のステップへ移行している。これにより、次年度以降周知の埋蔵文化財包蔵地に対する再検討の成果は順次公開されていくことになるであろう。

市内の開発行為については、昨年度から開始した市内一斉照会によって、開発協議が行われるケースが増えており、今年度登録の新規遺跡についてはこの協議からの成果である。また、全市LANによる地理情報システム（GIS）において遺跡地図の閲覧が容易な形となった。

平成15年1月から法改正が運用された不動産鑑定法に係る埋蔵文化財の有無の確認は、来課による照会件数の著しい増加を招き、それに伴い事務作業量の増加となったが、その反面開発行為と連動しないようなケースと開発行為に連動するケースの判別が混在した形となり、遺跡破壊の未然の防止という意味ではやや混乱をきたした一年であった。

(担当者一同)

報告書抄録

ふりがな	しないいせきはつちつようさほうこくしよじゆうに							
書名	市内遺跡発掘調査報告書 12							
副書名								
巻次								
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第74集							
編著者名	木村淳一、児玉大成、設楽政健、松橋智佳子、内田祐子							
編集機関	青森市教育委員会							
所在地	〒030-8555 青森県青森市中央一丁目22-5 Tel.017-734-1111							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 (CGD000)	東経 (CGD000)	調査期間	調査積 面 (㎡)	調査因
		市町村	遺跡 番号					
えど 江渡	あおもりしおあざ 青森市大字 いしえあざえど 石江字江渡 104-2 ほか	02201	163	40° 49′ 16″	140° 41′ 64″	20030416 ～ 20030418	783	分譲宅地 造成
のぎわ 野木和 (11)	あおもりしおあざは 青森市大字羽 じらあざのぎわ 白字野木和	02201	099	40° 51′ 19″	140° 40′ 16″	20030728 ・ 20030804	57	畑地造成
さんないまるやま ちく 三内丸山地区	あおもりしおあざさん 青森市大字三 ないあざまるやま 内字丸山 278-1	02201		40° 47′ 55″	140° 42′ 33″	20030802 ～ 20030803	520	駐車場 建設
おかまち ちく 岡町地区	あおもりしおあざは 青森市大字羽 じらあざおか 白字富田 190-4 ほか	02201		40° 50′ 41″	140° 40′ 59″	20030811	150	施設建設
あかさか 赤坂	あおもりしおあざと 青森市大字戸 やまあざあかさか 山字赤坂 482-1 ほか	02201	053	40° 48′ 01″	140° 40′ 59″	20031126	500	分譲宅地 造成
さんないまるやま 三内丸山 (8)	あおもりしおあざ 青森市大字 さんないあざまるやま 三内字丸山 45-13	02201	315	40° 49′ 02″	140° 42′ 28″	20031222	280	道路建設
みやた だて 宮田館	あおもりしおあざ 青森市大字 みやたあざたみず 宮田字玉水 304-1 ほか	02201	190	40° 50′ 09″	140° 50′ 26″	20030424 ～ 20030530	400	個人敷地 造成

既刊埋蔵文化財関係報告書一覽

青森市の文化財	1	1962	『三内塚遺跡調査概報』	*	第38集	1998	『野木遺跡発掘調査報告書』
*	2	1965	『ツツ石遺跡調査概報』	*	第39集	1998	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
*	3	1967	『清水遺跡調査概報』	*	第40集	1998	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
*	4	1970	『三内丸山遺跡調査概報』	*	第41集	1998	『野木遺跡発掘調査概報』
*	5	1971	『野木遺跡調査報告書』	*	第42集	1998	『新沢遺跡発掘調査報告書』
*	6	1971	『清水東遺跡発掘調査報告書』	*	第43集	1999	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
*	7	1971	『大南遺跡調査報告書』	*	第44集	1999	『忍野(2)遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
*	8	1973	『三内遺跡発掘調査報告書』	*	第45集	1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
		1979	『京沢遺跡』	*	第46集	1999	『新町野・野木遺跡発掘調査概報』
		1983	『四戸橋遺跡調査報告書』	*	第47集	1999	『稲山遺跡発掘調査概報』
青森市の埋蔵文化財		1983	『山形野遺跡』	*	第48集	2000	『新沢遺跡発掘調査報告書』
*		1985	『長森遺跡発掘調査報告書』	*	第49集	2000	『稲山遺跡発掘調査概報Ⅱ』
*		1986	『田茂木野遺跡発掘調査報告書』	*	第50集	2000	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
*		1987	『狭内城跡発掘調査報告書』	*	第51集	2000	『塚家(1)・雲谷山(3)遺跡発掘調査報告書』
*		1988	『三内丸山Ⅰ遺跡発掘調査報告書』	*	第52集	2000	『大沢沢野田(1)遺跡調査報告書』
青森市埋蔵文化財調査報告書				*	第53集	2000	『市内遺跡発掘調査報告書』
*	第16集	1991	『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』	*	第54集	2001	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ・野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
*	第17集	1992	『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』	*	第55集	2001	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅵ』
*	第18集	1993	『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報』	*	第56集	2001	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』
*	第19集	1993	『市内遺跡発掘調査報告書』	*	第57集	2001	『稲山遺跡発掘調査概報Ⅲ』
*	第20集	1993	『小牧野遺跡発掘調査概報』	*	第58集	2001	『大沢沢野田(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』
*	第21集	1994	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	*	第59集	2001	『市内遺跡発掘調査報告書』
*	第22集	1994	『小三内遺跡発掘調査報告書』	*	第60集	2002	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』
*	第23集	1994	『三内丸山(2)・小三内遺跡発掘調査報告書』	*	第61集	2002	『大沢沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』
*	第24集	1995	『奥気遺跡・狭内(2)遺跡発掘調査報告書』	*	第62集	2002	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
*	第25集	1995	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	*	第63集	2002	『稲山遺跡発掘調査概報Ⅳ』
*	第26集	1995	『塚家(2)遺跡発掘調査報告書』	*	第64集	2002	『市内遺跡発掘調査報告書』
*	第27集	1996	『塚家(1)遺跡発掘調査概報』	*	第65集	2003	『雲谷山吹(4)～(7)遺跡発掘調査報告書』
*	第28集	1996	『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書』	*	第66集	2003	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
*	第29集	1996	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	*	第67集	2003	『深沢(3)遺跡発掘調査報告書』
*	第30集	1996	『小牧野遺跡発掘調査報告書』	*	第68集	2003	『宮野野遺跡発掘調査報告書』
*	第31集	1997	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	*	第69集	2003	『奥気遺跡発掘調査報告書Ⅰ』
*	第32集	1997	『塚家(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』	*	第70集	2003	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅷ』
*	第33集	1997	『新町野遺跡発掘調査報告書』	*	第71集	2004	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
*	第34集	1997	『忍野(2)遺跡発掘調査報告書』	*	第72集	2004	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
*	第35集	1997	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	*	第73集	2004	『新町野遺跡発掘調査概報』
*	第36集	1998	『塚家(1)遺跡発掘調査報告書』	*	第74集	2004	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
*	第37集	1998	『新町野遺跡発掘調査報告書』	*	第75集	2004	『江渡遺跡発掘調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書第74集

市内遺跡発掘調査報告書 12

発行年月日 平成16年3月31日

発行 青森市教育委員会

〒030-8555 青森市中央一丁目22-5

TEL 017-734-1111

印刷 第一印刷株式会社

〒038-0003 青森市石江字江渡3-1

TEL 017-782-2333